LP-M720F

ファクスユーザーズガイド

NPD4717-00

マークの意味

重要 必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。

使い方のヒントや注意していただきたいことを記載しています。

掲載画面

- 本書の画面は実際の画面と多少異なる場合があります。また、OS の違いや使用環境によっても異なる画面となる場合がありますので、ご注意ください。
- 本書に掲載する Windows の画面は、特に指定がない限り Windows 7 の画面を使用しています。

商標

EPSON および EXCEED YOUR VISION はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
AppleTalk、Mac、Macintosh および Bonjour は米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
PostScript は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

もくじ

ソフトウェア使用許諾契約書

本パッケージにはセイコーエプソン株式会社（以下、「エプソン」）より提供される、プリンターシステムの一部を構成するソフトウェア、特殊な暗号化フォーマットにデジタルコード化された機械可読アウトラインデータ（以下、「フォントプログラム」）、その他プリンティングソフトウェアと連動しコンピューターシステム上で動作するソフトウェア（以下、「ホストソフトウェア」）、そして関連する説明資料（以下、「ドキュメンテーション」）が含まれています。

本契約において「本ソフトウェア」とはプリンティングソフトウェア、フォントプログラム、ホストソフトウェアの総称で、それら全てのアップグレード版、修正版、追加版、複製物を含みます。

本ソフトウェアは以下の条件の下でお客様にご使用いただいております。

以下ご同意くださった場合に限り、本ソフトウェア及びドキュメンテーションを使用することのできる非独占的、譲渡不可のライセンスをエプソンにより付与いたします。

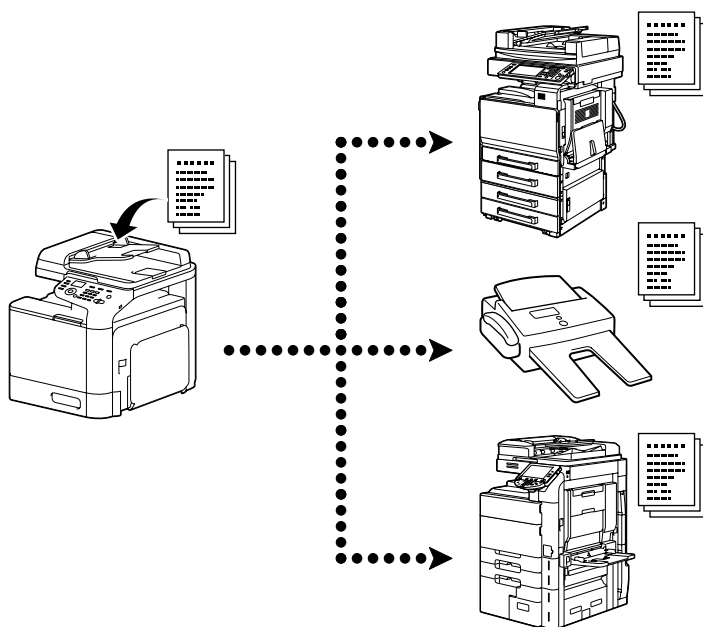
1. お客様は、お客様の日常業務での使用目的に限り、本ソフトウェアおよび、それに伴うフォントプログラムを使用することができます。
2. 上記 1. に定義されているフォントプログラムのライセンスに加え、お客様は、フォントの重み、スタイル、文字・数字・シンボルのバージョンをプリンティングソフトウェアを使用するコンピューターにおいて再生表示することができます。
3. お客様はバックアップ用にホストソフトウェアをひとつ複製することができます。ただし、その複製物はいかなるコンピューターにおいてもインストールあるいは使用されないことを条件とします。ただし、プリンティングソフトウェアが実行されているプリンティングシステムと使用するときに限り、ホストソフトウェアを複数のコンピューターにインストールすることができます。
4. 本契約の元、お客様はライセンシーとしてのソフトウェア及びドキュメンテーションに対する権利及び所有権を第三者（以下、譲受人）に譲渡することができます。ただし、お客様が当該譲受人にソフトウェアやドキュメンテーションおよびそれらの複製物の全てを譲渡し、当該譲受人が本契約の諸条件について同意している場合に限ります。
5. お客様はソフトウェアやドキュメンテーションを変更、改作、翻訳したりすることはできません。
6. お客様は本ソフトウェアを改造、逆アセンブル、暗号解読、リバースエンジニアリング、逆コンパイルすることはできません。
7. 本ソフトウェア、ドキュメンテーション、及びそれらの複製物に対する権利および所有権その他の権利は全てエプソン及びそのライセンサーに帰属します。
8. 商標は、商標の所有者名を明示し、容認された商標慣行に従って使用されるものとします。商標の使用は、本ソフトウェアによって生成された印刷出力の識別を目的とする場合に限られます。いかなる商標であっても、こうした使用によって当該の商標の所有権がお客様に付与されることはありません。

9. お客様は、ご自身が使用されない本ソフトウェアあるいはその複製物、または未使用の記憶媒体に収められた本ソフトウェアを貸与、リース、使用許諾、譲渡することはできません。ただし、上述の、全てのソフトウェア及びドキュメンテーションを永久的に譲渡する場合を除きます。
10. エプソン及びそのライセンサーは、損害が生じる可能性について報告を受けていたとしても、本ソフトウェアの使用に付随または関連して生ずる間接的、懲罰的あるいは実害、利益損失、財産損失についていかなる場合においても、また第三者からのいかなるクレームに対しても一切の責任を負いません。エプソン及びそのライセンサーは、本ソフトウェアの使用に関して、明示であるか黙示であるかを問わず、商品性または特定の用途への適合性、所有権、第３者の権利を侵害しないことへの保証を含むがこれに限定されず、すべての保証を否認します。ある国や司法機関、行政によっては付随的、間接的、あるいは実害の例外あるいは限定が認められず、お客様に上記の制限はあてはまらない場合もあります。
11. Notice to Government End Users（本規定に関して：本規定は米国政府機関のエンドユーザー以外の方には適用されません。）The Software is a “commercial item,” as that term is defined at 48 C.F.R.2.101, consisting of “commercial computer software” and “commercial computer software documentation,” as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212. Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.7202-4, all U.S. Government End Users acquire the Software with only those rights set forth herein.
12. 本ソフトウェアをいかなる国においても輸出管理に関連した法規制に違反した形で輸出することはできません。

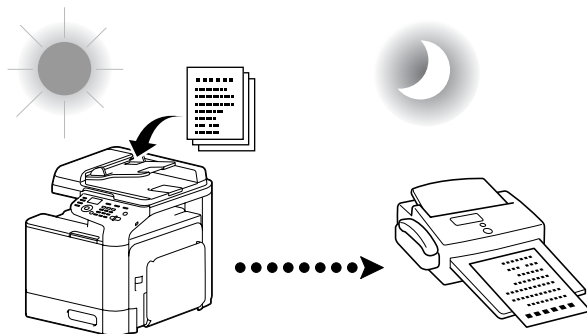
はじめに

こんな機能があります

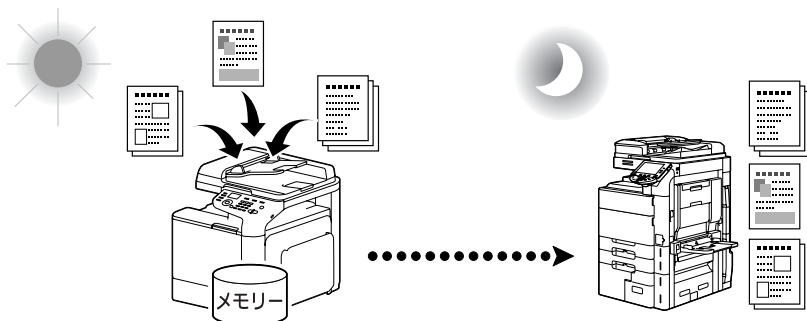
同報送信

同じ原稿を複数の宛先に一度の操作で送信できます。

詳しくは、「複数の相手先に送信する（同報送信）」（p.111）をごらんください。

タイマー通信

読込んだ原稿をメモリーに保存しておき、指定した時刻に送信できます。

詳しくは、「指定した時間にファクスを送信する（タイマー通信）」（p.117）をごらんください。

一括送信する

メモリーに読込ませた複数の原稿を、ひとつの宛先に、指定した時刻にまとめて送信できます。

詳しくは、「一括送信する」（p.120）をごらんください。

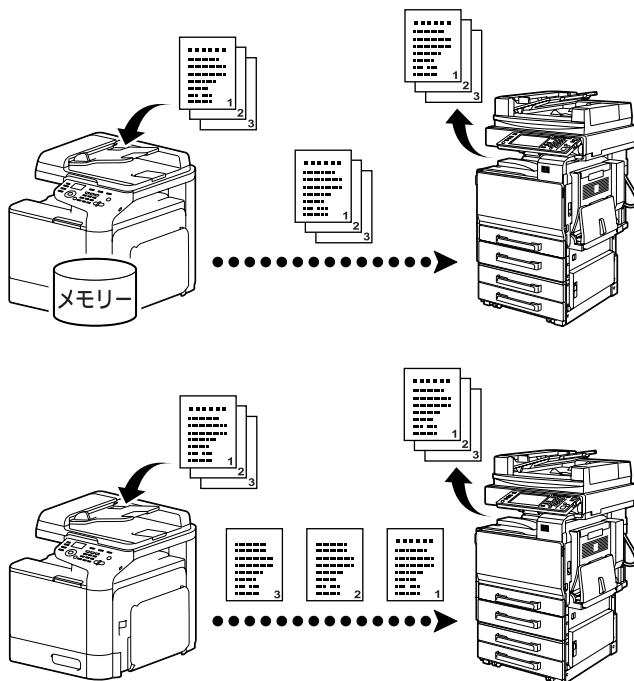
メモリ送信／クイック送信

本機を使用して原稿を送信するには、メモリ送信とクイック送信の 2 つがあります。

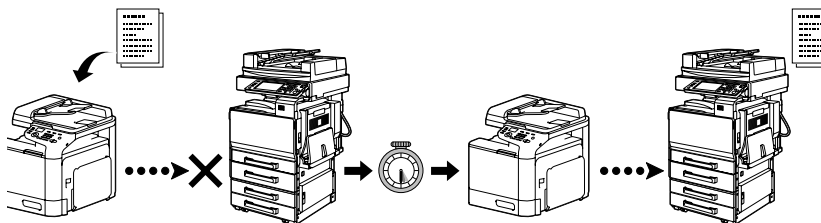
■ メモリ送信

あらかじめすべての原稿を読込み、メモリーに蓄積してからファクス送信します。
ファクス送信の待ち時間の低減につながります。

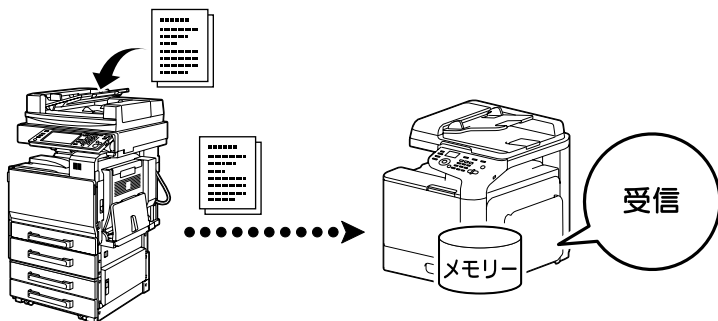
■　クイック送信

送信先とリアルタイムで通信して、ファクス送信します。
原稿の枚数が多い場合でも、メモリーオーバーすることなく送信できます。
また、大事な原稿を送信する場合は、確認しながらの送信が可能です。

詳しくは、「メモリ送信とクイック送信について」（p.123）をごらんください。

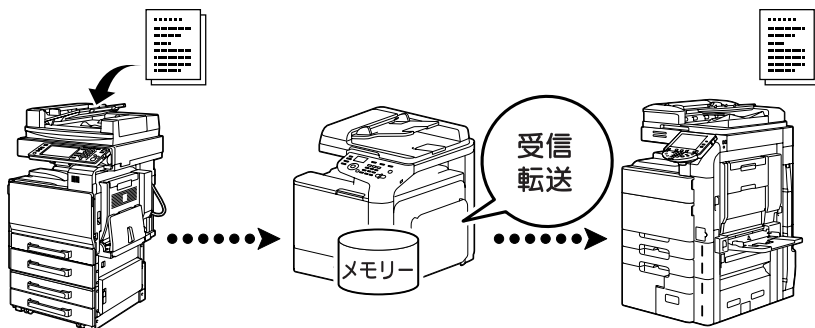
オートリダイアル

通話中や通信エラーなどでファクスが正常に送信されなかった場合は、所定時間経過後に自動的にリダイアル（再送信）します。

詳しくは、「管理者設定メニュー」（p.41）をごらんください。

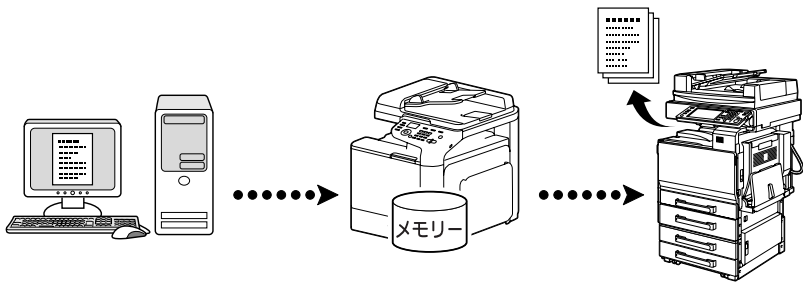
メモリ受信

受信文書をメモリーに受信し、指定した時間に出力することができます。
機密文書を受信する場合などに便利です。

詳しくは、「メモリ受信モード」（p.66）をごらんください。

転送ファクス

受信文書をあらかじめ指定した宛先（ファクス機、E-mail 宛先）に自動転送できます。

詳しくは、「受信ファクスを転送する」（p.160）をごらんください。

PC ファクス

ファクスドライバーを使用して、コンピューターからファクスを直接送信できます。

詳しくは、「コンピューターから直接ファクス送信する（PC ファクス）」（p.137）をごらんください。

各部の名称

以下の図は、本書で使用している本機各部の名称を示しています。

前面

1 操作パネル

2 自動原稿送り装置（ADF）

2-a ADF カバー

2-b ガイド板

2-c 原稿給紙トレイ

2-d 原稿給紙補助トレイ

2-e 原稿排紙トレイ

2-f 原稿ストッパー

エラーメッセージなどで、ADF を［給紙カバ -］と表示する場合があります。

LEGALの原稿をADFで読込む場合、原稿ストッパーを倒します。

3 USB ホストポート

4 トレイ 1（手差しトレイ）

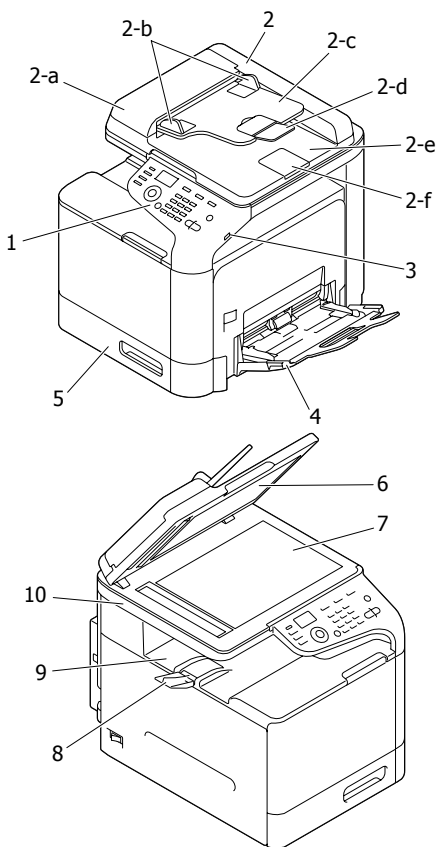
5 トレイ 2

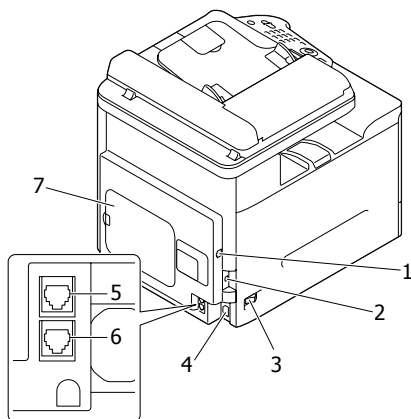
6 原稿カバーパッド

7 原稿ガラス

8 排紙補助トレイ

9 排紙トレイ

10 スキャナーユニット

背面

1 10Base-T/100Base-TX/1000Base-T (IEEE 802.3) イーサネットインターフェースポート
2 USB ポート
3 電源スイッチ
4 電源インレット
5 回線コネクター（LINE）
6 外付け電話機接続用コネクター（TEL）

ファクスの接続

各種接続方法

ここではファクスの各種接続について説明します。誤った接続は他の機器に悪影響を与える場合がありますので、正しく接続してください。

接続後は製品同梱の［インストレーションガイド］のファクスの初期設定を行ってください。

本機に留守番電話機を接続して、電話／ファクス自動切替え機能をご使用になる場合は「備考」（p.26）をごらんください。

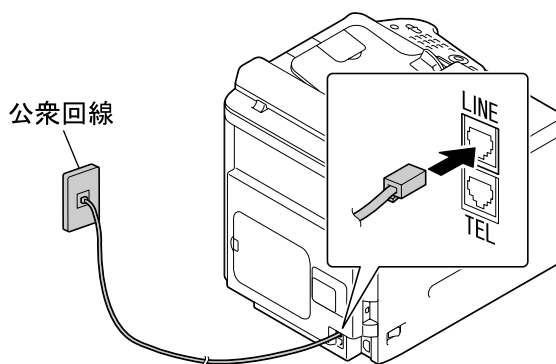
!重要

- 電話機コードの接続とフェライトコアの取り付けは［インストレーションガイド］に従ってください。
- ISDN 回線（ターミナルアダプター、ダイアルアップルーター接続）や ADSL 回線に接続してご使用の場合 ISDN 接続機器（ターミナルアダプター等）、ADSL 接続機器（スプリッター等）が原因でファクス機能が正常に動作しない場合があります。その場合は、ご加入の回線業者へお問い合わせください。ファクスの設置に伴う回線工事には、「電話工事担任者」資格を必要とします。無資格者の工事は事故のもとになりますので、販売店もしくは、ご利用の電話会社にご相談ください。

ISDN 回線、ADSL 回線、デジタルテレビ、CS チューナー、ひかり電話、ホームテレフォン等との接続においては、必ずしもファクス送受信を保障するものではありません。

公衆回線への接続

公衆回線に接続し、回線をファクス専用としてご使用になる場合

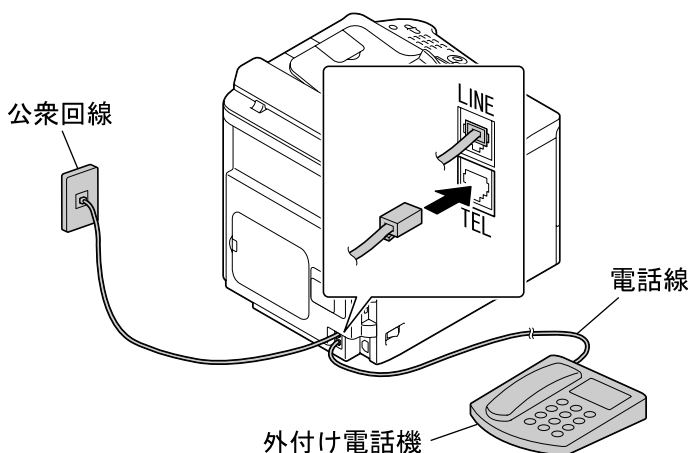
ご使用の電話機コードを本機の背面の回線コネクター（LINE）に接続してください。

■　本機操作パネルの設定：

本接続をご使用になる場合は、本機操作パネルを以下に設定してご使用ください。

- ［設定ﾒﾆｭｰ］-［管理者設定］-［送信設定］-［PSTN/PBX］:［PSTN］
- ［設定ﾒﾆｭｰ］-［管理者設定］-［送信設定］-
  ［電話 / ﾌｧｸｽ ﾓｰﾄﾞ］:［ｵﾌ］

公衆回線に接続し、電話とファクスの両方をご使用になる場合

本機に電話機を接続し、回線上で電話とファクスを兼用する場合の接続方法です。

ご使用の電話機を本機の背面の外付け電話機接続用コネクター（TEL）に接続してください。

■ 本機操作パネルの設定：

本接続をご使用になる場合は、本機操作パネルを以下に設定してご使用ください。

- ［設定ﾒﾆｭｰ］-［管理者設定］-［送信設定］-［PSTN/PBX］:［PSTN］
- ［設定ﾒﾆｭｰ］-［管理者設定］-［送信設定］-
  ［電話 / ﾌｧｸｽ ﾓｰﾄﾞ］:［ｵﾝ］

お使いの電話回線内ですでに何台かの電話機が接続されている場合は、本機または本機に接続されている電話機が使用できない場合があります。この場合、配線工事が必要になりますので、取付工事を行った販売店か、ご利用の電話会社にご相談ください。

本機の外付け電話機接続用コネクター（TEL）に接続できる端末（電話機など）台数は 1 台です。

本機の外付け電話機接続用コネクター（TEL）に接続した電話機がファクス内蔵電話機の場合、呼び出し応答時間設定が本機より短く設定されていると、着信時に本機側でファクスの受信ができない場合があります。ご使用の機器の取扱説明書をご参照の上、本機の呼び出し応答時間よりも長く設定してください。

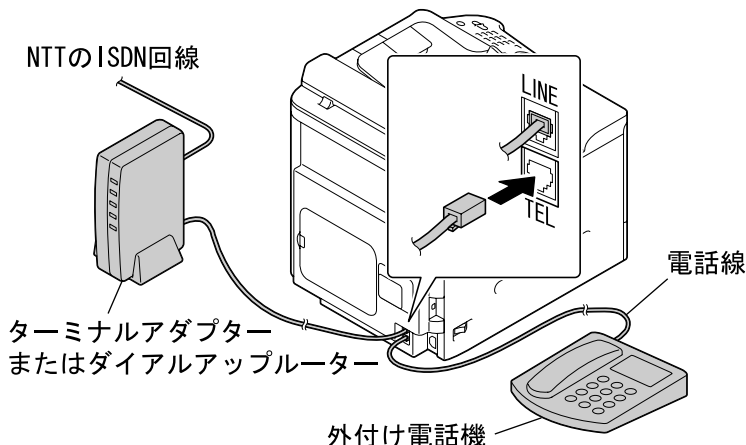
各種サービス（キャッチホン／ナンバー・ディスプレイ／ダイアルインなど）は、ファクスでは使用できません。

電話機子機からの転送受信はできません。

ISDN 回線への接続

ISDN 回線（電話番号が 1 つ）に接続する場合

ISDN 回線で電話番号が 1 つの場合、ターミナルアダプター（またはダイアルアップルーター）のアナログポートに本機を接続し、ご使用の電話機を本機の背面の外付け電話機接続用コネクター（TEL）に接続してください。

ターミナルアダプター（またはダイアルアップルーター）の空きポートは「使用しない」に設定してください。

■ 本機操作パネルの設定：

本接続をご使用になる場合は、本機操作パネルを以下に設定してご使用ください。

– ［設定ﾒﾆｭｰ］ - ［管理者設定］ - ［送信設定］ - ［PSTN/PBX］：［PSTN］
– ［設定ﾒﾆｭｰ］ - ［管理者設定］ - ［送信設定］ -
［電話 / ﾌｧｸｽ ﾓｰﾄﾞ］：［ｵﾝ］

電話とファクスは同時に使用することはできません。

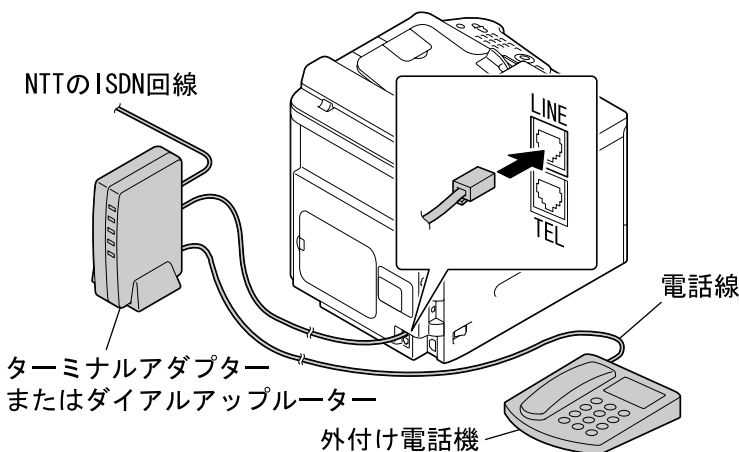
ターミナルアダプター（またはダイアルアップルーター）側に本機を接続して電話の発信、着信、通話を確認してください。
万一、本機が使えないときは、ターミナルアダプター（またはダイアルアップルーター）の設定を確認してください。

ターミナルアダプター（またはダイアルアップルーター）によってはブランチ接続（並列接続）が動作保障外の場合があります。
ターミナルアダプター（またはダイアルアップルーター）の仕様についてはターミナルアダプター（またはダイアルアップルーター）の取扱い説明書をごらんいただくかターミナルアダプター（またはダイアルアップルーター）の販売メーカーにお問い合わせください。

本機の外付け電話機接続用コネクター（TEL）に接続した電話機がファクス内蔵電話機の場合、呼び出し応答時間設定が本機より短く設定されていると、着信時に本機側でファクスの受信ができない場合があります。ご使用の機器の取扱説明書をご参照の上、本機の呼び出し応答時間よりも長く設定してください。

ISDN 回線（電話番号が 2 つ）に接続する場合

電話番号とファクス番号を使い分けることが可能です。

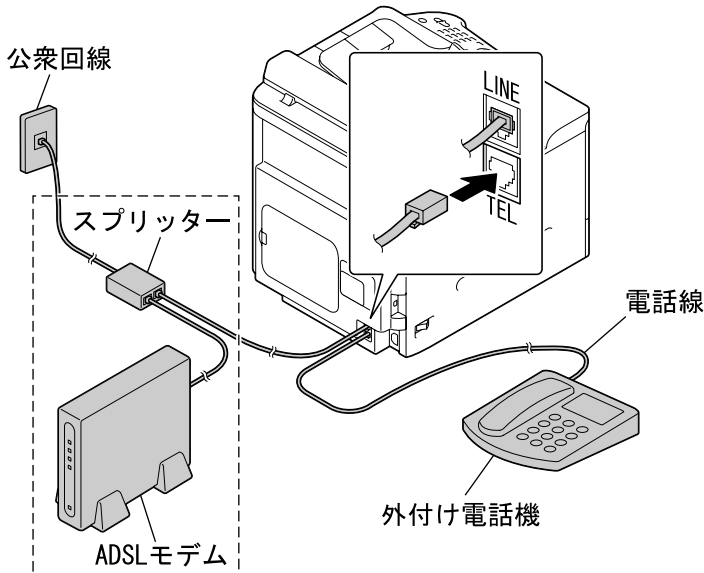
ターミナルアダプター（またはダイアルアップルーター）のファクス用電話番号が割り当てられているアナログポートに本機を接続してください。

■ 本機操作パネルの設定：

本接続をご使用になる場合は、本機操作パネルを以下に設定してご使用ください。

- ［設定ﾒﾆｭｰ］-［管理者設定］-［送信設定］-［PSTN/PBX］：［PSTN］
- ［設定ﾒﾆｭｰ］-［管理者設定］-［送信設定］-［電話 / ﾌｧｸｽ ﾓｰﾄﾞ］：［ｵﾌ］

ADSL 回線に接続する場合

スプリッターの TEL 側端子に本機を接続し、ご使用の電話機を本機の背面の外付け電話機接続用コネクター（TEL）に接続してください

誤った接続の場合、ノイズや通信エラーの原因になります。

■　本機操作パネルの設定：

本接続をご使用になる場合は、本機操作パネルを以下に設定してご使用ください。

- ［設定ﾒﾆｭｰ］-［管理者設定］-［送信設定］-［PSTN/PBX］：［PSTN］
- ［設定ﾒﾆｭｰ］-［管理者設定］-［送信設定］-
［電話 / ﾌｧｸｽ ﾓｰﾄﾞ］：［ｵﾝ］
- ［設定ﾒﾆｭｰ］-［ﾌｧｸｽ受信設定］-［受信ﾓｰﾄﾞ］：［自動受信］

並列（ブランチ）接続はおやめください。通話音質の低下、ノイズの発生、通信エラーなどの原因になります。

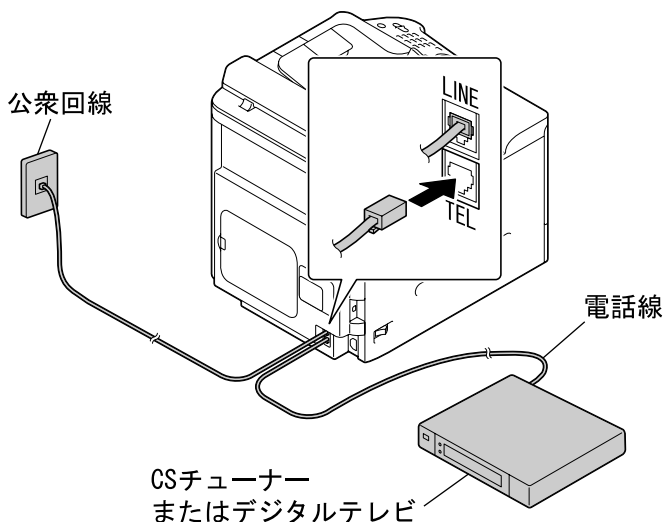
IP フォンを使用してファクス通信を行う場合は、お客様が契約されているプロバイダーの通信品質が保証されていることを確認してください。

自分の声または相手の声が聞きづらい（ひびく）場合、スプリッターが影響している可能性がありますのでスプリッターを交換すると改善する場合があります。

接続イメージ図内の点線枠の部分は、使用機器によって一体型の ADSL モデムの場合もあります。

本機の外付け電話機接続用コネクター（TEL）に接続した電話機がファクス内蔵電話機の場合、呼び出し応答時間設定が本機より短く設定されていると、着信時に本機側でファクスの受信ができない場合があります。ご使用の機器の取扱説明書をご参照の上、本機の呼び出し応答時間よりも長く設定してください。

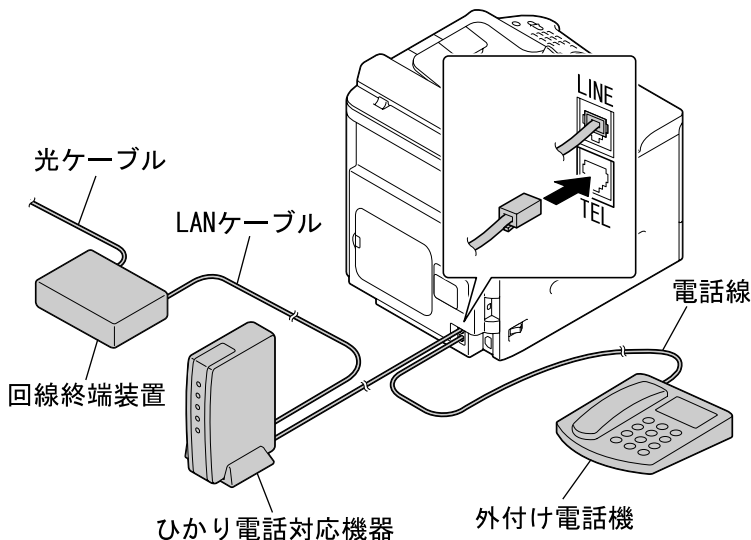
デジタルテレビや CS チューナーに接続する場合

デジタルテレビや CS チューナーは、本機の背面の外付け電話機接続用コネクター（TEL）に接続します。

■ 本機操作パネルの設定：

本接続をご使用になる場合は、本機操作パネルを以下に設定してご使用ください。

- ［設定ﾒﾆｭｰ］-［管理者設定］-［送信設定］-［PSTN/PBX］：［PSTN］
- ［設定ﾒﾆｭｰ］-［管理者設定］-［送信設定］-［電話 / ﾌｧｸｽ ﾓｰﾄﾞ］：［ｵﾝ］
- ［設定ﾒﾆｭｰ］-［ﾌｧｸｽ受信設定］-［受信ﾓｰﾄﾞ］：［自動受信］

ひかり電話に接続する場合

ひかり電話対応機器（ルーターなど）のアナログポートに本機を接続し、ご使用の電話機を本機の背面の外付け電話機接続用コネクター（TEL）に接続してください。

■ 本機操作パネルの設定：

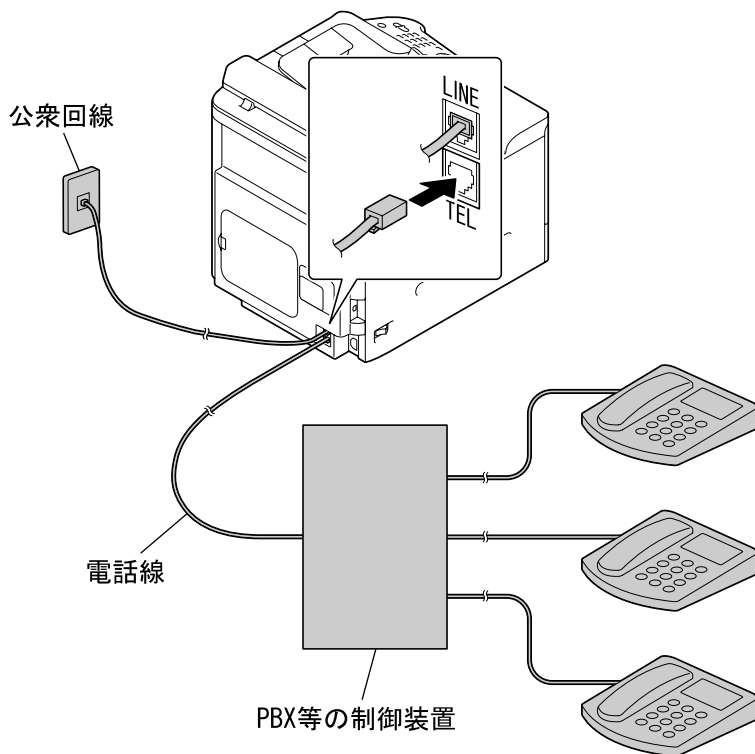
本接続をご使用になる場合は、本機操作パネルを以下に設定してご使用ください。

- ［設定ﾒﾆｭｰ］-［管理者設定］-［送信設定］-［PSTN/PBX］：［PSTN］
- ［設定ﾒﾆｭｰ］-［管理者設定］-［送信設定］-
  ［電話 / ﾌｧｸｽ ﾓｰﾄﾞ］：［ｵﾝ］

ひかり電話の詳しいサービス内容、およびひかり電話対応機器の設定方法や不具合は NTT にお問い合わせください。
ひかり電話対応機器へ設定するデータは、NTT から郵送される書面をご確認ください。

構内交換機（PBX）、ビジネスフォン、ホームテレフォンに接続する場合

PBX などの制御装置は、本機の背面の外付け電話機接続用コネクター（TEL）に接続します。

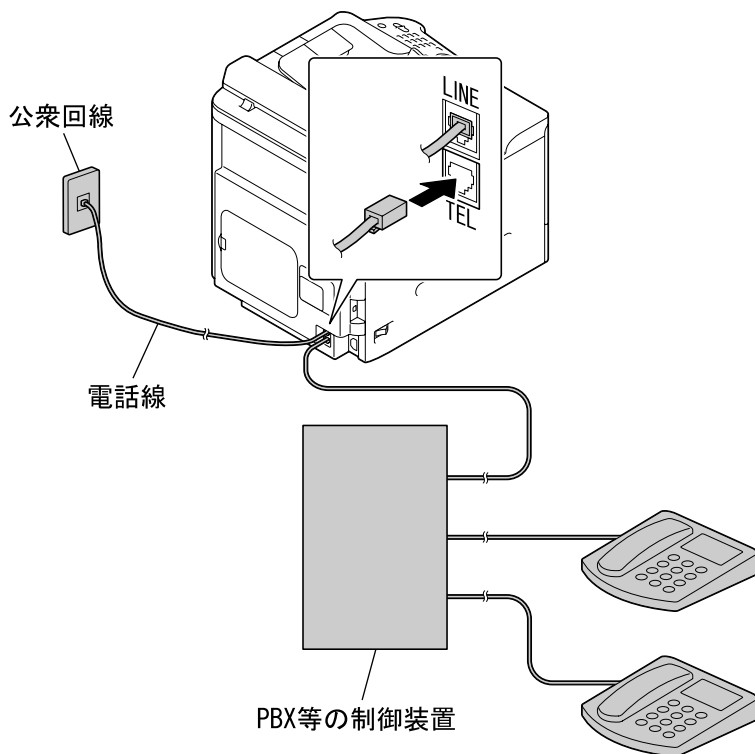
回線数が 1 つの場合の例を示します。

■ 本機操作パネルの設定：

本接続をご使用になる場合は、本機操作パネルを以下に設定してご使用ください。

- ［設定ﾒﾆｭｰ］-［管理者設定］-［送信設定］-［PSTN/PBX］：［PSTN］
- ［設定ﾒﾆｭｰ］-［管理者設定］-［送信設定］-［電話 / ﾌｧｸｽ ﾓｰﾄﾞ］：［ｵﾝ］
- ［設定ﾒﾆｭｰ］-［ﾌｧｸｽ受信設定］-［受信ﾓｰﾄﾞ］：［自動受信］

内線電話として接続する場合

構内交換機（PBX）またはビジネスフォンを使用しているところに本機を内線接続する場合、構内交換機（PBX）またはビジネスフォン主装置の設定を

アナログ 2 芯用に変更してください。詳細は、配線工事を実施した販売店にご相談ください。

■ 本機操作パネルの設定：

本接続をご使用になる場合は、本機操作パネルを以下に設定してご使用ください。

– ［設定ﾒﾆｭｰ］-［管理者設定］-［送信設定］-［PSTN/PBX］：［PBX］

備考

本機操作パネルのメニューとの組合せにより更に便利にご使用いただけます。

■ 外付け電話機を接続して電話／ファクスを自動切替えしたい場合

以下の設定によりファクスの場合は自動受信され、電話の場合は電話着信を示します。

必用に応じて設定してください。

– ［設定ﾒﾆｭｰ］-［ﾌｧｸｽ受信設定］-［受信ﾓｰﾄﾞ］：［自動受信］
– ［設定ﾒﾆｭｰ］-［管理者設定］-［送信設定］-［電話 / ﾌｧｸｽ ﾓｰﾄﾞ］：［ｵﾝ］

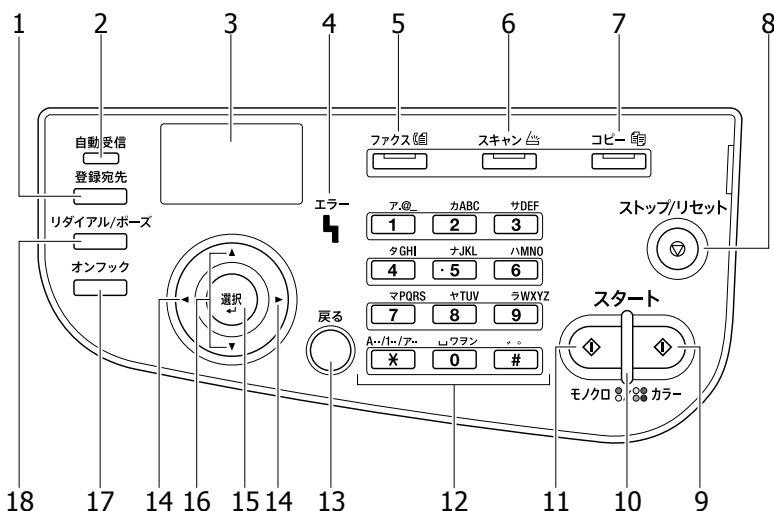
– ［設定ﾒﾆｭｰ］ - ［管理者設定］ - ［送信設定］ - ［留守番電話接続］：［ｵﾌ］

■ 外付け電話機を接続して留守番電話を使用する場合

本機に留守番電話を接続する場合は、本機操作パネルを以下に設定してご使用ください。

– ［設定ﾒﾆｭｰ］ - ［ﾌｧｸｽ受信設定］ - ［受信ﾓｰﾄﾞ］：［自動受信］
– ［設定ﾒﾆｭｰ］ - ［管理者設定］ - ［送信設定］ - ［留守番電話接続］：［ｵﾝ］
– ［設定ﾒﾆｭｰ］ - ［管理者設定］ - ［送信設定］ - ［電話 / ﾌｧｸｽ ﾓｰﾄﾞ］：［ｵﾌ］

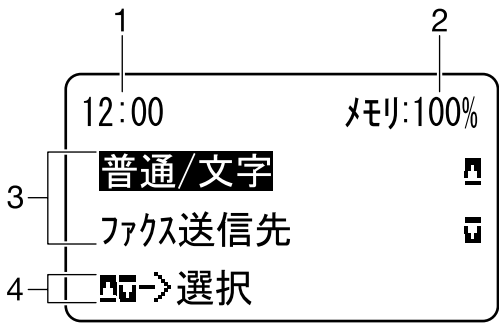
3 操作パネルとメニュー

操作パネルについて

No.	名称	機能
1	［登録宛先］キー	■常用、短縮ダイアル、グループダイアルに登録されている内容が表示されます。 ■詳しくは、「相手先を指定する」（p.90）をごらんください。
2	［自動受信］ランプ	■自動受信に設定されているときに点灯します。 ■詳しくは、「自動受信（ファクス専用）」（p.151）、「自動受信（電話／ファクス自動切替え）」（p.153）、「自動受信（外付け電話機の留守番機能を使用）」（p.156）をごらんください。
3	メッセージウィンドウ	設定メニュー項目やメッセージが表示されます。
4	［エラー］ランプ	■エラー発生時に点灯します。 ■詳しくは、「エラーメッセージ」（p.213）をごらんください。
5	［ファクス］キー／ランプ	■ファクスができる状態にします。 ■ファクスモード時に緑色に点灯します。 ■詳しくは、「ファクスモード画面」（p.32）をごらんください。

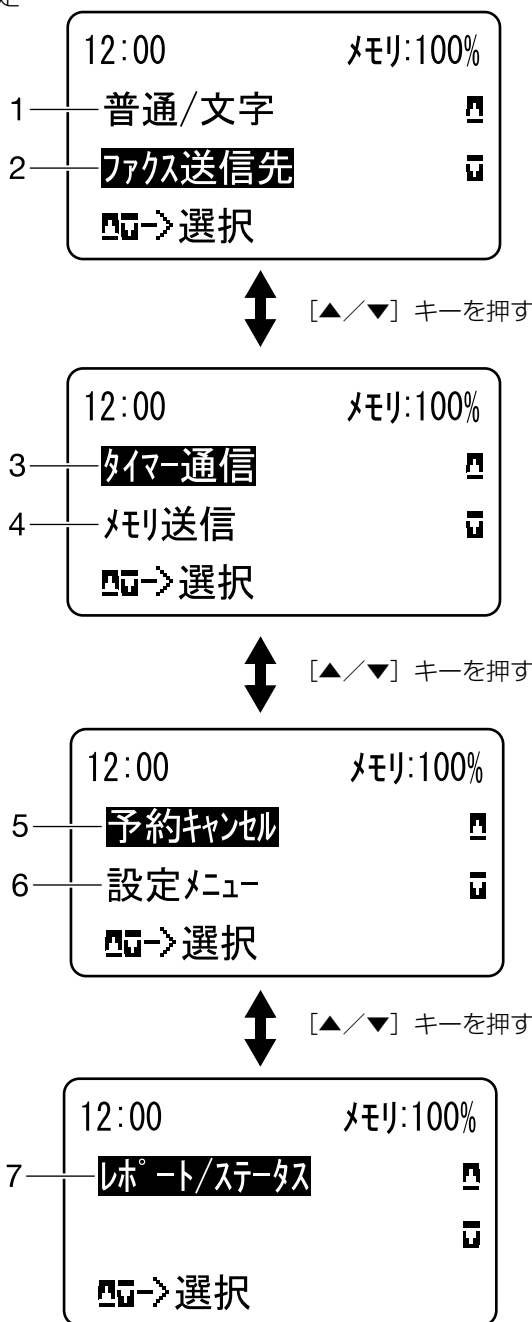
No.	名称	機能
6	［スキャン］キー／ランプ	■スキャンができる状態にします。（スキャンしたデータをメールで送信する、FTP サーバーやコンピューターの共有フォルダーに送信する、または USB メモリーに保存する場合。） ■スキャンモード時に緑色に点灯します。 ■スキャン機能については、［プリンター／コピー／スキャナー ユーザーズガイド］（ソフトウェアディスク内の PDF マニュアル）をごらんください。
7	［コピー］キー／ランプ	■コピーができる状態にします。 ■コピーモード時に緑色に点灯します。 ■コピー機能については、［プリンター ／ コピー ／ スキャナー ユーザーズガイド］（ソフトウェアディスク内の PDF マニュアル）をごらんください。
8	［ストップ / リセット］キー	■変更した設定を取消します。 ■機能を停止します。
9	［スタート（カラー)］キー	カラーコピー、カラースキャンまたはファクスを開始します。
10	［スタート］ランプ	■コピー、スキャンまたはファクスが可能なときは、青色に点灯します。 ■下記の場合は、オレンジ色に点灯します。 ● エラー発生時など、コピー、スキャンまたはファクスが不可能なとき ● 設定メニューを設定中のとき ● ［スキャン］キー、［ファクス］キーを押したとき
11	［スタート（モノクロ)］キー	モノクロコピー、モノクロスキャンまたはファクスを開始します。
12	テンキー	■コピー部数を入力します。また、ファクス番号、メールアドレス、名前などを入力します。 ■入力方法については、「入力のしかた」（p.219）をごらんください。
13	［戻る］キー	■コピー部数や入力した文字を取消します。 ■ひとつ前の画面に戻ります。 ■表示されている設定を取消します。
14	［◀ ／ ▶］キー	メニュー項目を左右に移動させます。 選択しているメニュー項目は、反転表示します。
15	［選択］キー	選択されているメニュー項目を決定します。

No.	名称	機能
16	［▲／▼］キー	メニュー項目を上下に移動させます。 選択しているメニュー項目は、反転表示します。
17	［オンフック］キー	■受話器をとった状態にします。もう一度キーを押すと受話器を置いた状態に戻ります。 ■詳しくは、「ファクスを手動送信する」（p.126）をごらんください。
18	［リダイアル / ポーズ］キー	■最後に送信したファクス番号を表示します。 ■詳しくは、「リダイアル機能を使用して送信する」（p.108）をごらんください。 ■送信するファクス番号にポーズを入れます。

ファクスモード画面

メイン画面（ファクスモード）

No.	表示	詳細
1	時刻	現在の時刻が表示されます。時刻の設定は、［設定ﾒﾆｭｰ］-［管理者設定］-［ﾕｰｻﾞｰ設定］-［日付 / 時刻］で行います。
2	使用可能メモリー	使用可能なメモリー容量をパーセント（%）で表示します。
3	ファクス設定	現在の設定の確認や、各種設定の変更を行います。詳しくは、「ファクス設定」（p.33）をごらんください。
4	ステータス	使用状況に応じてメッセージが表示されます。

■ ファクス設定

12:00
メモリ:100%
1
普通/文字
2
ファクス送信先
→選択
[▲/▼] キーを押す
12:00
メモリ:100%
3
タイマー通信
4
メモリ送信
→選択
[▲/▼] キーを押す
12:00
メモリ:100%
5
予約キャンセル
6
設定メニュー
→選択
[▲/▼] キーを押す
12:00
メモリ:100%
7
レポート/ステータス
→選択

No.	表示	詳細
1	原稿画質	設定されている原稿画質が表示されます。原稿画質の設定方法について詳しくは、「ファクス送信設定メニュー」（p.58）、「画質を調整する」（p.86）をごらんください。
2	ファクス送信先	設定されているファクス送信先が表示されます。送信先の設定方法について詳しくは、「相手先を指定する」（p.90）、「複数の相手先を指定する」（p.111）をごらんください。 送信先が設定されていない場合は［ﾌｧｸｽ送信先］と表示されます。
3	タイマー通信	タイマー通信を実行する時刻を設定します。詳しくは、「指定した時間にファクスを送信する（タイマー通信）」（p.117）をごらんください。
4	送信モード	設定されているファクス送信モードが表示されます。送信モードの設定方法について詳しくは、「ファクス送信設定メニュー」（p.58）、「メモリ送信とクイック送信について」（p.123）をごらんください。
5	［予約ｷｬﾝｾﾙ］	送信待ち状態になっているジョブの一覧を表示し、ジョブを取り消します。詳しくは、「送信予約をキャンセルする」（p.133）をごらんください。 ファクス送信先が設定されている場合は表示されません。
6	［設定ﾒﾆｭｰ］	本機の各種設定を変更します。詳しくは、「設定メニュー」（p.37）をごらんください。 ファクス送信先が設定されている場合は表示されません。

No.	表示	詳細
7	[ﾚﾎﾟｰﾄ / ｽﾃｰﾀｽ]	本機で実行した印刷の合計枚数やファクスの送受信結果を確認したり、レポートを印刷することができます。詳しくは、「通信管理」（p.197）をごらんください。 ファクス送信先が設定されている場合は表示されません。

ファクスモードへ切換えるには

ファクス機能を使うときは、［ファクス］キーが緑色に点灯していることを確認します。

緑色に点灯していない場合は、［ファクス］キーを押してファクスモードに切換えます。

コピーモード中またはスキャンモード中に、［リダイアル / ポーズ］キー、［オンフック］キーを押すと、ファクスモードに切換わります。

画面シンボル一覧

シンボル		説明
	ダイアル中	本機が相手先を呼び出しているところです。
	着信中	着信があり、呼び出されているところです。
	送信中	原稿が送信されているところです。
	受信中	相手先からの文書を受信しているところです。
	読込んだ原稿のページ数	読込んだ原稿のページ数がこのシンボルの横に表示されます。
	トーン	通信設定でパルスが設定されている場合、このシンボルが表示されているときは、トーンを送出します。
	ポーズ	ファクス番号中にポーズが挿入されています。
	タイマー通信予約、一括送信予約あり	タイマー通信、一括送信が予約されています。
	メモリ受信中	メモリ受信が設定されています。

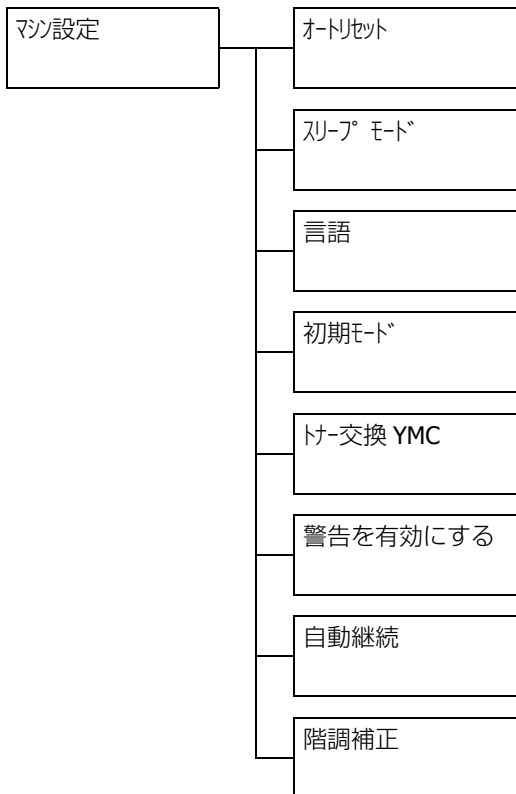
設定メニュー

設定メニューでは、本機のさまざまな設定を変更できます。設定メニューの構成は以下のとおりです。

設定メニュー内の設定については、「設定メニューを設定する」（p.65）をごらんください。

［ﾕﾆﾊﾞｰｻﾙ］メニュー、［用紙設定］メニュー、［ｺﾋﾟｰ設定］メニュー、［読込み設定］メニューの設定については、［プリンター ／コピー ／ スキャナー ユーザーズガイド］（ソフトウェアディスク内の PDF マニュアル）をごらんください。

マシン設定メニュー

本機の動作や表示に関する設定を行うには、設定メニューから［ﾏｼﾝ設定］を選択します。

太字は工場出荷時の設定値を表します。

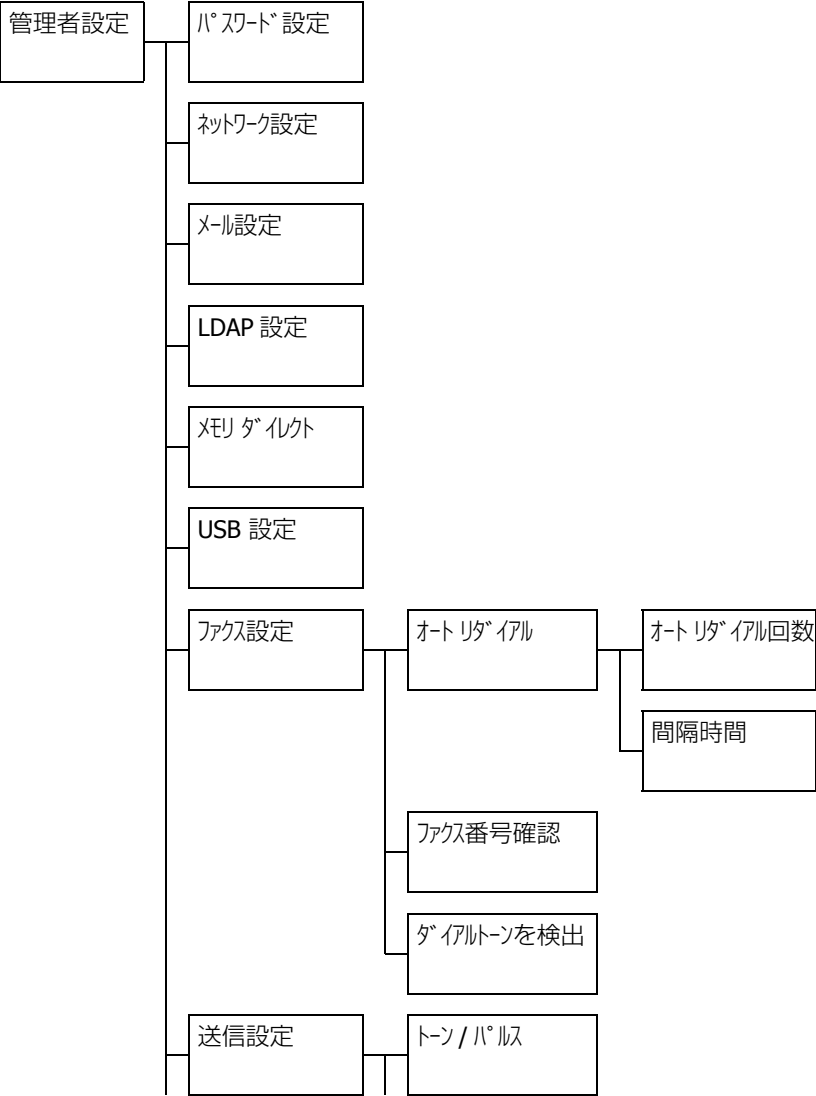
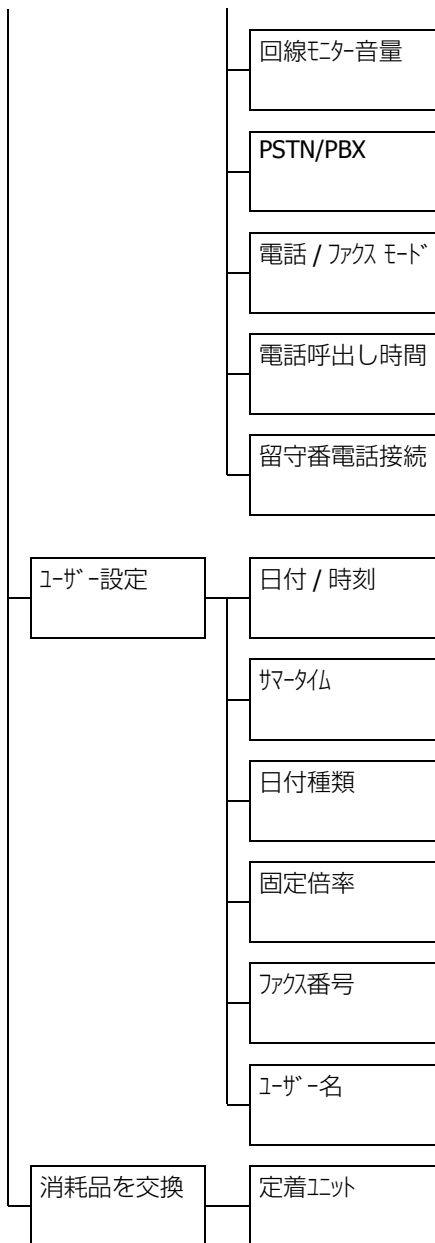
[ｵｰﾄﾘｾｯﾄ]	設定	[ｵﾌ] ／ [30 秒] ／ [**1 分**] ／ [2 分] ／ [3 分] ／ [4 分] ／ [5 分]
	本機を操作しなくなってから一定時間経過したとき、全ての設定を取り消し、初期設定に戻すかどうかを選択します。 自動リセット機能を設定するには、[30 秒] [1 分] [2 分] [3 分] [4 分] [5 分] からオートリセットがはたらくまでの時間を選択します。 [ｵﾌ] を選択した場合は、自動リセット機能ははたらきません。	
[ｽﾘｰﾌﾟ ﾓｰﾄﾞ]	設定	[**1 分**（1-120 分)]
	本機を一定時間使用しない場合に、節電モードへ移行するまでの時間を設定します。 単位は分です。	
[言語]	設定	[英語] ／ [**日本語**]
	メッセージウィンドウの表示言語を、選択した言語に切換えることができます。	
[初期ﾓｰﾄﾞ]	設定	[**ｺﾋﾟｰ**] ／ [ﾌｧｸｽ] ／ [ｽｷｬﾝ]
	本機の電源をオンした後またはオートリセット後のモードを設定します。	
[ﾄﾅｰ交換 YMC]	設定	[ｽﾄｯﾌﾟ] ／ [**ﾓﾉｸﾛ印字可能**]
	トナーが無くなったときに、プリント、コピー、ファクスの印刷を停止するかどうかを設定します。 ■ [ｽﾄｯﾌﾟ]：トナーが無くなったときに、プリント、コピー、ファクスの印刷を停止します。 ■ [ﾓﾉｸﾛ印字可能]：1 つ以上のカラートナーがなくなった場合でも黒トナーが残っていると、モノクロ印刷、モノクロコピー、ファクス受信印刷は可能です。	

<table>
<tr><td rowspan="6">[警告を有効にする]</td><td rowspan="2">[トナー残量少]</td><td>設定</td><td>[オン] ／ [オフ]</td></tr>
<tr><td colspan="2">トナーの残りが少なくなると、メッセージが表示されます。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">[P/U 交換間近]</td><td>設定</td><td>[オン] ／ [オフ]</td></tr>
<tr><td colspan="2">感光体ユニットの交換時期が近づくと、メッセージが表示されます。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">[廃トナー交換時期]</td><td>設定</td><td>[オン] ／ [オフ]</td></tr>
<tr><td colspan="2">廃トナーボックスの交換時期が近づくと、メッセージが表示されます。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">[自動継続]</td><td colspan="2">設定</td><td>[オン] ／ [オフ]</td></tr>
<tr><td colspan="3">■ [オン] に設定すると、用紙サイズエラーが発生しても印刷を停止しません。印刷終了後に [選択] キーを押してエラーを解除します。
■ [オフ] に設定すると、用紙サイズエラーが発生した場合は、印刷を停止します。ただし、用紙サイズエラーを検出するまでの数枚を印刷する場合があります。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">[階調補正]</td><td colspan="2">設定</td><td>[オン] ／ [オフ]</td></tr>
<tr><td colspan="3">画像階調を補正します。
[オン] に設定すると、画像階調の補正を開始します。</td></tr>
</table>

管理者設定メニュー

ネットワークに関する設定など、本機の管理者設定を行うには、設定メニューから［管理者設定］を選択します。

［管理者設定］は管理者専用の設定メニューです。このメニューの設定項目を表示するには、［管理者設定］を選択後、テンキーで 6 桁の管理者番号（工場出荷時：000000）を入力してから［選択］キーを押してください。

回線ﾓﾆﾀｰ音量
PSTN/PBX
電話 / ﾌｧｸｽ ﾓｰﾄﾞ
電話呼出し時間
留守番電話接続
ﾕｰｻﾞｰ設定
日付 / 時刻
ｻﾏｰﾀｲﾑ
日付種類
固定倍率
ﾌｧｸｽ番号
ﾕｰｻﾞｰ名
消耗品を交換
定着ﾕﾆｯﾄ

太字は工場出荷時の設定値を表します。

［ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ設定］	［管理者番号］	新しい管理者番号を設定します。			
	［機能番号］	［機能番号を変更］	機能制限をかけるときのパスワードを設定します。 パスワードを入力することで、制限のかかっている機能が使用できます。 工場出荷時は［000000］です。		
		［許可しない］	［ｶﾗｰｺﾋﾟｰ］	設定	［**許可する**］／［許可しない］
				カラーコピーの使用を許可するか、許可しないかを設定します。	
			［ﾌｧｸｽ送信］	設定	［**許可する**］／［許可しない］
				ファクス送信の使用を許可するか、許可しないかを設定します。	
			［SCAN TO E-MAIL］	設定	［**許可する**］／［許可しない］
				Scan to E-mail の使用を許可するか、許可しないかを設定します。	
			［SCAN TO USB ﾒﾓﾘｰ］	設定	［**許可する**］／［許可しない］
				Scan to USB メモリーの使用を許可するか、許可しないかを設定します。	
			［SCAN TO ｻｰﾊﾞｰ］	設定	［**許可する**］／［許可しない］
				Scan to サーバーの使用を許可するか、許可しないかを設定します。	

[ﾈｯﾄﾜｰｸ設定]	[TCP/IP]		設定	[無効] ／ [**有効**]
			本機のネットワーク接続を有効にするか、無効にするかを設定します。	
	[IP ｱﾄﾞﾚｽ設定]	[IP ｱﾄﾞﾚｽ]	設定	[0.0.0.0]
			ネットワーク上の本機の IP アドレスを設定します。	
		[ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ]	設定	[0.0.0.0]
			サブネットマスクを設定します。	
		[ｹﾞｰﾄｳｪｲ]	設定	[0.0.0.0]
			ゲートウェイアドレスを設定します。	

［ﾈｯﾄﾜｰｸ設定］	［DHCP］	設定	［無効］／［**有効**］
		ネットワーク上に DHCP サーバーが存在する場合に、IP アドレスなどのネットワーク情報を DHCP サーバーから自動的に取得するか、しないかを設定します。	
	［BOOTP］	設定	［**無効**］／［有効］
		ネットワーク上に BOOTP サーバーが存在する場合に、IP アドレスなどのネットワーク情報を BOOTP サーバーから自動的に取得するか、しないかを設定します。	
	［ARP/PING］	設定	［**無効**］／［有効］
		IP アドレスの取得時に ARP/PING コマンドを使用するかしないかを設定します。	
	［HTTP］	設定	［無効］／［**有効**］
		HTTP（ハイパーテキスト転送プロトコル）を有効にするか、無効にするかを設定します。	
	［FTP ｻｰﾊﾞｰ］	設定	［**無効**］／［有効］
		FTP（ファイル転送プロトコル）サーバーを有効にするか、無効にするかを設定します。	
	［FTP 送信］	設定	［無効］／［**有効**］
		FTP 送信を有効にするか、無効にするかを設定します。	
	［SMB 宛先］	設定	［無効］／［**有効**］
		SMB（サーバーメッセージブロック）を有効にするか、無効にするかを設定します。	
	［BONJOUR］	設定	［無効］／［**有効**］
		Bonjour（ボンジュール）を有効にするか、無効にするかを設定します。	
	［ﾀﾞｲﾅﾐｯｸ DNS］	設定	［**無効**］／［有効］
		ダイナミック DNS を有効にするか、無効にするかを設定します。	

［ﾈｯﾄﾜｰｸ設定］	［IPP］		設定	［無効］／［**有効**］
			IPP（インターネットプリンティングプロトコル）を有効にするか、無効にするかを設定します。 ［HTTP］を［無効］に設定している場合は、IPP は設定できません。	
	［RAW ﾎﾟｰﾄ］	［禁止 / 許可］	設定	［無効］／［**有効**］
			RAW ポートを有効にするか、無効にするかを設定します。	
		［双方向］	設定	［**無効**］／［有効］
			RAW ポートの双方向通信を有効にするか、無効にするかを設定します。	
	［SLP］		設定	［無効］／［**有効**］
			SLP（サービスロケーションプロトコル）を有効にするか、無効にするかを設定します。	
	［SNMP］		設定	［無効］／［**有効**］
			SNMP（シンプルネットワークマネージメントプロトコル）を有効にするか、無効にするかを設定します。	
	［WSD 印刷］		設定	［無効］／［**有効**］
			WSD（Web Services on Devices）印刷を有効にするか、無効にするかを設定します。	
	［WSD ｽｷｬﾝ］		設定	［無効］／［**有効**］
			WSD スキャンを有効にするか、無効にするかを設定します。	
	［IPSEC］		設定	［**無効**］／［有効］
			IPsec を有効にするか、無効にするかを設定します。	

［ﾈｯﾄﾜｰｸ設定］	［IP ｱﾄﾞﾚｽﾌｨﾙﾀｰ］	［ｱｸｾｽ許可］	設定	［**無効**］／［有効］
			IP アドレスによるアクセス許可を有効にするか、無効にするかを設定します。	
		［ｱｸｾｽ拒否］	設定	［**無効**］／［有効］
			IP アドレスによるアクセス拒否を有効にするか、無効にするかを設定します。	
	［IPv6］	［禁止 / 許可］	設定	［無効］／［**有効**］
			IPv6 を有効にするか、無効にするかを設定します。	
		［自動設定］	設定	［**はい**］／［いいえ］
			IPv6 自動設定をするか、しないかを設定します。	
		［ﾘﾝｸﾛｰｶﾙｱﾄﾞﾚｽ］	リンクローカルアドレスを表示します。	
		［ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｱﾄﾞﾚｽ］	グローバルアドレスを表示します。	
		［ｹﾞｰﾄｳｪｲ］	ゲートウェイアドレスを表示します。	
	［NETWARE］		設定	［**無効**］／［有効］
			Netware を有効にするか、無効にするかを設定します。	
	［APPLETALK］		設定	［無効］／［**有効**］
			AppleTalk を有効にするか、無効にするかを設定します。	
	［SPEED/DUPLEX］		設定	［**自動**］／［10BASE FULL］／［10BASE HALF］／［100BASE FULL］／［100BASE HALF］／［1000BASE FULL］
			通信速度と双方向通信の通信方式を設定します。	
	［IEEE802.1X］		設定	［**無効**］／［有効］
			IEEE802.1X 認証設定を有効にするか、無効にするかを設定します。	

<table>
<tr><td rowspan="12">［ﾒｰﾙ設定］</td><td rowspan="2">［SMTP］</td><td>設定</td><td>［無効］／［有効］</td></tr>
<tr><td colspan="2">本機のメール送信機能を有効にするか、無効にするかを設定します。</td></tr>
<tr><td>［発信元名］</td><td colspan="2">メールの送信者名（英数字、記号で最大 20 文字）を入力します。

工場出荷時は［Epson LP-M720］です。</td></tr>
<tr><td>［E-mail ｱﾄﾞﾚｽ］</td><td colspan="2">メール送信者のメールアドレス（英数字、記号で最大 64 文字）を入力します。</td></tr>
<tr><td>［件名初期値］</td><td colspan="2">メールで使用する件名（英数字、記号で最大 20 文字）を入力します。

工場出荷時は［from Epson LP-M720］です。</td></tr>
<tr><td>［SMTP ｻｰﾊﾞ ｱﾄﾞﾚｽ］</td><td colspan="2">SMTP（シンプルメール転送プロトコル）サーバーの IP アドレスまたはホスト名（英数字、記号で最大 64 文字）を入力します。

工場出荷時は［0.0.0.0］です。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［SMTP ﾎﾟｰﾄ番号］</td><td>設定</td><td>［25（1-65535）］</td></tr>
<tr><td colspan="2">SMTP サーバーのポートを設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［SMTP ﾀｲﾑｱｳﾄ］</td><td>設定</td><td>［60 秒（30-300 秒）］</td></tr>
<tr><td colspan="2">SMTP サーバーのタイムアウト時間（単位：秒）を設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［ﾃｷｽﾄ挿入］</td><td>設定</td><td>［ｵﾌ］／［ｵﾝ］</td></tr>
<tr><td colspan="2">規定テキストをメッセージの本文に挿入するかどうかを設定します。

［ｵﾝ］に設定した場合、以下のテキストがメッセージの本文に挿入されます。

［The attachment file is a **** format file.］

［Image data (**** format) has been attached to the e-mail.］

****：選択されているファイル形式が表示されます。</td></tr>
</table>

［ﾒｰﾙ設定］	［POP BEFORE SMTP］	［無効 / 有効］	設定	［**無効**］ ／ ［有効］
			POP Before SMTP を有効にするか、無効にするかを設定します。 ［有効］に設定した場合は、時間（単位：秒）を設定します。設定範囲は 0 ～ 60 秒（初期設定：1 秒）です。	
		［POP3 ｻｰﾊﾞｱﾄﾞﾚｽ］	POP Before SMTP 認証で使用する POP3 サーバーの IP アドレスまたはホスト名（英数字、記号で最大 64 文字）を入力します。 工場出荷時は［0.0.0.0］です。 ［無効 / 有効］設定を［有効］にした場合に表示されます。	
		［POP3 ﾎﾟｰﾄ番号］	設定	［**110**（1-65535）］
			POP3 サーバーとの通信に使用するポートを設定します。 ［無効 / 有効］設定を［有効］にした場合に表示されます。	
		［POP3 ﾀｲﾑｱｳﾄ］	設定	［**30 秒**（30-300 秒）］
			POP3 サーバーのタイムアウト時間（単位：秒）を設定します。 ［無効 / 有効］設定を［有効］にした場合に表示されます。	
		［POP3 ｱｶｳﾝﾄ］	POP3 サーバー認証で使用するユーザー名（英数字、記号で最大 63 文字）を入力します。 ［無効 / 有効］設定を［有効］にした場合に表示されます。	
		［POP3 ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ］	POP3 サーバー認証で使用するパスワード（英数字、記号で最大 15 文字）を入力します。 ［無効 / 有効］設定を［有効］にした場合に表示されます。	

<table>
<tr><td rowspan="4">［ﾒｰﾙ設定］</td><td rowspan="4">［SMTP 認証］</td><td rowspan="2">［無効 / 有効］</td><td>設定</td><td>［無効］／［有効］</td></tr>
<tr><td colspan="2">SMTP 認証を有効にするか、無効にするかを設定します。</td></tr>
<tr><td>［SMTP ﾕｰｻﾞ名］</td><td colspan="2">SMTP 認証で使用するユーザー名（英数字、記号で最大 63 文字）を入力します。

［無効 / 有効］設定を［有効］にした場合に表示されます。</td></tr>
<tr><td>［SMTP ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ］</td><td colspan="2">SMTP サーバー認証で使用するパスワード（英数字、記号で最大 15 文字）を入力します。

［無効 / 有効］設定を［有効］にした場合に表示されます。</td></tr>
</table>

［LDAP 設定］	［無効 / 有効］	設定	［無効］／［**有効**］
		LDAP 機能を有効にするか、無効にするかを設定します。	
	［LDAP ｻｰﾊﾞ ｱﾄﾞﾚｽ］	LDAP サーバーの IP アドレスまたはホスト名（英数字、記号で最大 64 文字）を入力します。 工場出荷時は［0.0.0.0］です。	
	［LDAP ﾎﾟｰﾄ番号］	設定	［**389**（1-65535）］
		LDAP サーバーのポートを設定します。 SSL 設定を有効にしている場合、LDAP ポート番号は［636］が選択されています。	
	［SSL 設定］	設定	［**無効**］／［有効］
		SSL 通信を有効にするか、無効にするかを設定します。	
	［検索ﾍﾞｰｽ］	LDAP サーバーのディレクトリーから、検索開始位置（英数字、記号で最大 64 文字）を指定します。	
	［属性］	名前またはメールアドレスを検索する際に使用する属性（英数字、記号で最大 32 文字）を設定します。 工場出荷時は［cn］です。	
	［検索方法］	設定	［始まる］／［**含む**］／［終わる］
		検索方法を設定します。 ［始まる］を設定した場合は、指定した文字で始まっている名前またはメールアドレスのみが検索されます。 ［含む］を設定した場合は、指定した文字が含まれている名前またはメールアドレスが検索されます。 ［終わる］を設定した場合は、指定した文字で終わっている名前またはメールアドレスのみが検索されます。	

［LDAP 設定］	［LDAP ﾀｲﾑｱｳﾄ］	設定	［**60 秒**（5-300 秒）］
		検索のタイムアウト時間（単位：秒）を設定します。	
	［検索最大表示件数］	設定	［**100**（5-100）］
		検索結果の最大表示件数を設定します。	
	［認証］	設定	［**共通名**］／［Simple］／［DIGEST-MD5］／［GSS-SPNEGO］／［NTLMv2］
		LDAP サーバーのログインに使用する認証方式を設定します。	
	［LDAP ｱｶｳﾝﾄ］	LDAP サーバーへの接続に使用するユーザー名（英数字、記号で最大 64 文字）を入力します。	
	［LDAP ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ］	LDAP サーバーへの接続に使用するパスワード（英数字、記号で最大 32 文字）を入力します。	
	［ﾄﾞﾒｲﾝ名］	LDAP サーバーへの接続に使用するドメイン名（英数字、記号で最大 64 文字）を入力します。	
［ﾒﾓﾘ ﾀﾞｲﾚｸﾄ］		設定	［無効］／［**有効**］
		USB メモリーを使っての印刷を有効にするか、無効にするかを設定します。	
［USB 設定］		設定	［**Windows**］／［Mac］
		本機と USB ケーブルで接続しているコンピューターのオペレーティングシステムを選択します。	

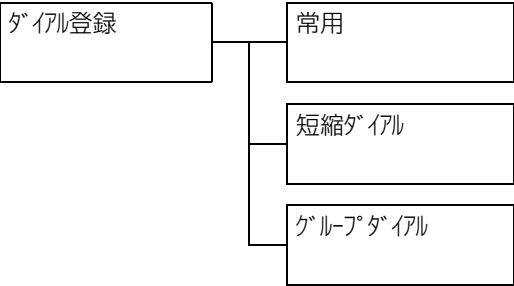
［ﾌｧｸｽ設定］	［ｵｰﾄﾘﾀﾞｲｱﾙ］	［ｵｰﾄﾘﾀﾞｲｱﾙ回数］	設定	［**1** (1-10)］
			相手が通話中などで応答できない場合にリダイアルする回数を 1 〜 10 回の間で設定します。	
		［間隔時間］	設定	［**2 分** (2-99 分)］
			リダイアルの間隔を 2 〜 99 分の間で設定します。	
	［ﾌｧｸｽ番号確認］		設定	［**ｵﾌ**］ ／ ［ｵﾝ］
			ファクス番号を直接入力して指定するとき、ファクス番号を 2 度入力させるかどうかを設定します。 繰り返し入力させることで、入力ミスによる誤送信を防止できます。	
	［ﾀﾞｲｱﾙﾄｰﾝを検出］		設定	［**ｵﾌ**］ ／ ［ｵﾝ］
			ダイアル前にダイアルトーンの検出を行うか、行わないかを設定します。	
［送信設定］	［ﾄｰﾝ / ﾊﾟﾙｽ］		設定	［**ﾄｰﾝ**］ ／ ［ﾊﾟﾙｽ］
			回線の種類を選択します。回線の種類が正しく選択されていないと、ファクス通信はできません。 ご使用の回線の種類を確認してから、設定してください。	
	［回線ﾓﾆﾀｰ音量］		設定	［ｵﾌ］ ／ ［**低**］ ／ ［高］
			回線モニター音の音量を選択します。 ［ｵﾌ］に設定している場合でも、［オンフック］キーを押したときにはモニター音が聞こえます。	

<table>
<tr><td rowspan="8">［送信設定］</td><td rowspan="3">［PSTN/PBX］</td><td>設定</td><td>［**PSTN**］／［PBX］</td></tr>
<tr><td colspan="2">PSTN または PBX は、ご利用の環境に合わせて選択します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">■［PSTN］：ご利用の環境に電話交換機などがない場合に選択します。
■［PBX］：ご利用の環境に電話交換機などがあり、内線電話システムなどを用いている場合に選択します。［PBX］を選択した場合は、外線発信番号を設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">［電話 / ﾌｧｸｽ ﾓｰﾄﾞ］</td><td>設定</td><td>［**ｵﾌ**］／［ｵﾝ］</td></tr>
<tr><td colspan="2">着信後、自動的に電話着信とファクス受信を切換える機能です。電話機を接続した場合に設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">■［ｵﾌ］：ファクスの場合は自動受信され、電話の場合は応答音だけ相手に返します。
■［ｵﾝ］：ファクスの場合は自動受信され、電話の場合は呼び出し音が鳴ります。
［設定ﾒﾆｭｰ］-［ﾌｧｸｽ受信設定］-［受信ﾓｰﾄﾞ］は［自動受信］に設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［電話呼出し時間］</td><td>設定</td><td>［5 秒］／［10 秒］／［15 秒］／［**20 秒**］／［25 秒］／［30 秒］／［60 秒］／［90 秒］／［120 秒］／［150 秒］／［180 秒］／［240 秒］</td></tr>
<tr><td colspan="2">電話の呼び出し時間（秒）を設定します。［電話 / ﾌｧｸｽ ﾓｰﾄﾞ］が［ｵﾝ］の場合に設定が有効になります。</td></tr>
</table>

[送信設定]	[留守番電話接続]	設定	[**ｵﾌ**] ／ [ｵﾝ]
		電話機の留守番電話機能を使う場合に設定します。 [ｵﾝ] に設定した場合は、留守番電話応答中にファクス信号を検出するとファクス受信に切替えます。 [設定ﾒﾆｭｰ] - [ﾌｧｸｽ受信設定] - [受信ﾓｰﾄﾞ] は [自動受信] に設定します。[電話 / ﾌｧｸｽﾓｰﾄﾞ] は [ｵﾌ] に設定してください。	
[ﾕｰｻﾞｰ設定]	[日付 / 時刻]	設定	[時間]：[00:00-23:59] [日付]：['00/01/01-'39/12/31] [ﾀｲﾑｿﾞｰﾝ]：[GMT+12:00-GMT-12:00]（30 分間隔） デフォルト：+9:00
		現在の日時およびタイムゾーンをテンキーで入力します。	
	[ｻﾏｰﾀｲﾑ]	設定	[**ｵﾌ**] ／ [ｵﾝ] [60 分（1-150 分）]
		サマータイムの設定を行います。 [ｵﾝ] を選択したときは、1 ～ 150 分の間で設定できます。	
	[日付種類]	設定	[MM/DD/YY] ／ [DD/MM/YY] ／ [**YY/MM/DD**]
		レポートやリストの日時表示の形式を選択します。	
	[固定倍率]	設定	[ｲﾝﾁ] ／ [**ﾒﾄﾘｯｸ**]
		ズーム倍率のプリセットで使用する単位系を、インチまたはミリメートルのいずれかに設定します。	

[ﾕｰｻﾞｰ設定]	[ﾌｧｸｽ番号]	本機のファクス番号を入力します。数字、スペース、＋、－で 20 桁まで入力できます。 ここで設定したファクス番号が送信先の文書のヘッダーに印刷されます。 工場出荷時は、なにも登録されていません。
	[ﾕｰｻﾞｰ名]	ユーザー名を入力します。英数字、カタカナ、記号で最大 32 文字まで入力できます。 ここで設定したユーザー名が送信先の文書のヘッダーに印刷されます。 工場出荷時は、なにも登録されていません。
[消耗品を交換]	[定着ﾕﾆｯﾄ]	定着ユニット交換時にカウンターをリセットします。

ダイアル登録メニュー

常用、短縮ダイアル、グループダイアルを登録するには、設定メニューから［ﾀﾞｲｱﾙ登録］を選択します。

［常用］	よく使う短縮ダイアルまたはグループダイアルを、常用に登録します。［登録宛先］キーを押し、［▼／▲］キーですばやく指定できます。 常用は最大 20 件登録できます。 詳しくは、「常用」（p.171）をごらんください。
［短縮ﾀﾞｲｱﾙ］	よく使うファクス番号またはメールアドレスを、短縮ダイアルに登録します。ファクス番号またはメールアドレスの手入力をしないため、簡単に呼び出せ、正確に相手先を指定できます。 短縮ダイアルはファクス番号またはメールアドレスを最大 220 件登録できます。 詳しくは、「短縮ダイアル」（p.178）をごらんください。
［ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ］	よく使う同報相手先を、グループダイアルに登録します。グループダイアル番号を指定するだけで、複数相手先を呼び出せます。 1 つのグループダイアルに、最大 50 件登録できます。 グループダイアルは最大 20 件登録できます。 詳しくは、「グループダイアル」（p.187）をごらんください。

ファクス送信設定メニュー

ファクス送信に関する設定を行うには、設定メニューから［ﾌｧｸｽ送信設定］を選択します。

太字は工場出荷時の設定値を表します。

［優先画質］	設定	［普通 / 文字］／［**精細 / 文字**］／［高精細 / 文字］／［普通 / 写真］／［精細 / 写真］／［高精細 / 写真］
	原稿画質（ファクス画質）の初期値を選択します。 ■［普通 / 文字］：手書きやコンピューターからの印刷などを含む通常の原稿の場合に設定します。 ■［精細 / 文字］：小さい文字を含む原稿の場合に設定します。 ■［高精細 / 文字］：新聞などの小さい文字を含む原稿や精密図の場合に設定します。 ■［普通 / 写真］：通常の写真原稿の場合に設定します。 ■［精細 / 写真］：細かい画像を含む写真原稿の場合に設定します。 ■［高精細 / 写真］：さらに細かい画像を含む写真原稿の場合に設定します。 送信時に、ここで設定した初期値から原稿画質を変更する場合については、「画質を調整する」（p.86）をごらんください。	

<table>
<tr><td rowspan="2">[濃度ﾚﾍﾞﾙ]</td><td>設定</td><td>[(薄い)◁□■□▷(濃い)]</td></tr>
<tr><td colspan="2">原稿をスキャンするときの濃度を設定します。
送信時に、ここで設定した初期値から濃度レベルを変更する場合については、「画質を調整する」（p.86）をごらんください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">[優先送信ﾓｰﾄﾞ]</td><td>設定</td><td>[ﾒﾓﾘ送信] ／ [ｸｲｯｸ送信]</td></tr>
<tr><td colspan="2">原稿を送信する方法を選択します。
■ [ﾒﾓﾘ送信]：あらかじめすべての原稿を読込み、メモリーに蓄積してからファクス送信する方法です。ヘッダーのページ数に自動的に総ページ数が付けられます。ただし、原稿のページ数が多い場合や、原稿の読取り画質（解像度）が細密なために情報量が多い場合はメモリーオーバーすることがあります。
メモリ送信データはメモリーに保存されるため、電源をオフ／オンしてもデータは消えません。
■ [ｸｲｯｸ送信]：相手局との通信シーケンスに従い、リアルタイムでの通信する方法です。原稿の枚数が多い場合にもメモリーオーバーすることなく送信できます。
送信時に、ここで設定した初期値から送信モードを変更する場合については、「メモリ送信とクイック送信について」（p.123）をごらんください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">[ﾍｯﾀﾞｰ]</td><td>設定</td><td>[ｵﾌ] ／ [ｵﾝ]</td></tr>
<tr><td colspan="2">送信先の文書に本機の発信元情報（送信日時、送信者名、送信者ファクス番号、セッション番号、ページ番号）を印字するかどうかを設定します。</td></tr>
</table>

ファクス受信設定メニュー

ファクス受信に関する設定を行うには、設定メニューから［ﾌｧｸｽ受信設定］を選択します。

太字は工場出荷時の設定値を表します。

［ﾒﾓﾘ受信ﾓｰﾄﾞ］	設定	［**ｵﾌ**］ ／ ［ｵﾝ］
	受信文書をメモリーに蓄積するか、しないかを設定します。 メモリ受信モードが［ｵﾝ］の場合は、受信文書がメモリーに蓄積され、指定した時間に出力されます。または、メモリ受信モードを［ｵﾌ］にしたときに出力します。 夜間などの人のいないときに、機密文書や重要な文書を受信する場合には、メモリ受信モードを［ｵﾝ］に設定することをおすすめします。 メモリ受信モードを設定するときに、パスワードの設定もできます。パスワードは設定をキャンセルするときにも必要になります。 詳しくは、「メモリ受信モード」（p.66）をごらんください。	
［呼出し回数］	設定	［**2** (0-15)］
	ファクス受信開始までの呼び出し音の回数を 0 ～ 15 の間で入力します。 留守番電話を接続して使用する場合は、［設定ﾒﾆｭｰ］-［管理者設定］-［送信設定］-［留守番電話接続］を［ｵﾝ］に設定し、留守番電話機側の応答するまでの呼び出し回数は本設定より短く設定してください。［留守番電話接続］について詳しくは「管理者設定メニュー」（p.41）をごらんください。	
［縮小受信］	設定	［ｵﾌ］ ／ ［**ｵﾝ**］ ／ ［ｶｯﾄ］
	本機にセットされている印刷用紙よりも長い文書を受信したときに、縮小するか、分割するか、破棄するかを選択します。 ■［ｵﾝ］： 縮小して印刷します。 ■［ｵﾌ］： 等倍で、分割して印刷します。 ■［ｶｯﾄ］：用紙に収まらない部分を破棄して印刷します。受信文書の長さと実際に記録される文書の関係については、「受信時の記録方法について」（p.163）をごらんください。	

<table>
<tr><td rowspan="2">［受信ﾌﾟﾘﾝﾄ］</td><td>設定</td><td>［ﾒﾓﾘ受信］／［ﾌﾟﾘﾝﾄ受信］</td></tr>
<tr><td colspan="2">受信文書の印刷を、全ページ受信後に印刷を開始するか、1 ページ目を受信後から印刷を開始するかどうかを選択します。

■［ﾒﾓﾘ受信］：　全ページを受信後、印刷を開始します。
■［ﾌﾟﾘﾝﾄ受信］：1 ページ目を受信後、印刷を開始します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［受信ﾓｰﾄﾞ］</td><td>設定</td><td>［自動受信］／［手動受信］</td></tr>
<tr><td colspan="2">受信モードを自動受信にするか、手動受信にするかを選択します。

■［自動受信］：　ファクスの着信後自動的に受信する場合に設定します。
■［手動受信］：　ファクスの着信後自動的に受信しません。外付け電話機の受話器を上げるか［オンフック］キーを押してから、［スタート］キーを押すと、受信が開始されます。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［転送］</td><td>設定</td><td>［ｵﾌ］／［ｵﾝ］／［ｵﾝ(ﾌﾟﾘﾝﾄ)］</td></tr>
<tr><td colspan="2">受信した文書を転送するかどうかを選択します。

［ﾒﾓﾘ受信ﾓｰﾄﾞ］が［ｵﾝ］に設定されている場合は転送できません。また、［受信ﾓｰﾄﾞ］が［手動受信］に設定されている場合も転送できません。

■［ｵﾌ］：　転送しません。
■［ｵﾝ］：　受信した文書を指定したファクス番号またはメールアドレスに転送します。
■［ｵﾝ(ﾌﾟﾘﾝﾄ)］：受信した文書を指定したファクス番号またはメールアドレスに転送すると同時に、本機で印刷します。

メールアドレスに転送する場合、TIFF データがメールに添付されます。

設定のしかたについては、「転送先を設定する」（p.73）をごらんください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［ﾌｯﾀｰ］</td><td>設定</td><td>［ｵﾌ］／［ｵﾝ］</td></tr>
<tr><td colspan="2">受信した文書に受信情報（受信日時、相手先ファクス番号など）を文書の下部に印字するかどうかを設定します。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="2">[ﾄﾚｲ選択]</td><td>設定</td><td>[ﾄﾚｲ 1]：[無効] ／ [有効]
[ﾄﾚｲ 2]：[無効] ／ [有効]
[ﾄﾚｲ 3]：[無効] ／ [有効]</td></tr>
<tr><td colspan="2">受信文書やレポートを印刷するときに、どの給紙トレイを使うか選択します。

オプションの給紙ユニット（トレイ 3）が装着されていない場合は、[ﾄﾚｲ 3] は表示されません。給紙ユニットの商品名は「増設 1 段カセットユニット」です。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">[転送設定]</td><td>設定</td><td>[ｵﾌ] ／ [ｵﾝ]</td></tr>
<tr><td colspan="2">外付け電話機を本機に接続している場合のファクス着信時に、外付け電話機のダイアルから、電話を切らずにファクス受信の指示をする機能を転送受信といいます。

この設定では転送受信をするかしないかを選択できます。

[ｵﾝ] に設定する場合は、転送受信時に使用するダイアル番号を設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">[両面印刷]</td><td>設定</td><td>[無効] ／ [有効]</td></tr>
<tr><td colspan="2">複数ページの文書を受信したとき、用紙の両面に印刷をするか、しないかを設定します。</td></tr>
</table>

レポート設定メニュー

レポート機能に関する設定を行うには、設定メニューから [ﾚﾎﾟｰﾄ設定] を選択します。

太字は工場出荷時の設定値を表します。

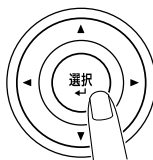
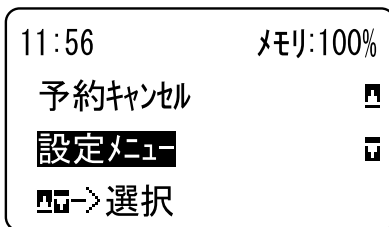
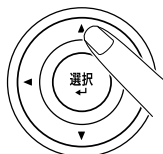
[通信管理ﾚﾎﾟｰﾄ]	設定	[ｵﾌ] ／ [**ｵﾝ**]
	通信管理レポートを印刷するかどうかを設定します。 [ｵﾝ] に設定すると、通信 60 件ごとに、印刷されます。 通信管理レポートで送受信の結果を確認できます。	
[送信結果ﾚﾎﾟｰﾄ]	設定	[ｵﾝ] ／ [**ｵﾝ (ｴﾗｰ)**] ／ [ｵﾌ]
	ファクス送信終了後に、自動的に送信結果レポートを印刷するかどうかを設定します。 ■ [ｵﾝ]： 送信終了毎に印刷します。 ■ [ｵﾝ (ｴﾗｰ)]：エラーになった送信の場合にのみ印刷します。 送信エラーとなった文書の 1 ページ目を縮小し、エラー結果とともに印刷します。 ■ [ｵﾌ]： エラーになったときでも印刷しません。 同報送信の場合は、常に送信結果レポートがプリントされます。	
[受信結果ﾚﾎﾟｰﾄ]	設定	[ｵﾝ] ／ [**ｵﾝ (ｴﾗｰ)**] ／ [ｵﾌ]
	ファクス受信終了後に、自動的に受信結果レポートを印刷するかどうかを設定します。 ■ [ｵﾝ]： 受信終了毎に印刷します。 ■ [ｵﾝ (ｴﾗｰ)]：エラーになった受信の場合にのみ印刷します。 ■ [ｵﾌ]： エラーになったときでも印刷しません。	

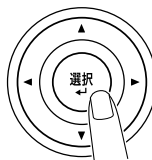
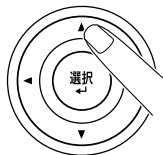
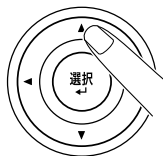
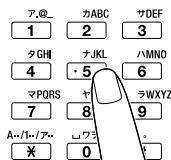
その他の設定メニューについては［プリンター／コピー／スキャナーユーザーズガイド］（ソフトウェアディスク内の PDF マニュアル）をごらんください。

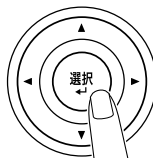
設定メニューを設定する

一般的な設定メニューの設定のしかた

1 ［▼／▲］キーで、メニューの［設定ﾒﾆｭｰ］を選択し、［選択］キーを押します。

11:56　ﾒﾓﾘ:100%
予約ｷｬﾝｾﾙ
設定ﾒﾆｭｰ
▲▼ｰ> 選択

2 ［▼／▲］キーで、目的のメニューへ移動させます。［選択］キーを押し、表示されているメニューの設定画面を表示させます。

37 ページのメニューツリーを参照して、目的のメニューを探してください。

3 設定値が画面に表示されている場合、[▼] キー、[▲] キー、[▶] キー、[◀] キーのいずれかを押して選択します。

設定値を入力する場合、テンキーで数値を入力します。

4 [選択] キーを押します。
設定が確定されます。

設定をキャンセルしたいときは、[戻る] キーを押します。

メモリ受信モード

受信文書をメモリーに蓄積し、指定した時間に出力することができます。機密文書を受信することがある場合などに便利です。

メモリ受信データはメモリーに保存されるため、電源をオフ／オンしてもデータは消えません。

メモリ受信モードは以下の設定で使用できます。

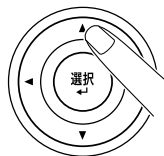
■ 開始／終了時間設定：なし

メモリ受信モードは常にオンになります。メモリーに保存されたファクスを印刷する場合は、メモリ受信モードを [オフ] に設定します。

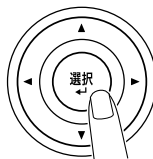
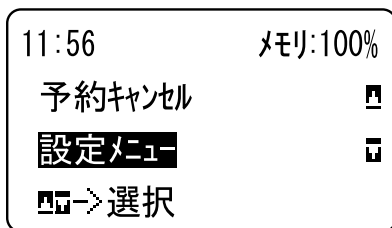
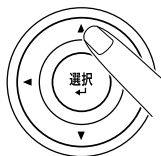
■ 開始／終了時間設定：あり

設定した時間にメモリ受信モードを開始／終了します。

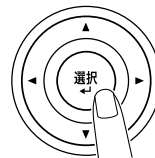
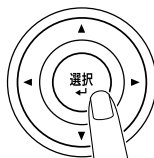
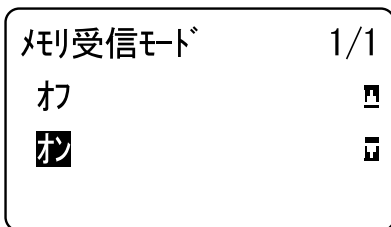
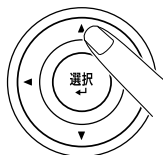
例 1：開始時間 =18:00、終了時間 = 8:00 の場合
18:00 ～ 8:00 の間メモリ受信モードになり、8:00 ～ 18:00 は受信後印刷される通常の受信になります。
メモリーに保存された文書は 8:00 に印刷されます。

例 2：開始時間 =12:00、終了時間 =12:00（開始時間と終了時間が同じ）場合

メモリ受信モードは常にオンになりますが、メモリーに保存されたファクスが 12:00 に印刷されます。

メモリ受信モードを設定する

1 ［▼／▲］キーで、メニューの［設定ﾒﾆｭｰ］を選択し、［選択］キーを押します。

2 ［▼／▲］キーで、メニューの［ﾌｧｸｽ受信設定］を選択し、［選択］キーを押します。

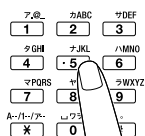
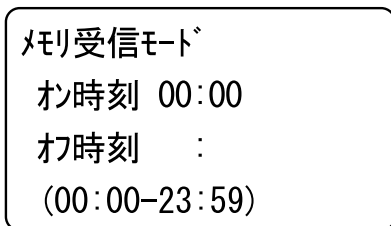
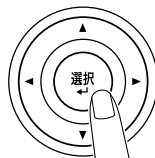
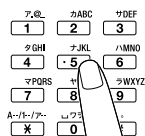
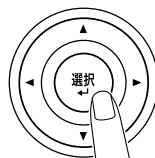
設定ﾒﾆｭｰ 3/4
ﾌｧｸｽ送信設定
ﾌｧｸｽ受信設定
ﾚﾎﾟｰﾄ設定

3 ［ﾒﾓﾘ受信ﾓｰﾄﾞ］が選択されていることを確認し、［選択］キーを押します。

4 ［▼／▲］キーで、［ｵﾝ］を選択し、［選択］キーを押します。

ﾒﾓﾘ受信ﾓｰﾄﾞ　1/1
ｵﾌ
ｵﾝ

5 テンキーでメモリ受信モードの開始時間を入力し、［選択］キーを押します。

終了時間の入力欄が表示されます。

開始時間を設定しない場合は、時間を入力しないで［選択］キーを押します。
パスワード入力欄が表示されます。手順 7 へ進みます。

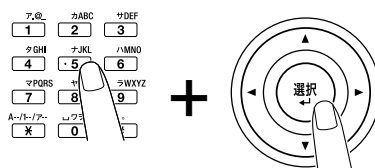
ﾒﾓﾘ受信ﾓｰﾄﾞ
ｵﾝ時刻　00:00
ｵﾌ時刻　　:
(00:00-23:59)

6 テンキーでメモリ受信モードの終了時間を入力し、［選択］キーを押します。

パスワード入力欄が表示されます。

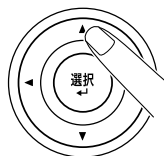
メモリ受信モード
オン時刻 00:00
オフ時刻 08:30
パスワード:_

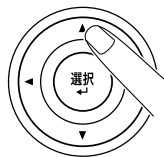
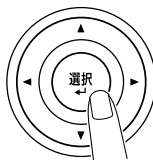
7 テンキーでパスワードを入力し、[選択] キーを押します。

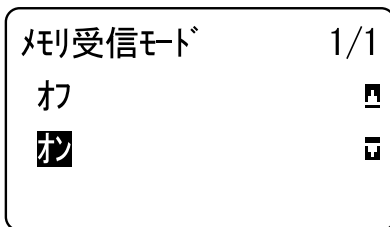
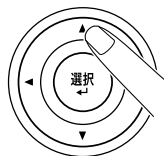
メモリ受信モードが設定されます。

パスワードは、メモリ受信モードを [オフ] にしたり、開始／終了時間を変更するときに必要になります。4 桁の数字を入力してください。

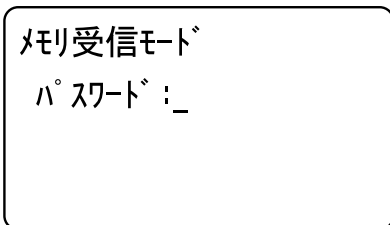
パスワードを設定しない場合は、パスワードを入力しないで [選択] キーを押します。

メモリ受信モードを解除する

1 [▼／▲] キーで、メニューの [設定メニュー] を選択し、[選択] キーを押します。

11:56 メモリ:100%
予約キャンセル
設定メニュー
-> 選択

2 ［▼／▲］キーで、メニューの［ﾌｧｸｽ受信設定］を選択し、［選択］キーを押します。

設定ﾒﾆｭｰ 3/4
ﾌｧｸｽ送信設定
ﾌｧｸｽ受信設定
ﾚﾎﾟｰﾄ設定

3 ［ﾒﾓﾘ受信ﾓｰﾄﾞ］が選択されていることを確認し、［選択］キーを押します。

4 ［▼／▲］キーで、［オフ］を選択し、［選択］キーを押します。

ﾒﾓﾘ受信ﾓｰﾄﾞ　1/1
ｵﾌ
ｵﾝ

パスワード入力欄が表示されます。

パスワードが設定されていない場合は、メモリ受信モードが解除されます。

ﾒﾓﾘ受信ﾓｰﾄﾞ
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ：_

5 テンキーでパスワードを入力し、［選択］キーを押します。

メモリ受信モードが解除されます。

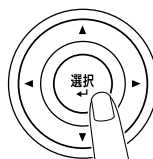
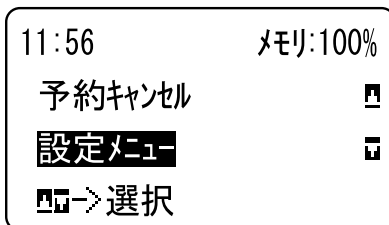
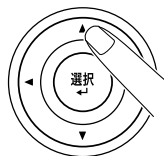
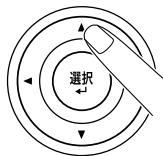
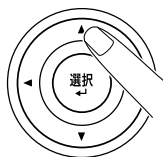
メモリーに保存されたファクスがある場合、印刷が開始されます。

転送先を設定する

1 [▼／▲] キーで、メニューの[設定ﾒﾆｭｰ] を選択し、[選択] キーを押します。

11:56 ﾒﾓﾘ:100%
予約ｷｬﾝｾﾙ
設定ﾒﾆｭｰ
▲▼ｰ> 選択

2 [▼／▲] キーで、メニューの[ﾌｧｸｽ受信設定] を選択し、[選択] キーを押します。

設定ﾒﾆｭｰ 3/4
ﾌｧｸｽ送信設定
ﾌｧｸｽ受信設定
ﾚﾎﾟｰﾄ設定

3 ［▼／▲］キーで、メニューの［転送］を選択し、［選択］キーを押します。
転送画面が表示されます。

4 ［▼／▲］キーで、［ｵﾌ］または［ｵﾝ(ﾌﾟﾘﾝﾄ)］を選択し、［選択］キーを押します。

転送 1/1
ｵﾌ
ｵﾝ
ｵﾝ(ﾌﾟﾘﾝﾄ)

5 相手先を入力、または登録宛先から指定します。

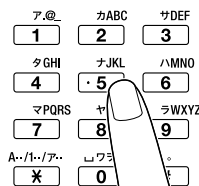
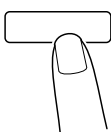
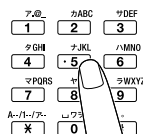
- 登録宛先からは、短縮ダイアルや常用に登録している相手先を指定できます。
また、アドレス帳からも指定できます。

- 短縮ダイアルで指定する場合は、[登録宛先] キーを 2 回押し、短縮ダイアル番号を入力し、[選択] キーを押します。

- 常用で指定する場合は [登録宛先] キーを押し、相手先を選択し、[選択] キーを押します。

または

- アドレス帳から指定する場合は、[登録宛先] キーを 4 回押し、[リスト] から相手先を選択し、[選択] キーを押します。

- メールの相手先も指定できます。

6 [選択] キーを押します。

転送が設定されます。

ファクスを送信する 4

基本的な送信のしかた

ここでは基本的なファクス送信のしかたを説明しています。

送信可能な用紙サイズは、以下のとおりです。

– 原稿ガラス使用時
  A5 ／ A4 ／ HLT ／ LETTER
– ADF 使用時
  幅：140 mm ～ 216 mm
  長さ：148 mm ～ 500 mm

A4 サイズ以下の原稿を送信した場合、A4 サイズのデータとして相手先に送信されます。
また A4 サイズ以上の原稿を送信した場合、等倍で相手先に送信されます。
受信結果は相手先の受信設定により異なります。

ADF でファクスを送信する

ADF を使うと、自動的に複数のページの読込みができます。

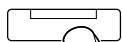
クリップやステープルなどでとじられた原稿は、絶対にセットしないでください。

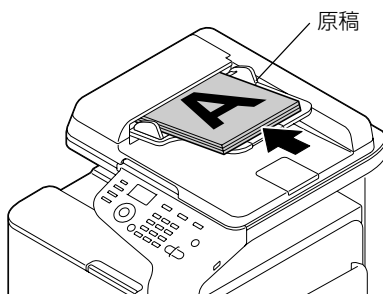
原稿は 35 枚または、マークを超えてセットしないでください。原稿づまりや原稿破損の原因となります。また、故障の原因となります。

原稿のセットが不完全な場合、原稿が斜め送りされ、原稿づまりや原稿破損の原因となります。

原稿が読み込まれている間は、ADF を開かないでください。

1 ［ファクス］キーを押して、ファクスモード画面を表示させます。

初期モード（［設定ﾒﾆｭｰ］-［ﾏｼﾝ設定］-［初期ﾓｰﾄﾞ］）が［ﾌｧｸｽ］の場合は、この手順は必要ありません。

2 原稿ガラスに原稿が残っていないか確認します。

3 原稿の送信する面を上にして、原稿給紙トレイにセットします。

4 ガイド板を原稿のサイズに合わせます。

5 画質を調整します。

画質の調整については、「画質を調整する」（p.86）をごらんください。

13:38 ﾒﾓﾘ:100%
普通/文字
ﾌｧｸｽ送信先
-> 選択

6 ファクスモード画面が表示されていることを確認し、相手先のファクス番号を指定します。指定のしかたには、以下の方法があります。

- 直接入力する
- 常用を使う
- 短縮ダイアルを使う
- グループダイアルを使う
- アドレス帳（リスト機能／検索機能）を使う
- リダイアル機能を使う

ファクスモード画面については、「ファクスモード画面」（p.32）をごらんください。

相手先の指定のしかたについては、「相手先を指定する」（p.90）をごらんください。グループダイアルの使いかたについては、「複数の相手先に送信する（グループダイアル）」（p.113）をごらんください。

複数の相手先への送信は、同報送信機能でも送信できます。同報送信機能について詳しくは、「複数の相手先に送信する（同報送信）」（p.111）をごらんください。

7 ［スタート］キーを押します。

原稿が読み込まれ、ファクス送信されます。

送信を中止する場合は、［ストップ / リセット］キーを押します。送信キャンセルの確認のメッセージが表示されたら、

［はい］が選択されていることを確認して、［選択］キーを押します。

［設定ﾒﾆｭｰ］-［管理者設定］-［ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ設定］-［機能番号］-［許可しない］で［ﾌｧｸｽ送信］が［許可しない］に設定されている場合は、［スタート］キーを押した後に、機能番号を入力してください。

相手先が通信中などでファクス送信ができなかった場合は、オートリダイアル機能が再送信を試みます。オートリダイアル機能でも送信できなかった場合は、送信結果レポートが印刷されます。送信結果レポートについては、「［送信結果ﾚﾎﾟｰﾄ］」（p.204）をごらんください。

読み込んでメモリーに蓄積された送信待ちデータまたはリダイアル待ちのデータを削除したい場合は、メニューの［予約ｷｬﾝｾﾙ］機能で削除できます。詳しくは、「送信予約をキャンセルする」（p.133）をごらんください。

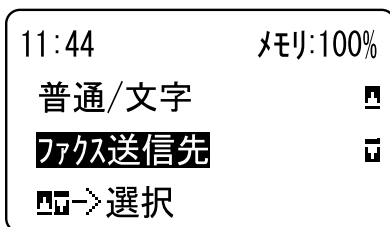
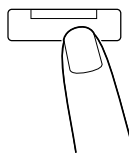
メモリ送信データはメモリーに保存されるため、電源をオフ／オンしてもデータは消えません。

メモリー残量が少なくなると、原稿の読込みが中断され、その送信ジョブをキャンセルするか、その時点で送信を始めるか選択する画面が表示されます。ジョブのキャンセルを選択すると、そのジョブでこれまで読込んだ原稿分が削除されます。送信を選択すると、送信が始まります。読込んだ分の送信が完了すると、原稿の読み込みが再開されます。

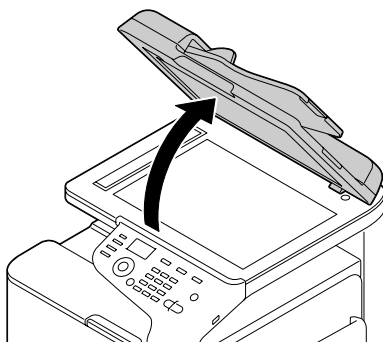
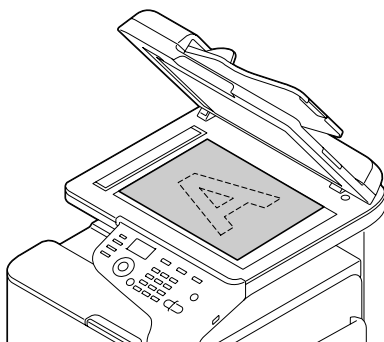
原稿ガラスでファクスを送信する

1 ［ファクス］キーを押して、ファクスモード画面を表示させます。

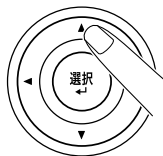
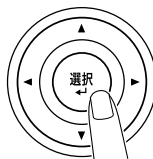
初期モード（［設定ﾒﾆｭｰ］-［ﾏｼﾝ設定］-［初期ﾓｰﾄﾞ］）が［ﾌｧｸｽ］の場合は、この手順は必要ありません。

11:44 ﾒﾓﾘ:100%
普通/文字
ﾌｧｸｽ送信先
→選択

2 ADF に原稿が残っていないか確認します。

原稿ガラスを使って読込みするときは、ADF に原稿をセットしないでください。

3 ADF を開きます。

4 送信する面を下にして原稿を原稿ガラス上に置き、原稿スケールに沿うように合わせます。

5 ADF を静かに閉じます。

6 画質を調整します。

画質の調整については、「画質を調整する」（p.86）をごらんください。

13:38 ﾒﾓﾘ:100%
普通/文字
ﾌｧｸｽ送信先
-> 選択

7 ファクスモード画面が表示されていることを確認し、相手先のファクス番号を指定します。指定のしかたには、以下の方法があります。

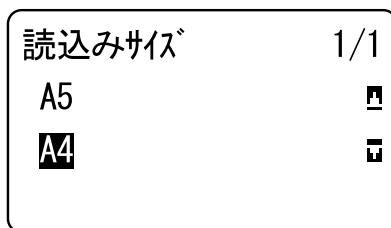
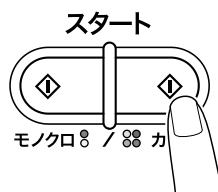
- 直接入力する
- 常用を使う
- 短縮ダイアルを使う
- グループダイアルを使う
- アドレス帳（リスト機能／検索機能）を使う
- リダイアル機能を使う

ファクスモード画面については、「ファクスモード画面」（p.32）をごらんください。

相手先の指定のしかたについては、「相手先を指定する」（p.90）をごらんください。グループダイアルの使いかたについては、「複数の相手先に送信する（グループダイアル）」（p.113）をごらんください。

複数の相手先への送信は、同報送信機能でも送信できます。同報送信機能について詳しくは、「複数の相手先に送信する（同報送信）」（p.111）をごらんください。

8 ［スタート］キーを押します。

スキャン領域を確認する画面が表示されます。

9 表示されているスキャン領域でスキャンする場合は、［選択］キーを押します。原稿が読み込まれます。

表示されているスキャン領域を変更する場合は、［▼／▲］キーを押し、目的のスキャン領域を選択します。［選択］キーを押すと、原稿が読み込まれます。

10 複数ページを読込む場合は、［次のﾍﾟｰｼﾞ ?］というメッセージが表示されたら、原稿を差換え、［選択］キーを押します。

原稿の読み込みが終了した場合は、［スタート］キーを押します。

- 送信を中止する場合は、［ストップ / リセット］キーを押します。送信キャンセルの確認のメッセージが表示されたら、［はい］が選択されていることを確認して、［選択］キーを押します。

- ［設定ﾒﾆｭｰ］-［管理者設定］-［ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ設定］-［機能番号］-［許可しない］で［ﾌｧｸｽ送信］が［許可しない］に設定されている場合は、［スタート］キーを押した後に、機能番号を入力してください。

- 相手先が通信中などでファクス送信ができなかった場合は、オートリダイアル機能が再送信を試みます。オートリダイアル機能でも送信できなかった場合は、送信結果レポートが印刷されます。送信結果レポートについては、「［送信結果ﾚﾎﾟｰﾄ］」（p.204）をごらんください。

- 読み込んでメモリーに蓄積された送信待ちデータまたはリダイアル待ちのデータを削除したい場合は、メニューの［予約ｷｬﾝｾﾙ］機能で削除できます。詳しくは、「送信予約をキャンセルする」（p.133）をごらんください。

- メモリ送信データはメモリーに保存されるため、電源をオフ／オンしてもデータは消えません。

- メモリー残量が少なくなると、原稿の読込みが中断され、その送信ジョブをキャンセルするか、その時点で送信を始めるか選択する画面が表示されます。ジョブのキャンセルを選択すると、そのジョブでこれまで読込んだ原稿分が削除されます。送信を選択すると、送信が始まります。読込んだ分の送信が完了すると、原稿の読込みが再開されます。

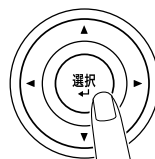
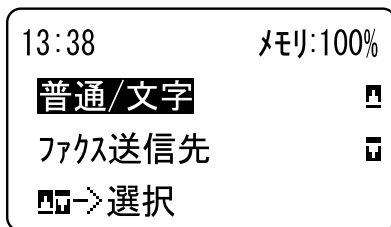
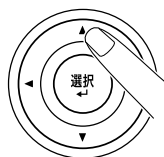
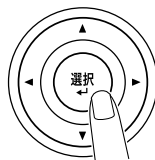
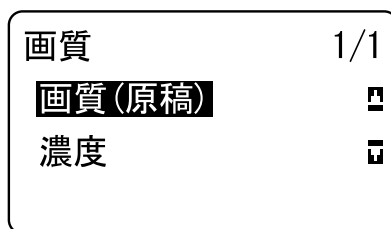
画質を調整する

ファクス送信する前に、画質を調整できます。

原稿画質を調整する

1 [▼／▲] キーで、現在の原稿画質を選択し、[選択] キーを押します。

[設定ﾒﾆｭｰ] - [ﾌｧｸｽ送信設定] - [優先画質] の設定によって、[普通 / 文字]、[精細 / 文字]、[高精細 / 文字]、[普通 / 写真]、[精細 / 写真]、[高精細 / 写真] のいずれかが表示されています。

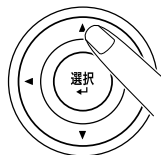
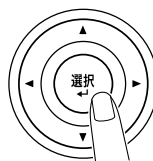
13:38 ﾒﾓﾘ:100%
普通/文字
ﾌｧｸｽ送信先
ｷｰ> 選択

2 メニューの [画質 (原稿)] が選択されていることを確認し、[選択] キーを押します。

3 ［▼／▲］キーで、ファクス原稿の画質を選択し、［選択］キーを押します。

原稿画質が調整されます。

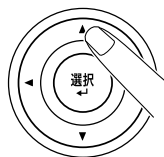
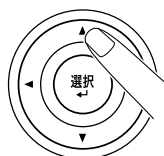
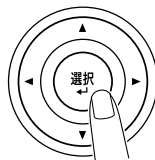
画質(原稿) 1/2
普通/文字
精細/文字
高精細/文字

原稿に合った画質を選択してください。

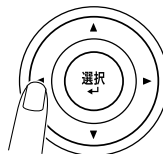
- ［普通 / 文字］：手書きやコンピューターからの印刷などを含む通常の原稿の場合に設定します。
- ［精細 / 文字］：小さい文字を含む原稿の場合に設定します。
- ［高精細 / 文字］：新聞などの小さい文字を含む原稿や精密図の場合に設定します。
- ［普通 / 写真］：通常の写真原稿の場合に設定します。
- ［精細 / 写真］：細かい画像を含む写真原稿の場合に設定します。
- ［高精細 / 写真］：さらに細かい画像を含む写真原稿の場合に設定します。

ここで設定した原稿画質は、通常の送信では、原稿スキャン後に、手動送信では、送信後に初期値に戻ります。よく使用する原稿画質を初期値にしておくと便利です。詳しくは、「ファクス送信設定メニュー」（p.58）をごらんください。

スキャン濃度を調整する

1 [▼／▲] キーで、現在の原稿画質を選択し、[選択] キーを押します。

[設定ﾒﾆｭｰ] - [ﾌｧｸｽ送信設定] - [優先画質] の設定によって、[普通 / 文字]、[精細 / 文字]、[高精細 / 文字]、[普通 / 写真]、[精細 / 写真]、[高精細 / 写真] のいずれかが表示されています。

2 [▼／▲] キーで、メニューの [濃度] を選択し、[選択] キーを押します。

3 ［◀／▶］キーで、スキャン濃度を選択し、［選択］キーを押します。

スキャン濃度が調整されます。

ここで設定したスキャン濃度は、通常の送信では、原稿をスキャンした後に初期値に戻ります。手動送信では、送信した後に初期値に戻ります。よく使用するスキャン濃度を初期値にしておくと便利です。詳しくは、「ファクス送信設定メニュー」（p.58）をごらんください。

相手先を指定する

相手先の指定のしかたには、以下の方法があります。

■ 直接入力する：テンキーで直接ファクス番号を入力します。

■ 常用を使う：常用に登録された短縮ダイアルまたはグループダイアルを呼び出します。

■ 短縮ダイアルを使う：短縮ダイアルに登録された相手先を呼び出します。

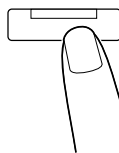
■ グループダイアルを使う：グループダイアルに登録されたグループを呼び出します。

■ アドレス帳（リスト機能／検索機能）を使う：短縮ダイアルやグループダイアルに登録された相手先を検索し、指定します。

■ リダイアル機能を使う：最後にダイアルをした相手先を指定します。

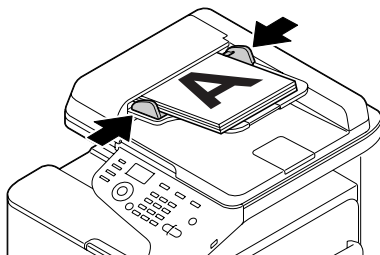
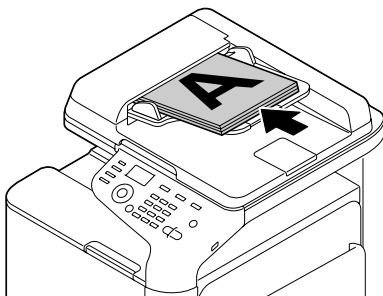
ファクス番号を直接入力して送信する

テンキーを使ってファクス番号を入力します。

1 ［ファクス］キーを押して、ファクスモード画面を表示させます。

初期モード（［設定ﾒﾆｭｰ］-［ﾏｼﾝ設定］-［初期ﾓｰﾄﾞ］）が［ﾌｧｸｽ］の場合は、この手順は必要ありません。

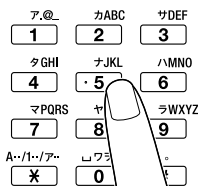
11:44 ﾒﾓﾘ:100%
普通/文字
ﾌｧｸｽ送信先
->選択

2 原稿をセットします。

ADF への原稿セットのしかたは「ADF でファクスを送信する」（p.77）を、原稿ガラスへの原稿のセットのしかたは「原稿ガラスでファクスを送信する」（p.81）をごらんください。

3 画質を調整します。

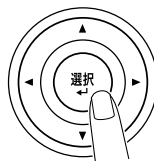
画質の調整については、「画質を調整する」（p.86）をごらんください。

4 テンキーを使って、相手先のファクス番号を入力します。

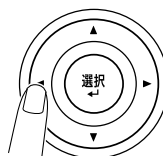
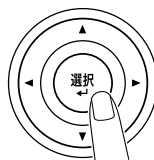
ファクス番号入力時に使用できるキーは、番号キー（0 ～ 9）、［⁎］キー、［#］キーです。
ファクス番号入力時に［リダイアル / ポーズ］キーを押すと、2.5 秒のポーズが挿入されます。ポーズはメッセージウィンドウで［P］と表示されます。

本機が PBX 回線に接続されている場合は、外線接続番号を［設定ﾒﾆｭｰ］-［管理者設定］-［送信設定］-［PSTN/PBX］で設定できます。［#］キーを押すと、自動的に外線へ接続します。PBX 回線設定については、「管理者設定メニュー」（p.41）をごらんください。

入力したファクス番号を消去するには、［戻る］キーを 1 秒程度長押しをします。すべての設定を消去するには、［ストップ / リセット］キーを押します。

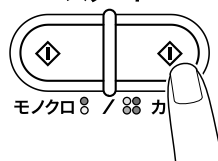
5 ［選択］キーを押します。

［設定ﾒﾆｭｰ］-［管理者設定］-［ﾌｧｸｽ設定］-［ﾌｧｸｽ番号確認］が［ｵﾝ］に設定されている場合は、誤入力防止のため、ファクス番号を2度入力します。詳しくは、「管理者設定メニュー」（p.41）をごらんください。

6 ［▼／▲］キーで、［終了］を選択し、［選択］キーを押します。

相手先が指定されます。

指定した相手先を削除したい場合は、［確認/編集］で相手先を選択し、［ストップ/リセット］キーを押します。削除確認の画面で［はい］を選択し、［選択］キーを押すと、相手先は削除されます。

7 ［スタート］キーを押します。

原稿が読み込まれ、ファクス送信されます。

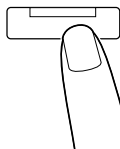
送信を中止する場合は、［ストップ/リセット］キーを押します。送信キャンセルの確認のメッセージが表示されたら、［はい］が選択されていることを確認して、［選択］キーを押します。

［設定ﾒﾆｭｰ］-［管理者設定］-［ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ設定］-［機能番号］-［許可しない］で［ﾌｧｸｽ送信］が［許可しない］に設定されている場合は、［スタート］キーを押した後に、機能番号を入力してください。

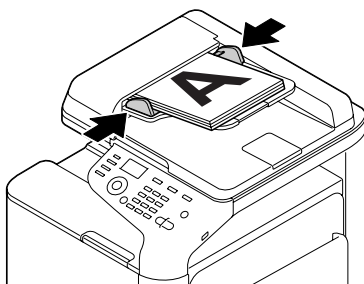
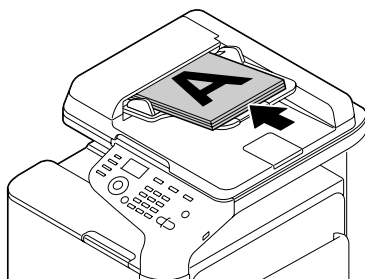
常用を使って送信する

よく使う短縮ダイアルまたはグループダイアルが常用に登録されている場合は、[登録宛先] キーを押し、[▼／▲] キーですばやく指定できます。

相手先は、前もって常用に登録されている必要があります。詳しくは、「相手先を常用へ登録する」(p.171) をごらんください。

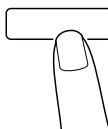
1 [ファクス] キーを押して、ファクスモード画面を表示させます。

初期モード([設定ﾒﾆｭｰ] - [ﾏｼﾝ設定] - [初期ﾓｰﾄﾞ])が [ﾌｧｸｽ] の場合は、この手順は必要ありません。

2 原稿をセットします。

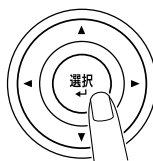
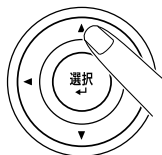
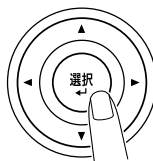
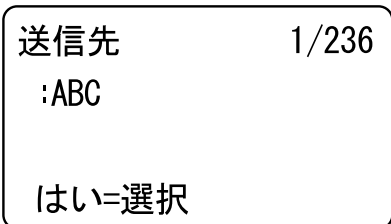
ADF への原稿セットのしかたは「ADF でファクスを送信する」(p.77) を、原稿ガラスへの原稿のセットのしかたは「原稿ガラスでファクスを送信する」(p.81) をごらんください。

3 画質を調整します。

画質の調整については、「画質を調整する」（p.86）をごらんください。

4 ［登録宛先］キーを押します。

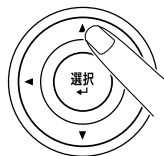
メイン画面が表示されている場合、またはステータスに［ｱﾄﾞﾚｽ帳が使えます］が表示されている場合に、［登録宛先］キーは使えます。

5 ［▼／▲］キーで、目的の相手先へ移動させ、［選択］キーを押します。

相手先の選択を間違えた場合には［戻る］キーを押し、［登録宛先］キーを押して、再度相手先を選択します。

常用 1/2
ABC
DEF
G01

6 画面に［はい＝選択］が表示されたら、もう一度、［選択］キーを押します。

7 [▼／▲] キーで、[終了] を選択し、[選択] キーを押します。

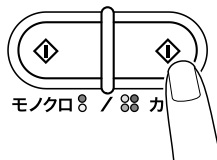
相手先が指定されます。

グループダイアルが登録された相手先を選択した場合、複数相手先が指定されます。

指定した相手先を削除したい場合は、[確認 / 編集] で相手先を選択し、[ストップ / リセット] キーを押します。削除確認の画面で [はい] を選択し、[選択] キーを押すと、相手先は削除されます。削除が終わったら、[戻る] キーを押します。

8 [スタート] キーを押します。

原稿が読み込まれ、ファクス送信されます。

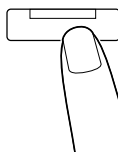
送信を中止する場合は、[ストップ / リセット] キーを押します。送信キャンセルの確認のメッセージが表示されたら、[はい] が選択されていることを確認して、[選択] キーを押します。

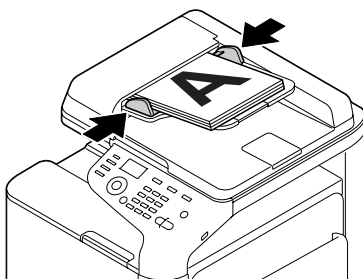
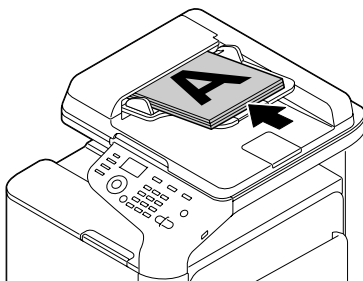
[設定ﾒﾆｭｰ] - [管理者設定] - [ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ設定] - [機能番号] - [許可しない] で [ﾌｧｸｽ送信] が [許可しない] に設定されている場合は、[スタート] キーを押した後に、機能番号を入力してください。

短縮ダイアルを使って送信する

よく使うファクス番号を、短縮ダイアルに登録します。ファクス番号の手入力をしないため、簡単に呼び出せ、正確に相手先を指定できます。

相手先は、前もって短縮ダイアルに登録されている必要があります。詳しくは、「短縮ダイアルを登録する」(p.178) をごらんください。

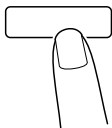
1 ［ファクス］キーを押して、ファクスモード画面を表示させます。

初期モード（［設定ﾒﾆｭｰ］-［ﾏｼﾝ設定］-［初期ﾓｰﾄﾞ］）が［ﾌｧｸｽ］の場合は、この手順は必要ありません。

2 原稿をセットします。

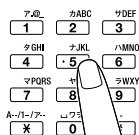
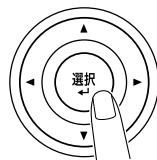
ADF への原稿セットのしかたは「ADF でファクスを送信する」（p.77）を、原稿ガラスへの原稿のセットのしかたは「原稿ガラスでファクスを送信する」（p.81）をごらんください。

3 画質を調整します。

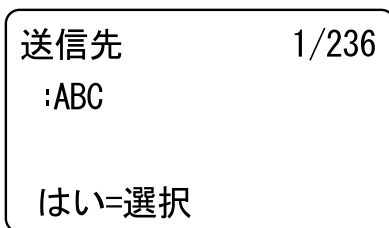
画質の調整については、「画質を調整する」（p.86）をごらんください。

4 ［登録宛先］キーを 2 回押します。

メイン画面が表示されている場合、またはステータスに［ｱﾄﾞﾚｽ帳が使えます］が表示されている場合に、［登録宛先］キーは使えます。

5 テンキーで短縮ダイアル番号（1 ～ 220）を入力し、［選択］キーを押します。

入力を間違えた場合には［戻る］キーを押し、再度相手先の短縮ダイアル番号を入力します。

メールアドレスが登録されている短縮ダイアル番号を入力した場合、［設定が違います］というメッセージが表示されます。
また、何も登録されていない短縮ダイアル番号を入力した場合、［登録されていません！］というメッセージが表示されます。
ファクス番号が登録されている短縮ダイアル番号を入力してください。

6 画面に［はい＝選択］が表示されたら、もう一度、［選択］キーを押します。

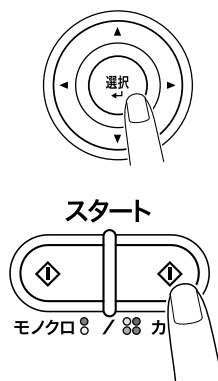
送信先　1/236
:ABC
はい=選択

7 ［▼／▲］キーで、［終了］を選択し、［選択］キーを押します。

相手先が指定されます。

指定した相手先を削除したい場合は、［確認 / 編集］で相手先を選択し、［ストップ / リセット］キーを押します。削除確認の画面で［はい］を選択し、［選択］キーを押すと、相手先は削除されます。削除が終わったら、［戻る］キーを押します。

8 ［スタート］キーを押します。

原稿が読み込まれ、ファクス送信されます。

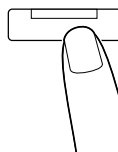
送信を中止する場合は、［ストップ / リセット］キーを押します。送信キャンセルの確認のメッセージが表示されたら、［はい］が選択されていることを確認して、［選択］キーを押します。

[設定ﾒﾆｭｰ] - [管理者設定] - [ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ設定] - [機能番号] - [許可しない] で [ﾌｧｸｽ送信] が [許可しない] に設定されている場合は、[スタート] キーを押した後に、機能番号を入力してください。

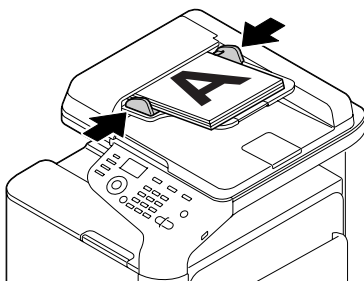
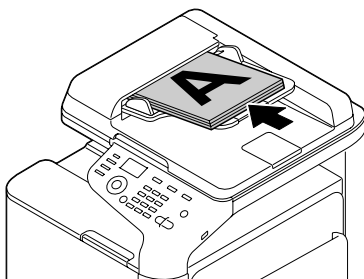
リスト機能で検索して送信する

短縮ダイアルまたはグループダイアルに登録された相手先は、リスト機能や検索機能で検索できます。

リスト機能を使用した検索のしかたは、以下のとおりです。

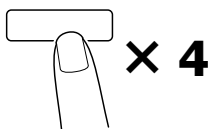
1 [ファクス] キーを押して、ファクスモード画面を表示させます。

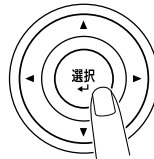
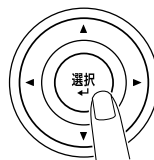
初期モード（[設定ﾒﾆｭｰ] - [ﾏｼﾝ設定] - [初期ﾓｰﾄﾞ]）が [ﾌｧｸｽ] の場合は、この手順は必要ありません。

2 原稿をセットします。

ADF への原稿セットのしかたは「ADF でファクスを送信する」（p.77）を、原稿ガラスへの原稿のセットのしかたは「原稿ガラスでファクスを送信する」（p.81）をごらんください。

3 画質を調整します。

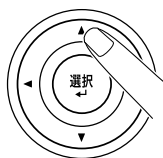
画質の調整については、「画質を調整する」（p.86）をごらんください。

4 ［登録宛先］キーを 4 回押します。

メイン画面が表示されている場合、またはステータスに［ｱﾄﾞﾚｽ帳が使えます］が表示されている場合に、［登録宛先］キーは使えます。

5 [ﾘｽﾄ] が選択されていることを確認し、[選択] キーを押します。

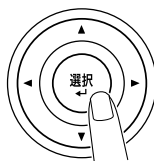
短縮ダイアルおよびグループダイアルに登録された相手先のリストが表示されます。

6 [▼／▲] キーで、目的の相手先へ移動させ、[選択] キーを押します。

7 画面に［はい = 選択］が表示されたら、もう一度、［選択］キーを押します。

相手先の選択を間違えた場合には［戻る］キーを押し、再度手順 4 から行ってください。

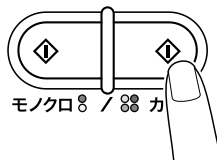
送信先 1/236
:ABC
はい=選択

8 ［▼／▲］キーで、［終了］を選択し、［選択］キーを押します。

相手先が指定されます。

指定した相手先を削除したい場合は、［確認 / 編集］で相手先を選択し、［ストップ / リセット］キーを押します。削除確認の画面で［はい］を選択し、［選択］キーを押すと、相手先は削除されます。削除が終わったら、［戻る］キーを押します。

送信先
追加
確認/編集
終了

9 ［スタート］キーを押します。

原稿が読み込まれ、ファクス送信されます。

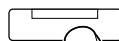
送信を中止する場合は、［ストップ / リセット］キーを押します。送信キャンセルの確認のメッセージが表示されたら、［はい］が選択されていることを確認して、［選択］キーを押します。

[設定ﾒﾆｭｰ] - [管理者設定] - [ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ設定] - [機能番号] - [許可しない] で [ﾌｧｸｽ送信] が [許可しない] に設定されている場合は、[スタート] キーを押した後に、機能番号を入力してください。

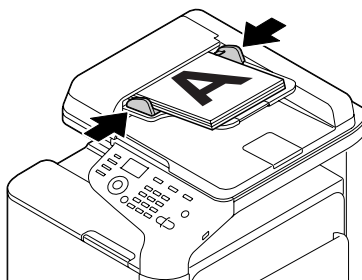
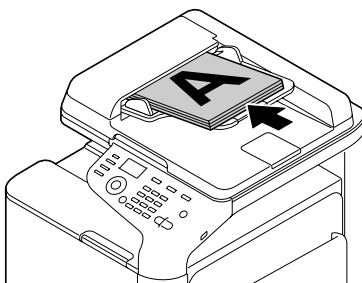
検索機能で検索して送信する

短縮ダイアルまたはグループダイアルに登録された相手先は、リスト機能や検索機能で検索できます。

検索機能を使用した検索のしかたは、以下のとおりです。

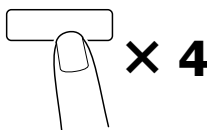
1 [ファクス] キーを押して、ファクスモード画面を表示させます。

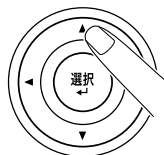
初期モード（[設定ﾒﾆｭｰ] - [ﾏｼﾝ設定] - [初期ﾓｰﾄﾞ]）が [ﾌｧｸｽ] の場合は、この手順は必要ありません。

2 原稿をセットします。

ADF への原稿セットのしかたは「ADF でファクスを送信する」（p.77）を、原稿ガラスへの原稿のセットのしかたは「原稿ガラスでファクスを送信する」（p.81）をごらんください。

3 画質を調整します。

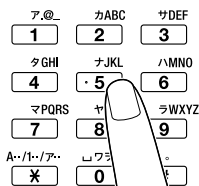
画質の調整については、「画質を調整する」（p.86）をごらんください。

4 ［登録宛先］キーを 4 回押します。

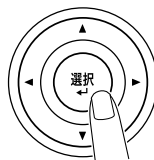
メイン画面が表示されている場合、またはステータスに［ｱﾄﾞﾚｽ帳が使えます］が表示されている場合に、［登録宛先］キーは使えます。

5 ［▼／▲］キーで、［検索］を選択し、［選択］キーを押します。

検索文字を入力する画面が表示されます。

6 テンキーで、検索したい相手先の名前の一部を入力します。

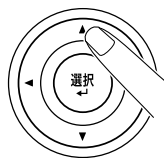
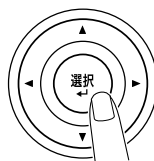
- 短縮ダイアルまたはグループダイアルに登録している名前を入力してください。文字の入力については、「入力のしかた」（p.219）をごらんください。

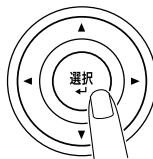
- カタカナ、英数字、記号で最大 10 文字を検索文字として入力できます。

7 ［選択］キーを押します。

手順 6 で入力した検索文字に該当する相手先が表示されます。

該当する名前が検索されなかった場合は、［見つかりません］が表示されます。

ｱﾄﾞﾚｽ帳検索
ABC
ABC01
ABC02

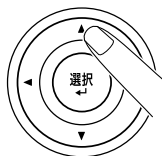
8 ［▼／▲］キーで、目的の相手先へ移動させ、［選択］キーを押します。

目的の相手先名が検索結果に表示されなかった場合、［戻る］キーを押し、検索文字入力画面に戻ります。別の検索文字を入力してください。

9 画面に［はい＝選択］が表示されたら、もう一度、［選択］キーを押します。

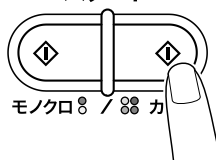
送信先　1/236
:ABC
はい=選択

10 ［▼／▲］キーで、［終了］を選択し、［選択］キーを押します。

相手先が指定されます。

送信先
追加
確認/編集
終了

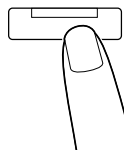
指定した相手先を削除したい場合は、［確認 / 編集］で相手先を選択し、［ストップ / リセット］キーを押します。削除確認の画面で［はい］を選択し、［選択］キーを押すと、相手先は削除されます。削除が終わったら、［戻る］キーを押します。

11 ［スタート］キーを押します。

原稿が読み込まれ、ファクス送信されます。

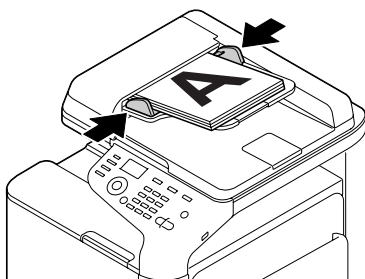
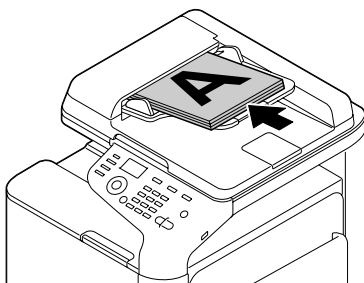
送信を中止する場合は、［ストップ / リセット］キーを押します。送信キャンセルの確認のメッセージが表示されたら、［はい］が選択されていることを確認して、［選択］キーを押します。

［設定ﾒﾆｭｰ］-［管理者設定］-［ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ設定］-［機能番号］-［許可しない］で［ﾌｧｸｽ送信］が［許可しない］に設定されている場合は、［スタート］キーを押した後に、機能番号を入力してください。

リダイアル機能を使用して送信する

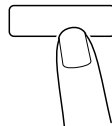
最後に送信したファクス番号で送信するには、［リダイアル / ポーズ］キーを押してファクス番号を呼び出せます。

1 ［ファクス］キーを押して、ファクスモード画面を表示させます。

初期モード（［設定ﾒﾆｭｰ］-［ﾏｼﾝ設定］-［初期ﾓｰﾄﾞ］）が［ﾌｧｸｽ］の場合は、この手順は必要ありません。

2 原稿をセットします。

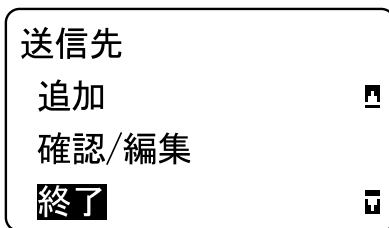
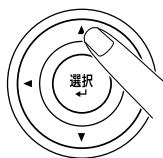
ADF への原稿セットのしかたは「ADF でファクスを送信する」（p.77）を、原稿ガラスへの原稿のセットのしかたは「原稿ガラスでファクスを送信する」（p.81）をごらんください。

3 画質を調整します。

画質の調整については、「画質を調整する」（p.86）をごらんください。

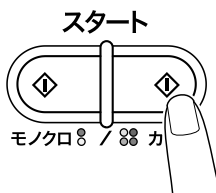
4 ［リダイアル / ポーズ］キーを押し、目的のファクス番号が表示されたか確認します。

5 画面に［はい = 選択］が表示されたら、［選択］キーを押します。

6 ［▼／▲］キーで、［終了］を選択し、［選択］キーを押します。

相手先が指定されます。

指定した相手先を削除したい場合は、［確認 / 編集］で相手先を選択し、［ストップ / リセット］キーを押します。削除確認の画面で［はい］を選択し、［選択］キーを押すと、相手先は削除されます。削除が終わったら、［戻る］キーを押します。

7 ［スタート］キーを押します。

原稿が読み込まれ、ファクス送信されます。

送信を中止する場合は、［ストップ / リセット］キーを押します。送信キャンセルの確認のメッセージが表示されたら、［はい］が選択されていることを確認して、［選択］キーを押します。

［設定ﾒﾆｭｰ］-［管理者設定］-［ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ設定］-［機能番号］-［許可しない］で［ﾌｧｸｽ送信］が［許可しない］に設定されている場合は、［スタート］キーを押した後に、機能番号を入力してください。

複数の相手先を指定する

1 回のファクス送信で複数の相手先に送信することができます。複数の相手先に送信する方法は 2 種類あります。

- 同報送信機能を使う
- グループダイアルを使う

複数の相手先に送信する（同報送信）

複数の相手先を直接入力、常用、短縮ダイアル、アドレス帳から指定できます。

1 度に最大 236 件の相手先を選択できます。
直接入力の場合は、16 件の相手先を選択できます。

送信結果レポートで、すべての相手先に送信されたかを確認できます。
送信結果レポートについては、「送信／受信結果をディスプレイで確認する」（p.201）または「レポートとリストについて」（p.202）をごらんください。

1 [ファクス] キーを押して、ファクスモード画面を表示させます。

初期モード（[設定ﾒﾆｭｰ] - [ﾏｼﾝ設定] - [初期ﾓｰﾄﾞ]）が [ﾌｧｸｽ] の場合は、この手順は必要ありません。

11:44 メモリ:100%
普通/文字
ﾌｧｸｽ送信先
→選択

2 原稿をセットします。

ADF への原稿セットのしかたは「ADF でファクスを送信する」（p.77）を、原稿ガラスへの原稿のセットのしかたは「原稿ガラスでファクスを送信する」（p.81）をごらんください。

3 画質を調整します。

画質の調整については、「画質を調整する」（p.86）をごらんください。

4 下記の方法で相手先を指定します。

– 直接入力する：テンキーでファクス番号を直接入力し、［選択］キーを押します。

– 常用を使う（グループダイアルを含む）：［登録宛先］キーを押し、［▼／▲］キーで目的の短縮ダイアルまたはグループダイアルを選択し、［選択］キーを押します。もう一度［選択］キーを押します。

– 短縮ダイアルを使う：［登録宛先］キーを 2 回押し、テンキーで目的の短縮ダイアル番号を入力し、［選択］キーを押します。もう一度［選択］キーを押します。

– グループダイアルを使う：［登録宛先］キーを 3 回押し、テンキーで目的のグループダイアル番号を入力し、［選択］キーを押します。もう一度［選択］キーを押します。

– アドレス帳（リスト機能／検索機能）を使う：［登録宛先］キーを 4 回押し、リスト機能または検索機能から目的の相手先を検索し、［選択］キーを押します。もう一度［選択］キーを押します。（詳しくは、「リスト機能で検索して送信する」（p.99）または「検索機能で検索して送信する」（p.103）をごらんください。）

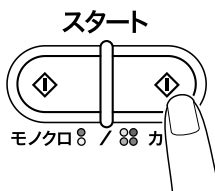
5 相手先を追加する場合は、[追加]が選択されていることを確認し、[選択]キーを押します。すべての相手先を指定するまで、手順 4 を繰り返します。

- 相手先指定を終了するには、[終了]を選択し、[選択]キーを押します。
- 指定した相手先を確認するには[確認 / 編集]を選択します。確認が終わったら、[戻る]キーを押します。
- 相手先を 1 件削除したい場合は、[確認 / 編集]で相手先確認中に、削除したい相手先を[▼/▲]キーで選択し、[ストップ / リセット]キーを押します。削除確認の画面で[はい]を選択し、[選択]キーを押すと、相手先は削除されます。削除が終わったら、[戻る]キーを押します。

ステータスに[ｱﾄﾞﾚｽ帳が使えます]が表示されている場合に、[登録宛先]キーは使えます。

6 [スタート]キーを押します。

原稿が読み込まれ、ファクス送信されます。

送信を中止する場合は、[ストップ / リセット]キーを押します。送信キャンセルの確認のメッセージが表示されたら、[はい]が選択されていることを確認して、[選択]キーを押します。送信を中止すると、指定した相手先がすべてクリアーされます。

[設定ﾒﾆｭｰ]-[管理者設定]-[ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ設定]-[機能番号]-[許可しない]で[ﾌｧｸｽ送信]が[許可しない]に設定されている場合は、[スタート]キーを押した後に、機能番号を入力してください。

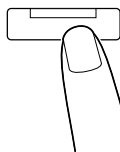
複数の相手先に送信する(グループダイアル)

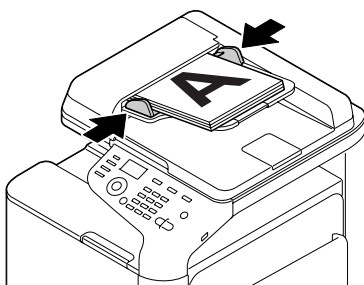
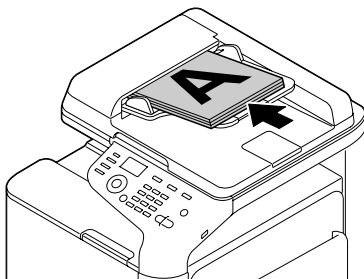
複数の相手先をグループダイアルから指定できます。

複数相手先は、前もってグループダイアルに登録されている必要があります。詳しくは、「グループダイアルを登録する」(p.187)をごらんください。

1 ［ファクス］キーを押して、ファクスモード画面を表示させます。

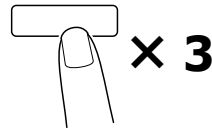
11:44 ﾒﾓﾘ:100%
普通/文字
ﾌｧｸｽ送信先
->選択

初期モード（［設定ﾒﾆｭｰ］-［ﾏｼﾝ設定］-［初期ﾓｰﾄﾞ］）が［ﾌｧｸｽ］の場合は、この手順は必要ありません。

2 原稿をセットします。

ADF への原稿セットのしかたは「ADF でファクスを送信する」（p.77）を、原稿ガラスへの原稿のセットのしかたは「原稿ガラスでファクスを送信する」（p.81）をごらんください。

3 画質を調整します。

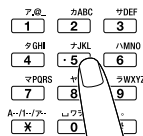
画質の調整については、「画質を調整する」（p.86）をごらんください。

4 ［登録宛先］キーを 3 回押します。

メイン画面が表示されている場合、またはステータスに［ｱﾄﾞﾚｽ帳が使えます］が表示されている場合に、［登録宛先］キーは使えます。

5 テンキーでグループダイアル番号（1 ～ 20）を入力し、［選択］キーを押します。

送信先 1/236
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ :_
ｱﾄﾞﾚｽ帳=宛先

入力を間違えた場合には［戻る］キーを押し、再度相手先のグループダイアル番号を入力します。

メールアドレスが登録されているグループダイアル番号を入力した場合、［設定が違います］というメッセージが表示されます。また、何も登録されていないグループダイアル番号を入力した場合［登録されていません！］というメッセージが表示されます。ファクス番号が登録されているグループダイアル番号を入力してください。

6 画面に［はい = 選択］が表示されたら、［選択］キーをもう一度押します。

7 ［▼／▲］キーで、［終了］を選択し、［選択］キーを押します。

送信先
追加
確認/編集
終了

指定した相手先を削除したい場合は、［確認 / 編集］で相手先を選択し、［ストップ / リセット］キーを押します。削除確認の画面で［はい］を選択し、［選択］キーを押すと、相手先は削除されます。削除が終わったら、［戻る］キーを押します。

8 ［スタート］キーを押します。

原稿が読み込まれ、ファクス送信されます。

送信を中止する場合は、［ストップ / リセット］キーを押します。送信キャンセルの確認のメッセージが表示されたら、［はい］が選択されていることを確認して、［選択］キーを押します。送信を中止すると、指定した相手先がすべてクリアーされます。

［設定ﾒﾆｭｰ］-［管理者設定］-［ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ設定］-［機能番号］-［許可しない］で［ﾌｧｸｽ送信］が［許可しない］に設定されている場合は、［スタート］キーを押した後に、機能番号を入力してください。

指定した時間にファクスを送信する（タイマー通信）

原稿をメモリーに読み込ませ、指定した時間に送信できます。深夜や早朝などの電話料金割引時間を利用して通信できるため経済的です。

- ひとつの相手先に、複数の原稿を、指定した時刻にまとめて送信する場合は、一括送信機能を使用すると、一回の回線接続で送信でき、便利です。

- タイマー通信をするには、本機の時刻設定をしてください。詳しくは、「管理者設定メニュー」（p.41）をごらんください。

- タイマー通信は、同報送信機能を併用できます。

- タイマー通信データはメモリーに保存されるため、電源をオフ／オンしてもデータは消えません。

1 ［ファクス］キーを押して、ファクスモード画面を表示させます。

- 初期モード（［設定ﾒﾆｭｰ］-［ﾏｼﾝ設定］-［初期ﾓｰﾄﾞ］）が［ﾌｧｸｽ］の場合は、この手順は必要ありません。

11:44　ﾒﾓﾘ:100%
普通/文字
ﾌｧｸｽ送信先
→選択

2 原稿をセットします。

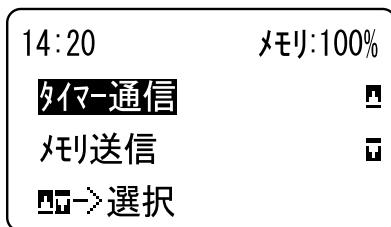
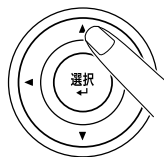
ADF への原稿セットのしかたは「ADF でファクスを送信する」（p.77）を、原稿ガラスへの原稿のセットのしかたは「原稿ガラスでファクスを送信する」（p.81）をごらんください。

3 画質を調整します。

画質の調整については、「画質を調整する」（p.86）をごらんください。

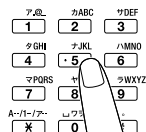
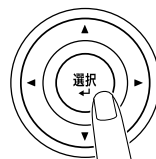
4 ［▼／▲］キーで、［ﾀｲﾏｰ通信］を選択し、［選択］キーを押します。

タイマー通信設定画面が表示されます。

14:20 ﾒﾓﾘ:100%
ﾀｲﾏｰ通信
ﾒﾓﾘ送信
->選択

5 テンキーで送信時間を設定し、［選択］キーを押します。

24 時間形式で入力してください。

入力した時間を修正するときは、［戻る］キーを押します。

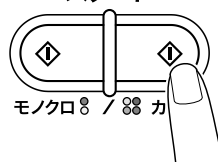
ﾀｲﾏｰ通信設定
ﾀｲﾏｰ _ :
(00:00-23:59)

6 相手先を指定します。

詳しくは、「相手先を指定する」（p.90）をごらんください。

同報送信機能を使用して複数の相手先に送信したい場合は、「複数の相手先に送信する（同報送信）」（p.111）をごらんください。すべての相手先の入力を完了後、［スタート］キーを押すと、読込みが開始されます。読込みが完了後、本機は待機状態になります。

一括送信設定が登録されている短縮ダイアルを指定した場合は、一括送信設定で指定している時刻に送信されます。

7 ［スタート］キーを押します。

読込みが開始され、待機状態になります。
待機状態中は画面に T が表示されます。

スタート
モノクロ / カ

タイマー通信をキャンセルしたい場合は、メニューから［予約ｷｬﾝｾﾙ］を選択します。詳しくは、「送信予約をキャンセルする」（p.133）をごらんください。

14:21 T　ﾒﾓﾘ: 99%
普通/文字
ﾌｧｸｽ送信先
->選択

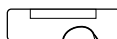
［設定ﾒﾆｭｰ］-［管理者設定］-［ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ設定］-［機能番号］-［許可しない］で［ﾌｧｸｽ送信］が［許可しない］に設定されている場合は、［スタート］キーを押した後に、機能番号を入力してください。

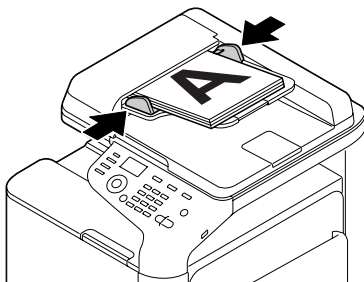
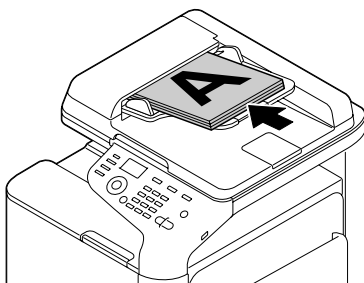
一括送信する

メモリーに読込ませた複数の原稿を、ひとつの宛先に、指定した時刻にまとめて送信できます。

あらかじめ設定メニューで一括送信設定（送信時刻）を短縮ダイアルに登録しておきます。詳しくは、「短縮ダイアルを登録する」（p.178）をごらんください。

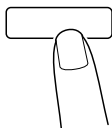
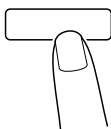
1 ［ファクス］キーを押して、ファクスモード画面を表示させます。

初期モード（［設定ﾒﾆｭｰ］-［ﾏｼﾝ設定］-［初期ﾓｰﾄﾞ］）が［ﾌｧｸｽ］の場合は、この手順は必要ありません。

2 原稿をセットします。

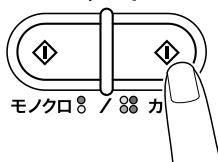
ADF への原稿セットのしかたは「ADF でファクスを送信する」（p.77）を、原稿ガラスへの原稿のセットのしかたは「原稿ガラスでファクスを送信する」（p.81）をごらんください。

3 画質を調整します。

画質の調整については、「画質を調整する」（p.86）をごらんください。

4 一括送信が設定された送信先を、常用または、短縮ダイアルで指定します。

- 常用から相手先を指定する方法は、「常用を使って送信する」（p.93）をごらんください。
- 短縮ダイアルから相手先を指定する場合は、「短縮ダイアルを使って送信する」（p.95）をごらんください。

5 ［スタート］キーを押します。

読込みが開始され、待機状態になります。
待機状態中は画面に **T** が表示されます。

- 一括送信をキャンセルしたい場合は、メニューから［予約ｷｬﾝｾﾙ］を選択します。詳しくは、「送信予約をキャンセルする」（p.133）をごらんください。
- ［設定ﾒﾆｭｰ］-［管理者設定］-［ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ設定］-［機能番号］-［許可しない］で［ﾌｧｸｽ送信］が［許可しない］に設定されている場合は、［スタート］キーを押した後に、機能番号を入力してください。

メモリ送信とクイック送信について

本機を使用して原稿を送信する方法には、メモリ送信とクイック送信の 2 つの方法があります。

メモリ送信

あらかじめすべての原稿を読込み、メモリーに蓄積してからファクス送信する方法です。ヘッダーのページ数に自動的に総ページ数が付けられます。ただし、原稿のページ数が多い場合や、原稿の読取り画質（解像度）が細密なために情報量が多い場合はメモリーオーバーすることがあります。

クイック送信

相手局との通信シーケンスに従い、リアルタイムで通信する方法です。原稿の枚数が多い場合にもメモリーオーバーすることなく送信できます。

工場出荷時の初期設定は、メモリ送信に設定されています。初期設定は設定メニューで変更できます。詳しくは、「ファクス送信設定メニュー」（p.58）をごらんください。

送信モードを切換える

送信モードを初期設定から一時的に切換えることができます。

1 ［ファクス］キーを押して、ファクスモード画面を表示させます。

初期モード（［設定ﾒﾆｭｰ］-［ﾏｼﾝ設定］-［初期ﾓｰﾄﾞ］）が［ﾌｧｸｽ］の場合は、この手順は必要ありません。

11:44 ﾒﾓﾘ:100%
普通/文字
ﾌｧｸｽ送信先
-> 選択

2 原稿をセットします。

ADF への原稿セットのしかたは「ADF でファクスを送信する」（p.77）を、原稿ガラスへの原稿のセットのしかたは「原稿ガラスでファクスを送信する」（p.81）をごらんください。

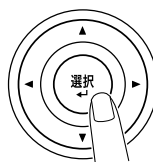
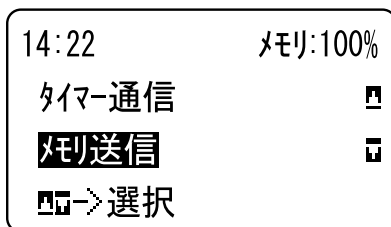
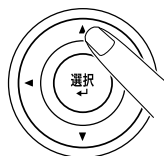
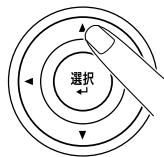
3 画質を調整します。

画質の調整については、「画質を調整する」（p.86）をごらんください。

4 ［▼／▲］キーで、現在の送信モード設定へ移動させ、［選択］キーを押します。

送信モード画面が表示されます。

メモリ送信が初期設定の場合［ﾒﾓﾘ送信］が表示されています。クイック送信が初期設定の場合［ｸｲｯｸ送信］が表示されています。

14:22 ﾒﾓﾘ:100%
ﾀｲﾏｰ通信
ﾒﾓﾘ送信
→選択

5 [▼／▲] キーで、目的の送信モードを選択し、[選択] キーを押します。

送信ﾓｰﾄﾞ 1/1
ﾒﾓﾘ送信
ｸｲｯｸ送信

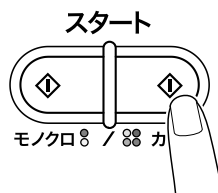
6 相手先を指定します。

詳しくは、「相手先を指定する」（p.90）をごらんください。

同報送信機能を使用して複数の相手先に送信したい場合は、「複数の相手先に送信する（同報送信）」（p.111）をごらんください。

7 [スタート] キーを押します。

原稿が読み込まれ、ファクス送信されます。

送信を中止する場合は、[ストップ / リセット] キーを押します。送信キャンセルの確認のメッセージが表示されたら、[はい] が選択されていることを確認して、[選択] キーを押します。

[設定ﾒﾆｭｰ] - [管理者設定] - [ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ設定] - [機能番号] - [許可しない] で [ﾌｧｸｽ送信] が [許可しない] に設定されている場合は、[スタート] キーを押した後に、機能番号を入力してください。

ここで設定した送信モードは、通常の送信では、原稿スキャン後に初期値に戻ります。手動送信では、送信した後に初期値に戻ります。よく使用する送信モードを初期値にしておくと便利です。詳しくは、「ファクス送信設定メニュー」（p.58）をごらんください。

ファクスを手動送信する

電話を使用後ファクスを手動送信する

本機に外付け電話機を接続して、電話とファクスの両方で 1 つの回線を使うときに、電話が終了後、ファクス送信をすることができます。相手先にファクス送信をすることを告げてから送信でき、便利です。

1 ［ファクス］キーを押して、ファクスモード画面を表示させます。

初期モード（［設定ﾒﾆｭｰ］-［ﾏｼﾝ設定］-［初期ﾓｰﾄﾞ］）が［ﾌｧｸｽ］の場合は、この手順は必要ありません。

2 ADF に原稿をセットします。

ファクスを手動送信する場合は、原稿を ADF にのみセットしてください。原稿ガラスにセットして送信するとエラーになります。

ADF への原稿セットのしかたは「ADF でファクスを送信する」（p.77）をごらんください。

3 画質を調整します。

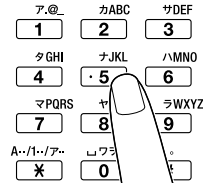
画質の調整については、「画質を調整する」（p.86）をごらんください。

4 受話器を上げて、発信音 " ツー " が 聞こえることを確認します。

14:23 ﾒﾓﾘ:100%
画質:普通/文字
ｽﾋﾟｰｶｰ

5 相手先のファクス番号を外付け電話機からダイアルします。

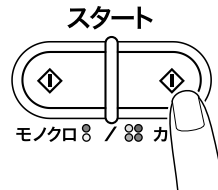
ファクス番号は操作パネルのテンキーでも指定できます。

回線の種類にパルスが設定されている場合は、[⁎] キーを押して一時的にトーンに切換えます。

6 電話での会話の後、相手側でファクス受信をするキーを押します。

相手先のファクスの準備が完了したら、警告音が鳴ります。

7 [スタート] キーを押します。

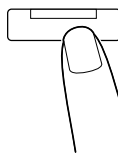
原稿が読み込まれ、ファクス送信されます。

送信を中止する場合は、[ストップ / リセット] キーを押します。送信キャンセルの確認のメッセージが表示されたら、[はい] が選択されていることを確認して、[選択] キーを押します。

[設定ﾒﾆｭｰ] - [管理者設定] - [ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ 設定] - [機能番号] - [許可しない] で [ﾌｧｸｽ送信] が [許可しない] に設定されている場合は、[スタート] キーを押した後に、機能番号を入力してください。

8 受話器を置きます。

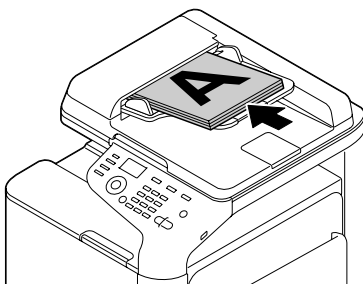
オンフックキーを使用してファクスを手動送信する

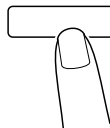
1 ［ファクス］キーを押して、ファクスモード画面を表示させます。

初期モード（［設定ﾒﾆｭｰ］-［ﾏｼﾝ設定］-［初期ﾓｰﾄﾞ］）が［ﾌｧｸｽ］の場合は、この手順は必要ありません。

11：44 ﾒﾓﾘ:100%
普通/文字
ﾌｧｸｽ送信先
-> 選択

2 ADF に原稿をセットします。

ファクスを手動送信する場合は、原稿を ADF にのみセットしてください。原稿ガラスにセットして送信するとエラーになります。

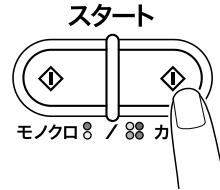
ADF への原稿セットのしかたは「ADF でファクスを送信する」（p.77）をごらんください。

3 画質を調整します。

画質の調整については、「画質を調整する」（p.86）をごらんください。

4 ［オンフック］キーを押します。

5 相手先のファクス番号を指定します。

[オンフック] キーを押した場合でも [登録宛先] キーを使用できます。詳しくは「相手先を指定する」(p.90) をごらんください (グループダイアルは使用できません)。

回線の種類にパルスが設定されている場合は、[⁎] キーを押して一時的にトーンに切換えます。

6 [スタート] キーを押します。

原稿が読み込まれ、ファクス送信されます。

送信を中止する場合は、[ストップ / リセット] キーを押します。送信キャンセルの確認のメッセージが表示されたら、[はい] が選択されていることを確認して、[選択] キーを押します。

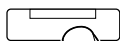
[設定ﾒﾆｭｰ] - [管理者設定] - [ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ設定] - [機能番号] - [許可しない] で [ﾌｧｸｽ送信] が [許可しない] に設定されている場合は、[スタート] キーを押した後に、機能番号を入力してください。

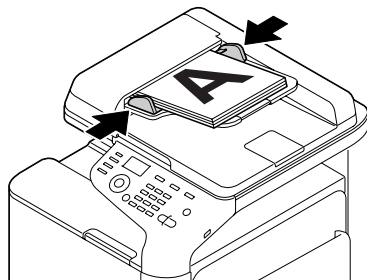
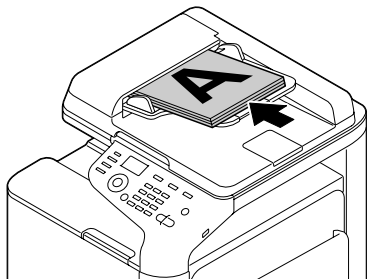
ファクス番号を組み合わせて送信する（チェーンダイアル）

複数のファクス番号を組み合わせて相手先を指定できます。この機能をチェーンダイアルといいます。

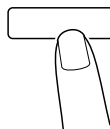
例えば、相手先の代表番号と内線番号を個別の短縮ダイアルに登録しておき、それらを組み合わせて送信したりすることができます。

1 ［ファクス］キーを押して、ファクスモード画面を表示させます。

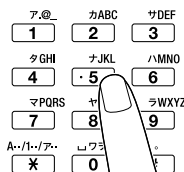
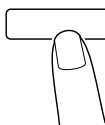
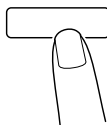
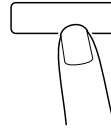
初期モード（［設定ﾒﾆｭｰ］-［ﾏｼﾝ設定］-［初期ﾓｰﾄﾞ］）が［ﾌｧｸｽ］の場合は、この手順は必要ありません。

2 原稿をセットします。

ADF への原稿セットのしかたは「ADF でファクスを送信する」（p.77）を、原稿ガラスへの原稿のセットのしかたは「原稿ガラスでファクスを送信する」（p.81）をごらんください。

3 画質を調整します。

画質の調整については、「画質を調整する」（p.86）をごらんください。

4 ［オンフック］キーを押します。

5 直接入力、常用、短縮ダイアル、リダイアルで、1 つ目の番号を指定します。

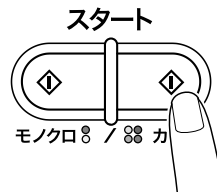
詳しくは、「相手先を指定する」（p.90）をごらんください。

または

リダイアル/ポーズ

6 3 秒間の間隔をあけた後、直接入力、常用、短縮ダイアルで、2 つ目の番号を指定します。

```
11:44            ﾒﾓﾘ:100%
画質:普通/文字
☎:123              [1…]
  (0123456789          )
```

7 ［スタート］キーを押します。

原稿が読み込まれ、ファクス送信されます。

送信を中止する場合は、［ストップ / リセット］キーを押します。送信キャンセルの確認のメッセージが表示されたら、［はい］が選択されていることを確認して、［選択］キーを押します。

［設定ﾒﾆｭｰ］-［管理者設定］-［ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ設定］-［機能番号］-［許可しない］で［ﾌｧｸｽ送信］が［許可しない］に設定されている場合は、［スタート］キーを押した後に、機能番号を入力してください。

送信予約をキャンセルする

タイマー通信待ちなど、読込んだ原稿は、メモリーに蓄積されます。メモリーに蓄積されている文書を特定して削除できます。

1 [ファクス] キーを押して、ファクスモード画面を表示させます。

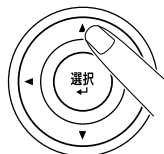
初期モード（[設定ﾒﾆｭｰ] - [ﾏｼﾝ設定] - [初期ﾓｰﾄﾞ]）が [ﾌｧｸｽ] の場合は、この手順は必要ありません。

2 [▼／▲] キーで、[予約ｷｬﾝｾﾙ] を選択し、[選択] キーを押します。

予約キャンセル画面が表示されます。

メモリーにジョブが無ければ、[予約はありません] が表示されます。

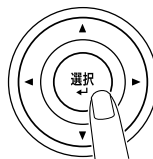
以下のジョブのタイプが表示されます。

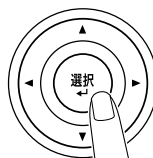
- [ﾒﾓﾘ送信]：通常送信（待機中）
- [順次同報]：同報送信
- [ﾀｲﾏｰ通信]：タイマー通信
- [転送]：転送送信

14:24　ﾒﾓﾘ:100%
予約ｷｬﾝｾﾙ
設定ﾒﾆｭｰ
->選択

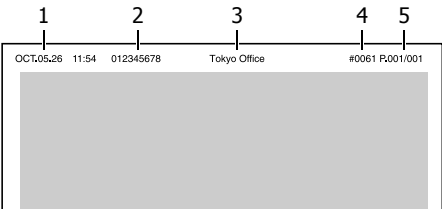
3 ［▼／▲］キーで、削除したいジョブを選択します。

表示されている同報送信ジョブの相手先を確認したい場合は、［ ▶ ］キーを押します。確認後は［戻る］キーを押して前の画面に戻ります。

4 ［選択］キーを押します。

予約キャンセル画面が表示されます。

5 ［はい］が選択されていることを確認して、［選択］キーを押します。

ジョブが削除されます。

ファクスヘッダーについて

［設定ﾒﾆｭｰ］-［ﾌｧｸｽ送信設定］-［ﾍｯﾀﾞｰ］が［ｵﾝ］になっていると、相手先がファクス受信をしたときに発信元情報（送信者名、ファクス番号、送信日時、セッション番号、ページ番号）が印字されます。

No.	項目	説明
1	送信日時	ファクスが送信された日時が表示されます。時刻は24 時間形式で表示されます。
2	ファクス番号	ファクス番号が表示されます。
3	送信者名	送信者の名前が表示されます。
4	セッション番号	ファクスを送信するセッション番号が表示されます。
5	ページ番号	ページ番号が、「ページ番号／総ページ数」で表示されます。 外付け電話機や［オンフック］キーを使った送信、クイック送信では総ページ数は表示されません。

ヘッダーを印字するには、［設定ﾒﾆｭｰ］-［管理者設定］-「ﾕｰｻﾞｰ設定」で［ﾌｧｸｽ番号］と［ﾕｰｻﾞｰ名］を設定したうえで、［設定ﾒﾆｭｰ］-［ﾌｧｸｽ送信設定］-［ﾍｯﾀﾞｰ］の設定を［ｵﾝ］にしてください。詳しくは、「管理者設定メニュー」（p.41）、「ファクス送信設定メニュー」（p.58）をごらんください。

PC ファクスを送信する

コンピューターから直接ファクス送信する（PC ファクス）

コンピューター上の文書を印刷しファクスへセットすることなく、コンピューターから直接ファクス送信ができます。

PC ファクス機能を使用するには、ファクスドライバーをインストールする必要があります。ドライバーのインストールについては、［インストレーションガイド］をごらんください。

ファクスドライバーはIPP(Internet Printing Protocol)には対応していません。

PC ファクス設定画面を表示する

Windows 7/Server 2008 R2 の場合

1. ［スタート］メニューから［デバイスとプリンター］をクリックし、デバイスとプリンター画面を表示します。

2. ［プリンターと FAX］より［EPSON LP-M720 (FAX)］プリンターアイコンを右クリックし、［印刷設定］をクリックします。

デバイスとプリンター画面に［EPSON LP-M720 (FAX)］プリンターアイコンが表示されず、［EPSON LP-M720］プリンターアイコンが表示されている場合は、［EPSON LP-M720］プリンターアイコンを右クリックし、［印刷設定］－［EPSON LP-M720 (FAX)］をクリックしてください。

Windows Server 2008/Vista の場合

1. ［スタート］メニューから［コントロールパネル］－［ハードウェアとサウンド］－［プリンタ］をクリックし、プリンタ画面を表示します。

2. ［EPSON LP-M720 (FAX)］プリンターアイコンを右クリックし、［印刷設定］をクリックします。

Windows XP Home Edition の場合

1. ［スタート］メニューから［コントロールパネル］－［プリンタとその他のハードウェア］－［プリンタと **FAX** ］をクリックし、プリンタと **FAX** 画面を表示します。

2. ［EPSON LP-M720 (FAX)］プリンターアイコンを右クリックし、［印刷設定］をクリックします。

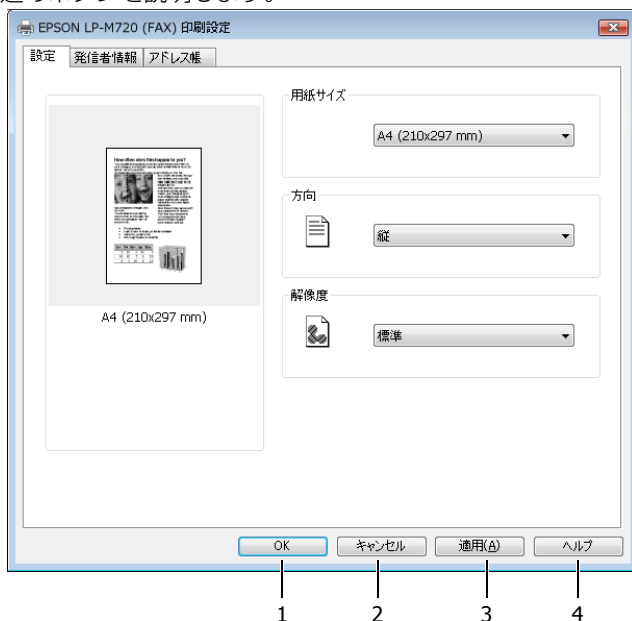
Windows XP Professional/Server 2003 の場合

1. ［スタート］メニューから［プリンタと **FAX**］をクリックし、プリンタと **FAX** 画面を表示します。

2. ［EPSON LP-M720 (FAX)］プリンターアイコンを右クリックし、［印刷設定］をクリックします。

PC ファクス設定について

各タブで共通のボタン

各タブ共通のボタンを説明します。

1　［OK］

このボタンをクリックすると、変更した設定内容を有効にして画面を閉じます。

2　［キャンセル］

このボタンをクリックすると、変更した設定内容を無効（キャンセル）にして画面を閉じます。

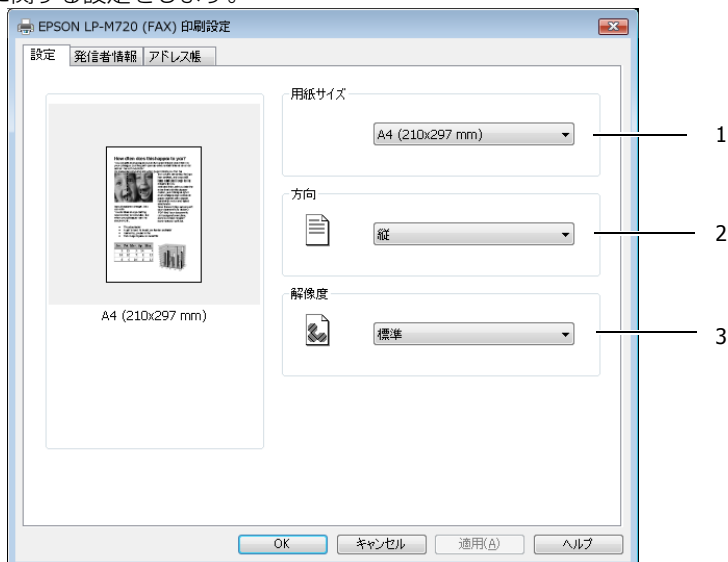
3　［適用］

このボタンをクリックすると、画面を閉じずに、変更した設定内容を有効にします。

4　［ヘルプ］

このボタンをクリックすると、ヘルプが表示されます。

設定タブ

原稿に関する設定をします。

1　［用紙サイズ］

送信する原稿のサイズを設定します。

PC ファクス機能で送信できる用紙サイズは A4、LETTER、LEGAL です。

2　［方向］

原稿の向きを［縦］または、［横］から選択して設定します。

3　［解像度］

原稿の画質を設定します。

［標準］：通常の原稿の場合に設定します。

［精細］：小さい文字を含む原稿の場合に設定します。

［高精細］：細かい画像を含む場合に設定します。

発信者情報タブ

送信者の情報を入力します。入力した情報は、カバーシートに表示されます。

1 [名前]

送信者の名前を（漢字、ひらがな、カタカナ、英数字、記号）32 文字以内で入力します。

2 [会社名]

送信者の会社名を（カタカナ、英数字、記号）64 文字以内で入力します。

3 [部署名]

送信者の所属部署名を（漢字、ひらがな、カタカナ、英数字、記号）32 文字以内で入力します。

4 [電話番号]

送信者の電話番号を半角（数字、スペース、*、#、+、-、P（ポーズ））32 文字以内で入力します。

5 [FAX 番号]

送信者のファクス番号を半角（数字、スペース、*、#、+、-、P（ポーズ））32 文字以内で入力します。

6 [E-mail アドレス]

送信者のメールアドレスを半角（英数字、@、_、-、.）64 文字以内で入力します。

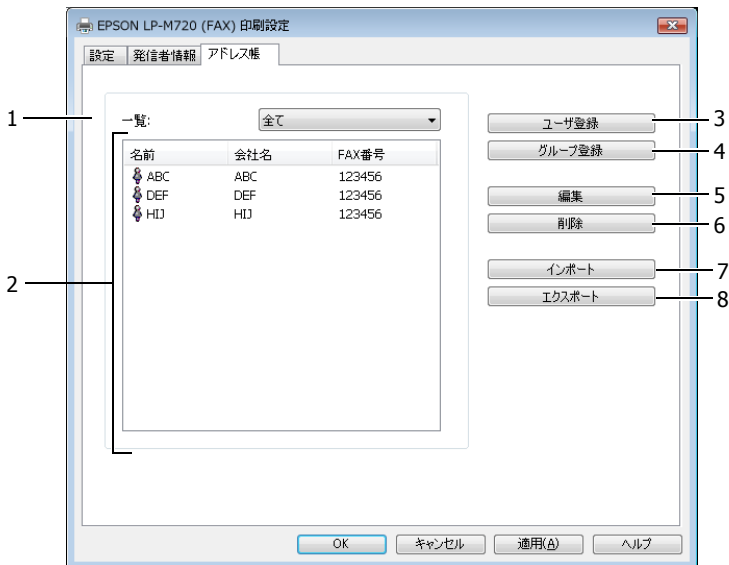
7　［住所］

送信者の住所を（漢字、ひらがな、カタカナ、英数字、記号）32 文字以内で入力します。

名前、会社名、部署名、住所に「,」と「"」は入力できません。

P（ポーズ）は大文字のみ入力できます。

アドレス帳タブ

相手先の登録、編集、削除をします。

1 ［一覧］

相手先リストの表示を絞り込みます。［全て］、［グループ］、［ユーザー］から選択します。

2 ［相手先リスト］

アドレス帳に登録されている相手先が表示されます。

3 ［ユーザー登録］

アドレス帳に相手先を登録するユーザー登録画面を表示します。

ユーザー登録画面で相手先の情報を入力し、［OK］をクリックすると、相手先は登録され、相手先リストに表示されます。

ユーザー登録で入力可能な文字は、「発信者情報タブ」（p.141）をごらんください。

アドレス帳に登録できる最大ユーザー数は 1000 です。

4 ［グループ登録］

アドレス帳にグループ宛先を登録するグループ登録画面を表示します。

グループ宛先を登録すると、送信時に複数の相手先を容易に呼び出すことができ、便利です。

グループ登録画面でグループ名を入力し、ユーザーリストからグループ宛先に登録したい相手先を選択して、［OK］をクリックすると、グループ宛先は登録され、相手先リストに表示されます。

グループ宛先に登録するには、前もって相手先がアドレス帳に登録されている必要があります。

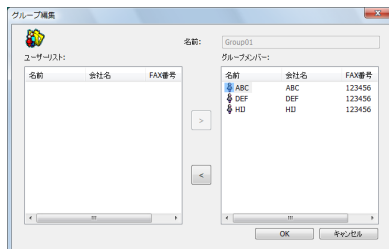
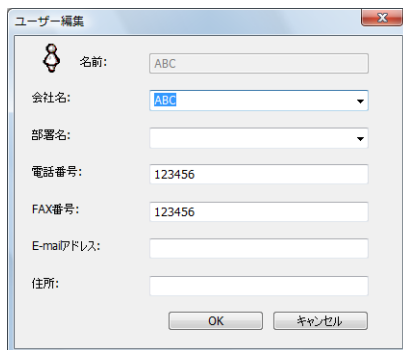
グループ登録で入力可能な文字は、「発信者情報タブ」（p.141）をごらんください。

アドレス帳に登録できる最大グループ数は 1000 です。
また、1 グループあたりに登録できる最大ユーザー数は 50 です。

5 ［編集］

ユーザー編集画面またはグループ編集画面を表示します。

アドレス帳に登録されている相手先の情報やグループ宛先のメンバーを編集できます。（相手先やグループ宛先の名前は変更できません。）

相手先リストで編集したい相手先やグループ宛先を選択し、［編集］をクリックします。

6 ［削除］

アドレス帳に登録されている相手先またはグループ宛先を削除します。

相手先リストで、削除したい相手先またはグループ宛先を選択し、［削除］をクリックすると、削除の確認画面が表示されます。［OK］をクリックすると削除されます。

7 ［インポート］

CSV 形式の相手先情報をインポートし、相手先登録をします。

8 ［エクスポート］

相手先リストを CSV 形式にエクスポートします。

グループ登録された情報はエクスポートできません。

基本的な PC ファクス送信のしかた

1 ファクス送信したい文書のメニューから［印刷］を選択します。

2 プリンターのリストから［EPSON LP-M720 (FAX)］を選択します。

3 必要に応じて［プロパティ］（または［詳細設定］）をクリックし、ファクスドライバーの設定を変更します。

設定のしかたについて詳しくは、「PC ファクス設定について」（p.139）をごらんください。

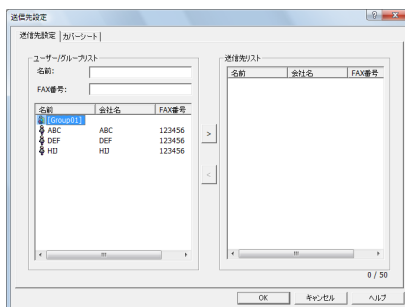
4 ［OK］をクリックします。

送信先設定画面が表示されます。

キー名称はアプリケーションによって変わります。

5 ［送信先設定］タブで相手先を指定します。

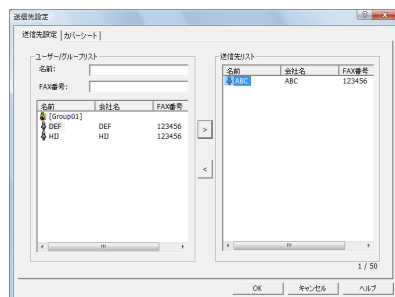
– 相手先のファクス番号を直接入力する場合は、［ユーザー / グループリスト］の［名前］と［FAX 番号］に入力します。

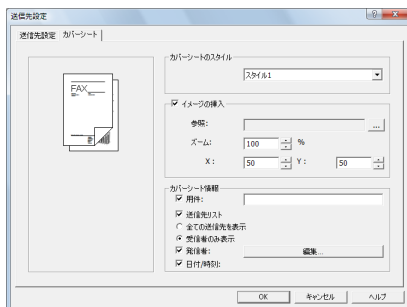
– 相手先のファクス番号をアドレス帳から指定する場合は、リストから目的の相手先をクリックします。

P（ポーズ）は大文字のみ入力できます。

6 ［>］をクリックします。

相手先が［送信先リスト］に移動します。

ファクス送信は［送信先リスト］に表示されている相手先すべてに送信されます。

［送信先リスト］から外したい場合は、［<］をクリックします。

7 ［カバーシート］タブをクリックします。

8 ［カバーシートのスタイル］でカバーシートの種類を選択します。

9 ［カバーシートのスタイル］で［なし］以外に設定した場合、以下の設定をします。

– カバーシートに画像を挿入したい場合、［イメージの挿入］のチェックボックスをチェックし、［参照］で画像ファイルを指定します。以下の項目も設定できます。
［ズーム］：画像の大きさを設定します。
［X］：画像の左右位置を設定します。
［Y］：画像の上下位置を設定します。

– カバーシートに印刷したい情報を［カバーシート情報］で選択します。
［用件］：ファクス文書の件名を印刷します。入力欄に件名を入力します。
［送信先リスト］：ファクス送信の相手先を印刷します。［全ての送信先を表示］、［受信者のみ表示］から選択します。
［発信者］：ファクス送信者の情報を印刷します。PC ファクス設定の［発信者情報］で設定した内容が印刷されます。［編集…］をクリックして表示される画面で情報を変更できます。
［日付 / 時刻］：ファクス送信日時を印刷します。

10 ［OK］をクリックします。

PC ファクスのデータが送信されます。

ファクスドライバーをアンインストールする（Windows）

ここでは、ファクスドライバーをアンインストールする場合の手順について説明します。

ファクスドライバーをアンインストールする場合はコンピューターの管理者権限が必要です。

Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 を使用時に［ユーザーアカウント制御］に関する画面が表示されるときは、［許可］または［続行］をクリックします。

1. ［スタート］メニューから［すべてのプログラム］－［**EPSON**］－［**Epson LP-M720**］－［**Fax**］－［**UnInstall**］をクリックします。

2. アンインストール画面が表示されたら、［はい］をクリックします。

3. アンインストール終了画面が表示されたら、［OK］をクリックします。
   ファクスドライバーのアンインストールが完了しました。

6 ファクスを受信する

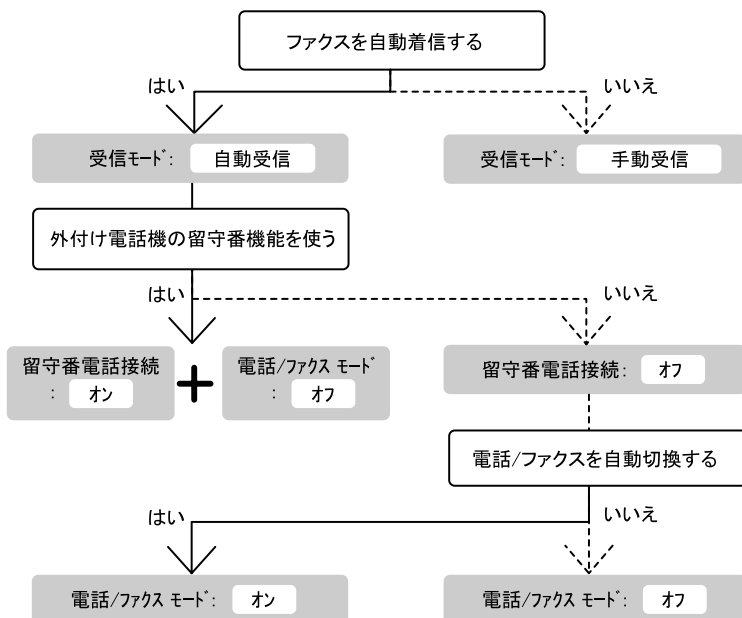
はじめに

本機の電源をオフにすると、ファクスを受信することができません。必ず電源をオンのままにしておいてください。

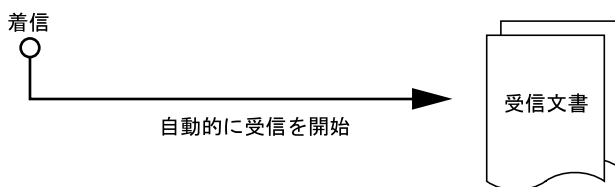
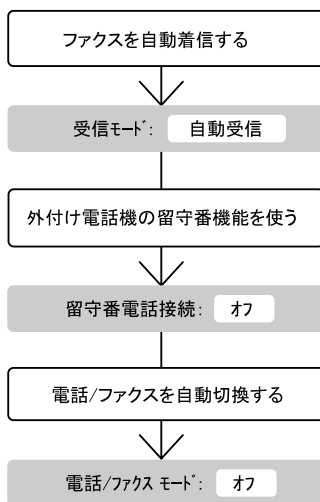
受信したファクスの印刷には A4、LETTER、LEGAL の用紙のみ対応しています。トレイ 1、トレイ 2、トレイ 3（オプション）に必ず A4、LETTER、LEGAL（トレイ 1 のみ対応）サイズの用紙をセットしてください。

[設定ﾒﾆｭｰ] - [ﾌｧｸｽ受信設定] - [両面印刷] を [有効] にしている場合は、複数ページの受信文書を用紙の両面に印刷することができます。詳しくは、「ファクス受信設定メニュー」（p.60）をごらんください。

ファクス受信方法を設定する場合、設定メニューの以下の項目について設定を確認する必要があります。以下は設定メニューの項目とその初期値です。

- [設定ﾒﾆｭｰ] - [ﾌｧｸｽ受信設定] - [受信ﾓｰﾄﾞ]：[自動受信]
- [設定ﾒﾆｭｰ] - [ﾌｧｸｽ受信設定] - [呼出し回数]：[2 回]
- [設定ﾒﾆｭｰ] - [管理者設定] - [送信設定] - [電話 / ﾌｧｸｽ ﾓｰﾄﾞ]：[ｵﾌ]
- [設定ﾒﾆｭｰ] - [管理者設定] - [送信設定] - [電話呼出し時間]：[20 秒]
- [設定ﾒﾆｭｰ] - [管理者設定] - [送信設定] - [留守番電話接続]：[ｵﾌ]

ファクスを受信する（外付け電話機を接続しない）

自動受信（ファクス専用）

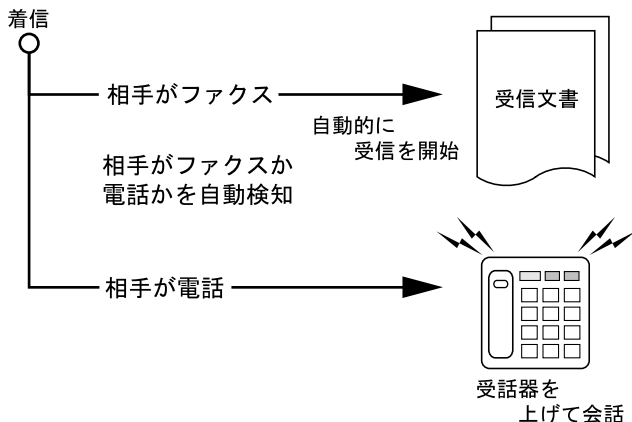
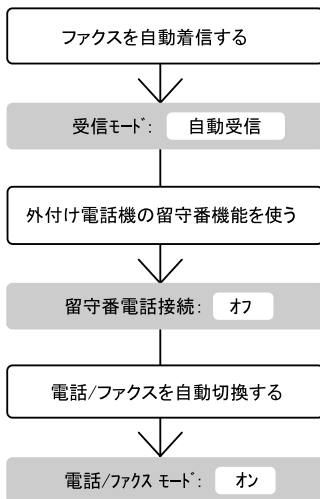
電話回線をファクス専用として使う場合に設定します。［設定ﾒﾆｭｰ］ - ［ﾌｧｸｽ受信設定］ - ［呼出し回数］で設定されている回数分の時間が経過後、受信が始まります。

ファクス専用で使用する場合は、設定メニューを以下のように設定してください。

■　［設定ﾒﾆｭｰ］ - ［ﾌｧｸｽ受信設定］ - ［受信ﾓｰﾄﾞ］：［自動受信］
■　［設定ﾒﾆｭｰ］ - ［管理者設定］ - ［送信設定］ - ［電話 / ﾌｧｸｽ ﾓｰﾄﾞ］：［ｵﾌ］
■　［設定ﾒﾆｭｰ］ - ［管理者設定］ - ［送信設定］ - ［留守番電話接続］：［ｵﾌ］

［設定ﾒﾆｭｰ］-［ﾌｧｸｽ受信設定］-［受信ﾓｰﾄﾞ］が［手動受信］に設定されている場合、ファクスは自動的に受信されません。詳しくは、「ファクス受信設定メニュー」（p.60）をごらんください。

［設定ﾒﾆｭｰ］-［ﾌｧｸｽ受信設定］-［ﾒﾓﾘ受信ﾓｰﾄﾞ］の設定が［ｵﾝ］の場合、ファクス受信後、自動的に印刷を開始しません。受信したドキュメントはメモリーに保存され、［ﾒﾓﾘ受信ﾓｰﾄﾞ］設定で指定した時間に印刷されます。また、［ﾒﾓﾘ受信ﾓｰﾄﾞ］の設定を［ｵﾌ］にすると印刷されます。設定メニューの［ﾒﾓﾘ受信ﾓｰﾄﾞ］については、「ファクス受信設定メニュー」（p.60）を、［ﾒﾓﾘ受信ﾓｰﾄﾞ］の設定のしかたについて詳しくは、「メモリ受信モードを設定する」（p.67）をごらんください。

ファクスを受信する（外付け電話機を接続する）

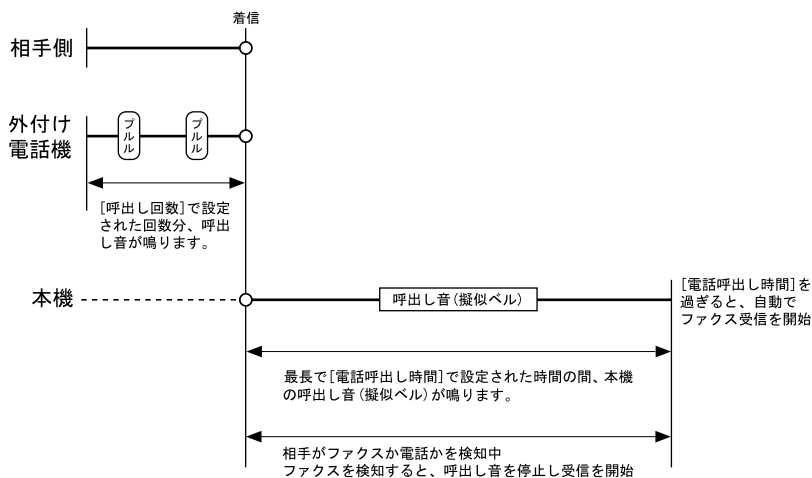
自動受信（電話／ファクス自動切替え）

外付け電話機を本機に接続している場合に設定します。着信後、相手がファクスなのか電話なのかを自動的に検知して動作します。

自動受信（電話／ファクスモード）で使用する場合は、設定メニューを以下のように設定してください。

■ ［設定ﾒﾆｭｰ］ - ［ﾌｧｸｽ受信設定］ - ［受信ﾓｰﾄﾞ］：［自動受信］

■ ［設定ﾒﾆｭｰ］ - ［管理者設定］ - ［送信設定］ - ［電話 / ﾌｧｸｽ ﾓｰﾄﾞ］：［ｵﾝ］

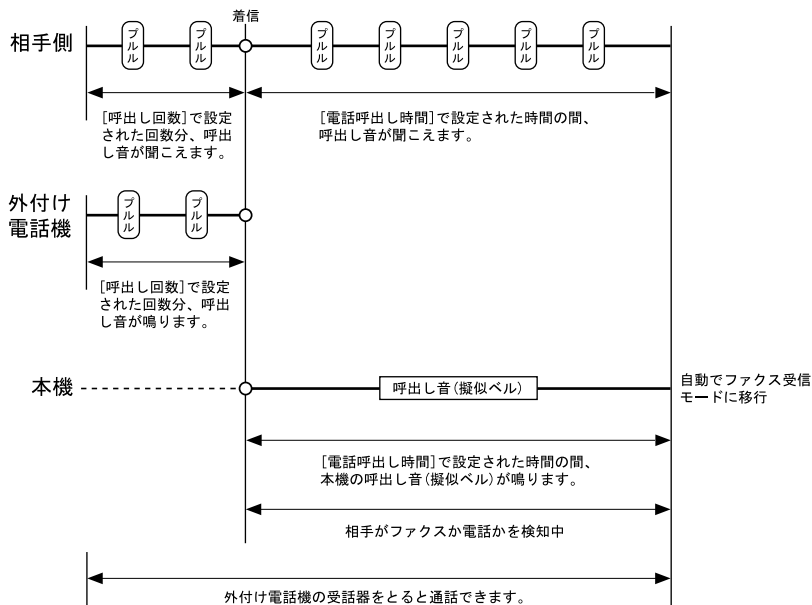
■ ［設定ﾒﾆｭｰ］-［管理者設定］-［送信設定］-［留守番電話接続］：［ｵﾌ］

<相手側がファクスのとき>

ファクスを受信した場合、自動的にファクス受信を開始します。

受話器をとって相手側がファクスであった（ポーポー音が聞こえた）場合、ファクス受信に切替えるには、ファクスモードになっているか確認してから［スタート］キーを押してください。ファクス受信が開始されます。

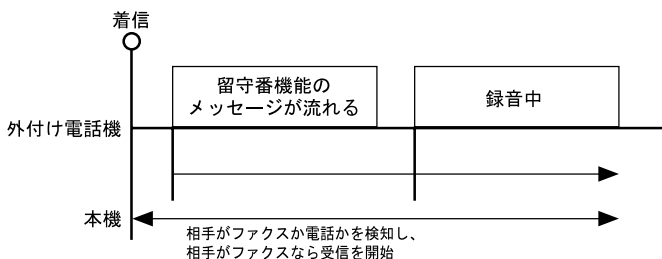
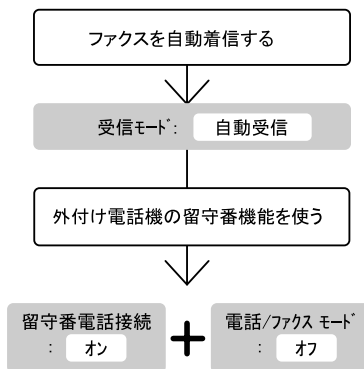
外付け電話機の［呼出し回数］と本機の［電話呼出し時間］の合計を 50 秒以内に設定してください。
50 秒以上に設定すると、本機がファクス受信を開始する前に相手側のファクス機が自動的に電話を切ることがあります。

<相手側が電話のとき>

呼出し音が鳴っている間に外付け電話機の受話器をとると通話できます。

外付け電話機の受話器を上げない場合、本機の呼出し音が鳴り終わるとファクス受信モードに自動的に切り替わります。[通信ｴﾗｰ] が表示されることがありますが、次の受信の際にエラー表示は自動的に解除されますのでそのままお使いください。

[設定ﾒﾆｭｰ] - [管理者設定] - [送信設定] - [電話 / ﾌｧｸｽ ﾓｰﾄﾞ] が [ｵﾝ] の状態で着信した場合、電話機に出なかった場合でも相手側に通話料がかかります。

自動受信（外付け電話機の留守番機能を使用）

外付け電話機を本機に接続している場合に設定します。ファクス優先で使用し、常に外付け電話機の留守番機能を設定している場合に、このモードに設定しておくと便利です。着信すると外付け電話機の留守番機能メッセージが流れ、相手先がファクスであれば自動的に受信を開始します。

外付け電話機の留守番機能を使用する場合は、設定メニューを以下のように設定してください。

- ［設定ﾒﾆｭｰ］-［ﾌｧｸｽ受信設定］-［受信ﾓｰﾄﾞ］：［自動受信］
- ［設定ﾒﾆｭｰ］-［管理者設定］-［送信設定］-［電話 / ﾌｧｸｽ ﾓｰﾄﾞ］：［ｵﾌ］
- ［設定ﾒﾆｭｰ］-［管理者設定］-［送信設定］-［留守番電話接続］：［ｵﾝ］

＜相手側がファクスのとき＞

外付け電話機の留守番機能から本機に自動的に切替わり、受信を開始します。

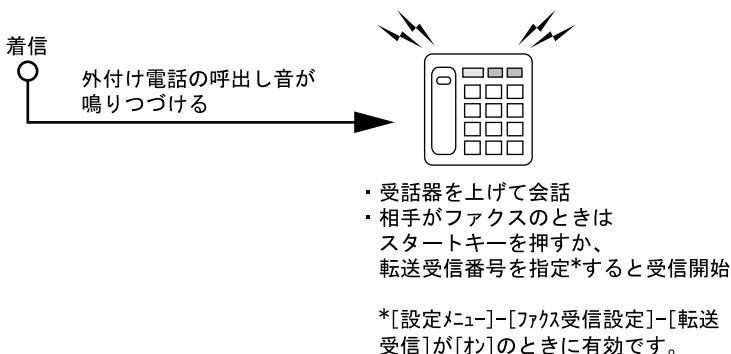
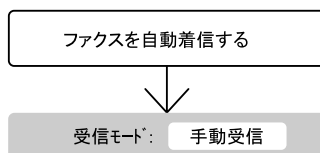
外付け電話機の留守番機能を接続して使用する場合は、［設定ﾒﾆｭｰ］-［管理者設定］-［送信設定］-［留守番電話接続］を［ｵﾝ］に設定し、外付け電話機側の応答するまでの呼び出し回数は 20 秒以内の回数を設定してください。
設定メニューの［留守番電話接続］については「管理者設定メニュー」（p.41）をごらんください。

＜相手側が電話のとき＞

送信側に対して留守番機能のメッセージが流れます。

外付け電話機の留守番機能を利用しない場合は必ず［留守番電話接続］を［ｵﾌ］にしてください。詳しくは、「［送信設定］」（p.53）をごらんください。

手動受信（主に電話専用）

外付け電話機を本機に接続し電話として使用することが多い場合にマニュアル受信モードにしておくと便利です。受話器をあげて［スタート］キーを押すことで、ファクス受信も可能です。

手動受信で使用する場合は、設定メニューを以下のように設定してください。

■ ［設定ﾒﾆｭｰ］-［ﾌｧｸｽ受信設定］-［受信ﾓｰﾄﾞ］：［手動受信］

転送受信を行う場合は以下のように設定してください。
［設定ﾒﾆｭｰ］-［ﾌｧｸｽ受信設定］-［転送設定］：［ｵﾝ］

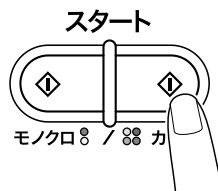
1 電話が鳴ったら、受話器を上げます。

2 ［スタート］キーを押すか、外付け電話機で転送受信番号を押し、［⁎］キーを押します。

ファクス受信が始まります。

コピーモードまたはスキャンモードになっている場合は、ファクスモードに変更してください。

電話での会話が終了後、［スタート］キーを押すか、外付け電話機で転送受信番号を押し、［⁎］キーを押すとファクス受信をします。

転送受信番号を使用するには、［設定ﾒﾆｭｰ］-［ﾌｧｸｽ受信設定］-［転送設定］を［ｵﾝ］にし、転送受信番号を設定してください。詳しくは、「ファクス受信設定メニュー」（p.60）をごらんください。

3 受話器を置きます。

スリープモード中の場合は、操作パネルのいずれかのキーを押してください。ウォームアップ後、［スタート］キーを押すと手動受信を開始します。

手動ポーリング受信

相手先に蓄積されている文書を、本機からの操作によって送信させることができます。

1 ［ファクス］キーを押して、ファクスモード画面を表示させます。

初期モード（［設定ﾒﾆｭｰ］-［ﾏｼﾝ設定］-［初期ﾓｰﾄﾞ］）が［ﾌｧｸｽ］の場合は、この手順は必要ありません。

2 ［オンフック］キーを押すか、受話器を上げます。

3 相手先のファクス番号を指定します。

4 ［スタート］キーを押します。

ファクス受信が始まります。

5 受話器を置きます。

［設定ﾒﾆｭｰ］-［管理者設定］-［ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ設定］-［機能番号］-［許可しない］で［ﾌｧｸｽ送信］が［許可しない］に設定されている場合は、［スタート］キーを押した後に、機能番号を入力してください。

受信ファクスを転送する

転送とは、受信文書が本機で指定した相手先に送信される機能です。

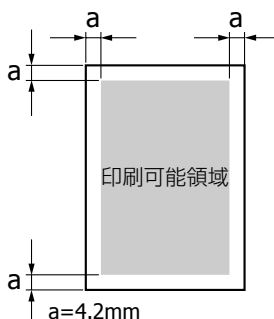
転送先には、ファクス番号、メールアドレスを設定できます。

転送先の設定のしかたについては、「転送先を設定する」（p.73）をごらんください。

受信したファクスを印刷する

印刷可能領域について

すべての用紙サイズにおいて、印刷可能領域は用紙の端から 4.0 mm までです。

印刷可能領域は、相手先の原稿読込み領域によって変わることがあります。

受信文書を両面に印刷する

複数ページの文書を受信したとき、用紙の両面に印刷することで、用紙を節約することができます。

受信文書の両面印刷は、［設定ﾒﾆｭｰ］-［ﾌｧｸｽ受信設定］-［両面印刷］で［有効］に設定されている場合に可能です。

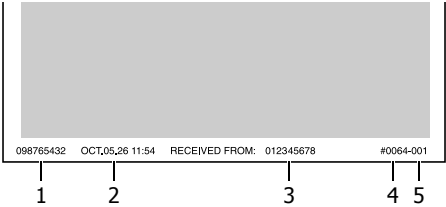
以下の場合には、受信文書の両面印刷はできません。

■ 受信文書が 1 ページの場合

■ 受信文書の用紙サイズがページごとに異なっている場合

受信文書の長さと記録される文書について、詳しくは「受信時の記録方法について」（p.163）をごらんください。

送信者情報を追加して印刷する

［設定ﾒﾆｭｰ］-［ﾌｧｸｽ受信設定］-［ﾌｯﾀｰ］を［ｵﾝ］にすると、受信ファクスを印刷するときに、送信者のファクス番号、受信日時、セッション番号、ページ番号を、ページ下部の端から 4.0 mm の部分に印字できます。

No.	項目	説明
1	本機のファクス番号	［設定ﾒﾆｭｰ］-［管理者設定］-［ﾕｰｻﾞｰ設定］で設定されているファクス番号が表示されます。
2	受信日時	ファクスが受信された日時が表示されます。時刻は 24 時間形式で表示されます。
3	送信者のファクス番号	送信者のファクス番号が表示されます。
4	セッション番号	ファクスを受信するセッション番号が表示されます。
5	ページ番号	ページ番号が表示されます。

フッターを印字するには、［設定ﾒﾆｭｰ］-［ﾌｧｸｽ受信設定］-［ﾌｯﾀｰ］-［ｵﾝ］を選択してください。詳しくは、「ファクス受信設定メニュー」（p.60）をごらんください。

受信時の記録方法について

受信文書の長さと実際に記録される文書の関係は、下記のとおりです。

[設定ﾒﾆｭｰ] - [ﾌｧｸｽ受信設定] - [縮小受信] の設定により、記録方法が異なります。

[縮小受信]：[ｵﾝ]

縮小の場合、縦方向の画像のみが縮小されます。

印刷用紙サイズ	[ﾌｯﾀｰ]設定	受信画像長（mm）	記録方法
A4	[ｵﾌ]	289 以下	1 ページに等倍（100%）で記録
		290 ～ 313	1 ページに 289 mm の画像長に縮小して記録
		314 ～ 570	2 ページに分割して等倍（100%）で記録
		571 ～ 851	3 ページに分割して等倍（100%）で記録
		852 ～	4 ページに分割して等倍（100%）で記録 …
	[ｵﾝ]	285 以下	1 ページに等倍（100%）で記録
		286 ～ 309	1 ページに 285 mm の画像長に縮小して記録
		310 ～ 562	2 ページに分割して等倍（100%）で記録
		563 ～ 839	3 ページに分割して等倍（100%）で記録
		840 ～	4 ページに分割して等倍（100%）で記録 …

印刷用紙サイズ	[フッター]設定	受信画像長（mm）	記録方法
LETTER	[オフ]	271 以下	1 ページに等倍（100%）で記録
		272 ～ 295	1 ページに 271 mm の画像長に縮小して記録
		296 ～ 534	2 ページに分割して等倍（100%）で記録
		535 ～ 797	3 ページに分割して等倍（100%）で記録
		798 ～	4 ページに分割して等倍（100%）で記録…
	[オン]	267 以下	1 ページに等倍（100%）で記録
		268 ～ 291	1 ページに 267 mm の画像長に縮小して記録
		292 ～ 526	2 ページに分割して等倍（100%）で記録
		527 ～ 785	3 ページに分割して等倍（100%）で記録
		786 ～	4 ページに分割して等倍（100%）で記録…
LEGAL	[オフ]	348 以下	1 ページに等倍（100%）で記録
		349 ～ 371	1 ページに 347 mm の画像長に縮小して記録
		372 ～ 688	2 ページに分割して等倍（100%）で記録
		689 ～ 1028	3 ページに分割して等倍（100%）で記録
		1029 ～	4 ページに分割して等倍（100%）で記録…
	[オン]	344 以下	1 ページに等倍（100%）で記録
		345 ～ 367	1 ページに 343 mm の画像長に縮小して記録
		368 ～ 680	2 ページに分割して等倍（100%）で記録
		681 ～ 1016	3 ページに分割して等倍（100%）で記録
		1017 ～	4 ページに分割して等倍（100%）で記録…

［縮小受信］：［ｵﾌ］

印刷用紙サイズ	［ﾌｯﾀｰ］設定	受信画像長（mm）	記録方法
A4	［ｵﾌ］	289 以下	1 ページに記録
		290 ～ 570	2 ページに分割して記録
		571 ～ 851	3 ページに分割して記録
		852 ～	4 ページ以上に分割して記録
	［ｵﾝ］	285 以下	1 ページに記録
		286 ～ 562	2 ページに分割して記録
		563 ～ 839	3 ページに分割して記録
		840 ～	4 ページ以上に分割して記録
LETTER	［ｵﾌ］	271 以下	1 ページに記録
		272 ～ 534	2 ページに分割して記録
		535 ～ 797	3 ページに分割して記録
		798 ～	4 ページ以上に分割して記録
	［ｵﾝ］	267 以下	1 ページに記録
		268 ～ 526	2 ページに分割して記録
		527 ～ 785	3 ページに分割して記録
		786 ～	4 ページ以上に分割して記録
LEGAL	［ｵﾌ］	348 以下	1 ページに記録
		349 ～ 688	2 ページに分割して記録
		689 ～ 1028	3 ページに分割して記録
		1029 ～	4 ページ以上に分割して記録
	［ｵﾝ］	344 以下	1 ページに記録
		345 ～ 680	2 ページに分割して記録
		681 ～ 1016	3 ページに分割して記録
		1017 ～	4 ページ以上に分割して記録

［縮小受信］：［ｶｯﾄ］

1 ページ以内に納まらない画像は、最大 24 mm までカットされます。24 mm 以上の場合、次ページへプリントされます。

印刷用紙サイズ	［ﾌｯﾀｰ］設定	受信画像長（mm）	記録方法
A4	［ｵﾌ］	289 以下	1 ページに記録
		290 ～ 313	受信画像の下部 1 ～ 24 mm を破棄し、1 ページに記録
		314 ～ 570	2 ページに分割して記録
		571 ～ 594	受信画像の下部 1 ～ 24 mm を破棄し、2 ページに分割して記録
		595 ～ 851	3 ページに分割して記録
		852 ～	3 ページに分割して記録 ...
	［ｵﾝ］	285 以下	1 ページに記録
		286 ～ 309	受信画像の下部 1 ～ 24 mm を破棄し、1 ページに記録
		310 ～ 562	2 ページに分割して記録
		563 ～ 586	受信画像の下部 1 ～ 24 mm を破棄し、2 ページに分割して記録
		587 ～ 839	3 ページに分割して記録
		840 ～	3 ページに分割して記録 ...

印刷用紙サイズ	[フッター]設定	受信画像長（mm）	記録方法
LETTER	[オフ]	271 以下	1 ページに記録
		272 ～ 295	受信画像の下部 1 ～ 24 mm を破棄し、1 ページに記録
		296 ～ 534	2 ページに分割して記録
		535 ～ 558	受信画像の下部 1 ～ 24 mm を破棄し、2 ページに分割して記録
		559 ～ 797	3 ページに分割して記録
		798 ～	3 ページに分割して記録 ...
	[オン]	267 以下	1 ページに記録
		268 ～ 291	受信画像の下部 1 ～ 24 mm を破棄し、1 ページに記録
		292 ～ 526	2 ページに分割して記録
		527 ～ 550	受信画像の下部 1 ～ 24 mm を破棄し、2 ページに分割して記録
		551 ～ 785	3 ページに分割して記録
		786 ～	3 ページに分割して記録 ...

印刷用紙サイズ	[ﾌｯﾀｰ]設定	受信画像長（mm）	記録方法
LEGAL	[オフ]	348 以下	1 ページに記録
		349 ～ 371	受信画像の下部 1 ～ 24 mm を破棄し、1 ページに記録
		372 ～ 688	2 ページに分割して記録
		689 ～ 712	受信画像の下部 1 ～ 24 mm を破棄し、2 ページに分割して記録
		713 ～ 1028	3 ページに分割して記録
		1029 ～	3 ページに分割して記録 ...
	[オン]	344 以下	1 ページに記録
		345 ～ 367	受信画像の下部 1 ～ 24 mm を破棄し、1 ページに記録
		368 ～ 680	2 ページに分割して記録
		681 ～ 704	受信画像の下部 1 ～ 24 mm を破棄し、2 ページに分割して記録
		705 ～ 1016	3 ページに分割して記録
		1017 ～	3 ページに分割して記録 ...

相手先を登録する

ダイアル登録機能について

頻繁に使うファクス番号は、ダイアル登録機能に登録でき、送信時に簡単に呼び出すことができます。また、登録することで、ファクス番号の入力エラーを防ぐことができます。

登録には、以下の種類があります。

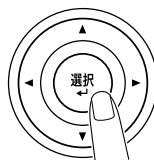
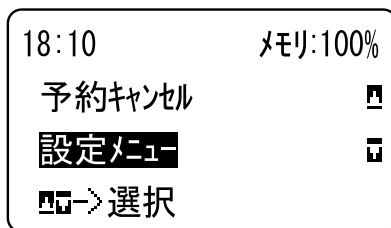
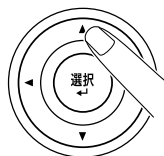
- 常用：短縮ダイアルおよびグループダイアルで頻繁に使う相手先を、常用に登録し、ファクス番号の呼び出しをスピードアップできます。登録のしかたについては、「常用」（p.171）をごらんください。
- 短縮ダイアル：短縮ダイアルにファクス番号を登録します。ファクス送信時には、短縮ダイアル番号を入力して、ファクス番号を呼び出すことができます。登録のしかたについては、「短縮ダイアル」（p.178）をごらんください。
- グループダイアル：複数の相手先をグループとしてまとめて、グループダイアルに登録します。ファクス送信時には、グループダイアル番号を入力して、同報送信のファクス番号を呼び出します。登録のしかたについては、「グループダイアル」（p.187）をごらんください。

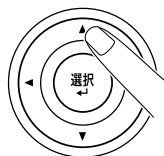
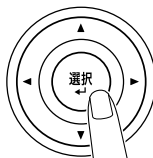
相手先を短縮ダイアルまたはグループダイアルに登録すると、検索機能を使用して、相手先を検索できるようになります。検索機能の使用方法については、「リスト機能で検索して送信する」（p.99）または「検索機能で検索して送信する」（p.103）をごらんください。

常用

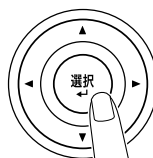
相手先を常用へ登録する

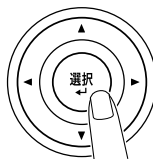
短縮ダイアルおよびグループダイアルで頻繁に使う相手先を、常用に登録し、ファクス番号の呼び出しをスピードアップできます。最大 20 件を常用に登録できます。

相手先を常用へ登録する場合は、あらかじめ短縮ダイアルまたはグループダイアルへ登録してください。

1 ［▼／▲］キーで、メニューの［設定ﾒﾆｭｰ］を選択し、［選択］キーを押します。

2 ［▼／▲］キーで、メニューの［ﾀﾞｲｱﾙ登録］を選択し、［選択］キーを押します。

設定ﾒﾆｭｰ 2/4
管理者設定
ｺﾋﾟｰ設定
ﾀﾞｲｱﾙ登録

3 ［常用］が選択されていることを確認し、［選択］キーを押します。

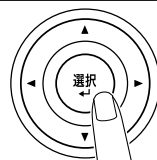
常用画面が表示されます。

常用にはじめて登録する場合は、手順 5 へ進みます。

4 ［追加］が選択されていることを確認し、［選択］キーを押します。

常用
追加
確認/編集
終了

5 テンキーで短縮ダイアル番号（1 ～ 220）を入力し、［選択］キーを押します。

– グループダイアルを登録したい場合は、［登録宛先］キーを押し、グループダイアル番号（1 ～ 20）を入力後、［選択］キーを押します。

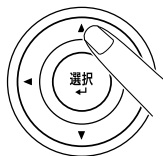
文字の入力／修正については、「入力のしかた」（p.219）をごらんください。

常用 4/20
送信先
短縮ﾀﾞｲｱﾙ:_
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ=宛先

6 もう一度、［選択］キーを押します。

7 [▼／▲] キーで、[終了] を選択し、[選択] キーを押します。

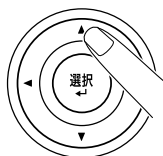
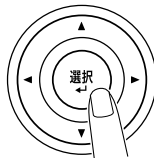
– 常用へさらに追加したい場合は、[追加] を選択し、[選択] キーを押します。手順 5 ～ 6 を繰り返します。

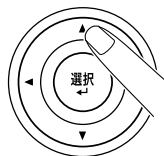
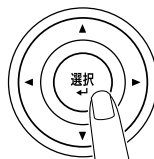
相手先が常用へ登録されます。

ファクスモード画面に戻るには、ファクスモード画面が表示されるまで、[戻る] キーを押すか、[ストップ / リセット] キーを押します。

常用
追加
確認/編集
終了

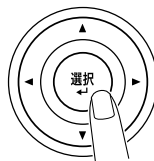
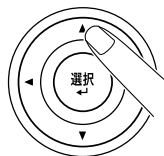
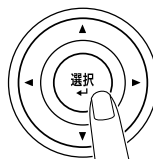
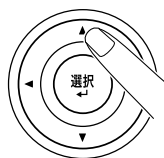
相手先を常用から削除する

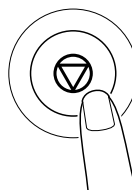
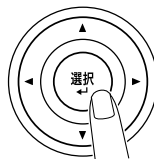
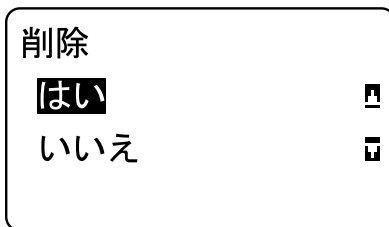
登録した常用の相手先は削除できます。

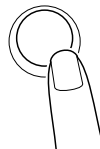
1 [▼／▲] キーで、メニューの [設定ﾒﾆｭｰ] を選択し、[選択] キーを押します。

18:10 ﾒﾓﾘ:100%
予約ｷｬﾝｾﾙ
設定ﾒﾆｭｰ
▲▼ｰ> 選択

2 ［▼／▲］キーで、メニューの［ﾀﾞｲｱﾙ登録］を選択し、［選択］キーを押します。

設定ﾒﾆｭｰ 2/4
管理者設定
ｺﾋﾟｰ設定
ﾀﾞｲｱﾙ登録

3 ［常用］が選択されていることを確認し、［選択］キーを押します。

常用画面が表示されます。

ﾀﾞｲｱﾙ登録 1/1
常用
短縮ﾀﾞｲｱﾙ
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ

4 [▼／▲] キーで、メニューの［確認 / 編集］を選択し、［選択］キーを押します。

5 [▼／▲] キーで、削除したい相手先を選択し、［ストップ / リセット］キーを押します。

常用 1/2
DEF
GHI
ABC

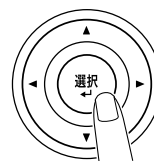
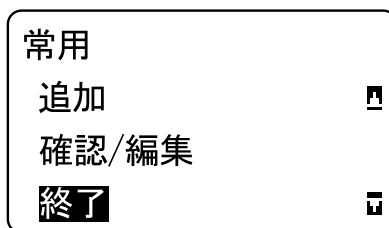
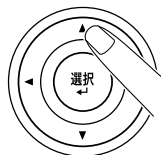
ストップ/リセット

6 ［はい］が選択されていることを確認し、［選択］キーを押します。

7 ［戻る］キーを押します。

別の相手先を続けて削除する場合は、手順 5 ～ 6 を繰り返します。

8 ［▼／▲］キーで、［終了］を選択し、［選択］キーを押します。

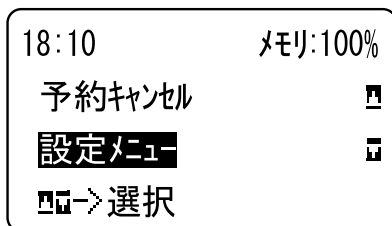
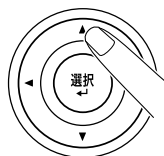
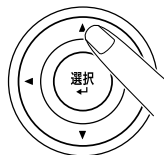
相手先が常用から削除されます。

ファクスモード画面に戻るには、ファクスモード画面が表示されるまで、［戻る］キーを押すか、［ストップ / リセット］キーを押します。

常用
追加
確認/編集
終了

短縮ダイアル

短縮ダイアルを登録する

頻繁に使うファクス番号を、短縮ダイアルに登録します。または、一括送信設定を登録できます。（最大 220 件）

1 ［▼／▲］キーで、メニューの［設定ﾒﾆｭｰ］を選択し、［選択］キーを押します。

2 ［▼／▲］キーで、メニューの［ﾀﾞｲｱﾙ登録］を選択し、［選択］キーを押します。

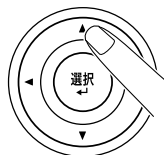
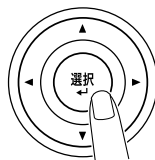
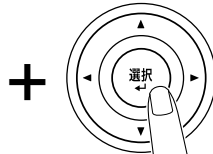
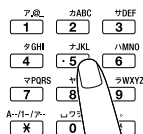
設定ﾒﾆｭｰ 2/4
管理者設定
ｺﾋﾟｰ設定
ﾀﾞｲｱﾙ登録

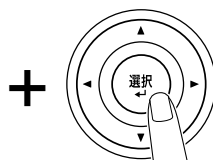
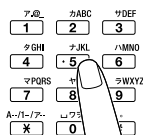
3 ［▼／▲］キーで、メニューの［短縮ﾀﾞｲｱﾙ］を選択し、［選択］キーを押します。

短縮ダイアル画面が表示されます。

ﾀﾞｲｱﾙ登録 1/1
常用
短縮ﾀﾞｲｱﾙ
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ

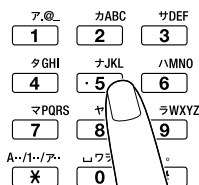
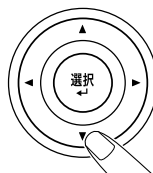
4 テンキーで短縮ダイアル番号（1 ～ 220）を入力し、［選択］キーを押します。

短縮ﾀﾞｲｱﾙ
短縮ﾀﾞｲｱﾙ:_

- LDAP 検索が設定されている場合は、［選択］キーを押したあと、［手動設定］または［LDAP 検索］を選択する画面が表示されます。［手動設定］を選択し、［選択］キーを押してください。
- 文字の入力／修正については「入力のしかた」（p.219）をごらんください。
- 選択した短縮ダイアル番号にすでに相手先が登録されている場合は、［登録済です！］というメッセージが表示されます。［戻る］キーを押してダイアル登録画面に戻り、手順 3 からやり直してください。

5 短縮ダイアルの登録名を入力し、［選択］キーを押します。

- 登録名には半角（カタカナ、英数字、記号）20 文字まで入力できます。
- 文字の入力／修正については、「入力のしかた」（p.219）をごらんください。

6 テンキーで相手先のファクス番号を入力します。

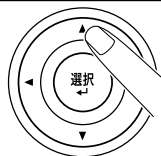
ファクス番号は、半角（数字、スペース、*、#、-、P（ポーズ））50 文字まで入力できます。

P（ポーズ）は［リダイアル / ポーズ］キーを押して入力しますが、ファクス番号の先頭には入力できません。

文字の入力／修正については、「入力のしかた」（p.219）をごらんください。

7 ［▼］キーを押します。

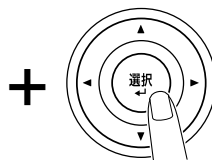
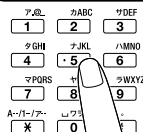
8 ［▼／▲］キーで、さらに設定する項目を選択します。

– 一括送信を設定する場合は、［送信時刻］を選択し、［選択］キーを押します。手順 9 へ進みます。

– モデムスピードを設定する場合は、［通信速度］を選択し、［選択］キーを押します。手順 10 へ進みます。

9 テンキーで一括送信時間を入力し、[選択] キーを押します。

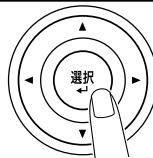
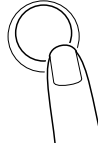
一括送信が設定されます。手順 11 へ進みます。

文字の入力／修正については、「入力のしかた」（p.219）をごらんください。

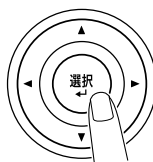
送信時刻
ﾀｲﾏｰ _ :
(00:00-23:59)

10 [▼／▲] キーで、目的のモデムスピードを選択し、[選択] キーを押します。

モデムスピードが設定されます。手順 11 へ進みます。

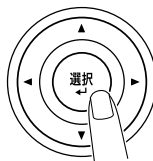
送信エラーが発生する場合、[14.4Kbps] または [9.6Kbps] のモデムスピードを選択してください。

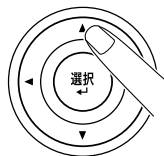
通信速度 1/1
33.6Kbps
14.4Kbps
9.6Kbps

11 [戻る] キーを押します。

12 [選択] キーを押します。

入力した情報が、短縮ダイアルに登録されます。

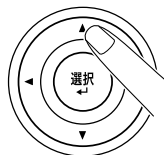
ファクスモード画面に戻るには、ファクスモード画面が表示されるまで、[戻る] キーを押すか、[ストップ / リセット] キーを押します。

短縮ダイアルを変更、削除する

登録した短縮ダイアルの情報は修正できます。

1 [▼／▲] キーで、メニューの [設定ﾒﾆｭｰ] を選択し、[選択] キーを押します。

18:10 ﾒﾓﾘ:100%
予約ｷｬﾝｾﾙ
設定ﾒﾆｭｰ
▲▼-> 選択

2 [▼／▲] キーで、メニューの [ﾀﾞｲｱﾙ登録] を選択し、[選択] キーを押します。

設定ﾒﾆｭｰ 2/4
管理者設定
ｺﾋﾟｰ設定
ﾀﾞｲｱﾙ登録

3 [▼／▲] キーで、メニューの [短縮ﾀﾞｲｱﾙ] を選択し、[選択] キーを押します。

短縮ダイアル画面が表示されます。

ﾀﾞｲｱﾙ登録 1/1
常用
短縮ﾀﾞｲｱﾙ
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ

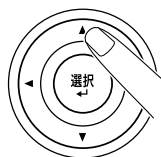
4 テンキーで編集／削除したい短縮ダイアル番号（1 ～ 220）を入力し、［選択］キーを押します。

文字の入力／修正については、「入力のしかた」（p.219）をごらんください。

短縮ﾀﾞｲｱﾙ
短縮ﾀﾞｲｱﾙ：_

5 ［▼／▲］キーで、［編集］または［削除］を選択し、［選択］キーを押します。

– ［編集］を選択した場合は、短縮ダイアルの登録名が表示されます。手順 6 へ進みます。

– ［削除］を選択した場合は、短縮ダイアルに登録された情報が削除されます。削除の場合、ここで手順は終了です。

短縮ﾀﾞｲｱﾙ 011　1/1
編集
削除

6 登録名、送信先、送信時刻、通信速度を必要に応じて変更します。

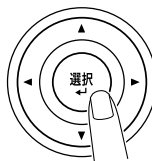
編集した短縮ダイアルが、常用、グループダイアル、転送送信先に登録されている場合、変更後の短縮ダイアルをそれぞれの登録に残すかどうか確認するメッセージが表示されます。残す場合は、［はい］、残さない場合は、［いいえ］を選択し、［選択］キーを押します。

メモリーに一括送信待機中の文書がある場合に送信時刻を変更しても、メモリー中の文書は変更前の時間で送信されます。

文字の入力／修正については、「入力のしかた」（p.219）をごらんください。

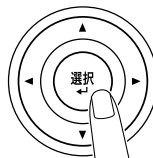
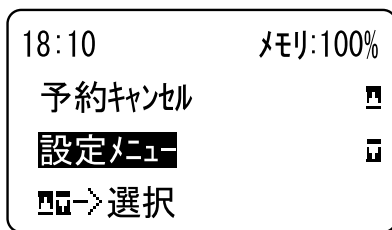
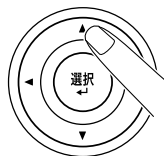
7 **変更が終了したら、［選択］キーを押します。**

短縮ダイアルに登録されている相手先情報が変更されます。

ファクスモード画面に戻るには、ファクスモード画面が表示されるまで、［戻る］キーを押すか、［ストップ / リセット］キーを押します。

グループダイアル

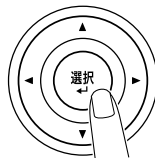
グループダイアルを登録する

頻繁に使う同報送信のファクス番号をグループダイアルに登録できます。1つのグループダイアルに最大 50 件登録可能です。

相手先をグループダイアルへ登録する場合は、あらかじめ短縮ダイアルへ登録してください。

1 ［▼／▲］キーで、メニューの［設定ﾒﾆｭｰ］を選択し、［選択］キーを押します。

18:10 ﾒﾓﾘ:100%
予約ｷｬﾝｾﾙ
設定ﾒﾆｭｰ
ー> 選択

2 ［▼／▲］キーで、メニューの［ﾀﾞｲｱﾙ登録］を選択し、［選択］キーを押します。

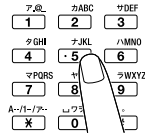
設定ﾒﾆｭｰ 2/4
管理者設定
ｺﾋﾟｰ設定
ﾀﾞｲｱﾙ登録

3 ［▼／▲］キーで、メニューの「ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ」を選択し、［選択］キーを押します。

グループダイアル画面が表示されます。

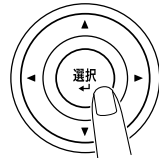
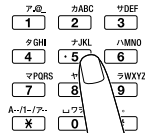
ﾀﾞｲｱﾙ登録 1/1
常用
短縮ﾀﾞｲｱﾙ
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ

4 テンキーでグループダイアル番号（1 ～ 20）を入力し、［選択］キーを押します。

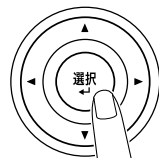
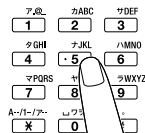
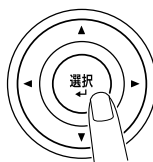
- 文字の入力／修正については、「入力のしかた」（p.219）をごらんください。
- 選択したグループダイアル番号にすでに相手先が登録されている場合は、［登録済です！］というメッセージが表示されます。［戻る］キーを押してダイアル登録画面に戻り、手順 3 からやり直してください。

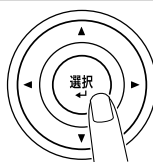
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ:_

5 グループダイアルの登録名を入力し、［選択］キーを押します。

- 登録名には半角（カタカナ、英数字、記号）20 文字まで入力できます。
- 文字の入力／修正については、「入力のしかた」（p.219）をごらんください。

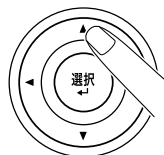
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ 12
登録名
:_ [A…]

6 テンキーでグループダイアルに登録する短縮ダイアル番号を入力し、［選択］キーを押します。

- グループダイアルを登録する場合は、［登録宛先］キーを押してグループダイアル番号を入力し、［選択］キーを押します。
- 文字の入力／修正については、「入力のしかた」（p.219）をごらんください。

ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ12 1/50
送信先
短縮ﾀﾞｲｱﾙ:_
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ=宛先

7 もう一度、[選択] キーを押します。

8 [追加] が選択されていることを確認して、[選択] キーを押します。すべての相手先を指定するまで、手順 6 ～ 8 を繰り返します。

– 相手先の指定を終了する場合は、手順 9 へ進みます。

9 [▼／▲] キーで、[終了] を選択し、[選択] キーを押します。

複数宛先がグループダイアルに登録されます。

ファクスモード画面に戻るには、ファクスモード画面が表示されるまで、[戻る] キーを押すか、[ストップ / リセット] キーを押します。

ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ 12
追加
確認/編集
終了

グループダイアルを変更、削除する

登録したグループダイアルの情報を修正できます。

1 ［▼／▲］キーで、メニューの［設定ﾒﾆｭｰ］を選択し、［選択］キーを押します。

18:10　ﾒﾓﾘ:100%
予約ｷｬﾝｾﾙ
設定ﾒﾆｭｰ
ｰ> 選択

2 ［▼／▲］キーで、メニューの［ﾀﾞｲｱﾙ登録］を選択し、［選択］キーを押します。

設定ﾒﾆｭｰ　2/4
管理者設定
ｺﾋﾟｰ設定
ﾀﾞｲｱﾙ登録

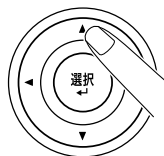
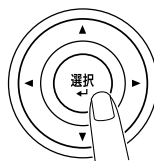
3 ［▼／▲］キーで、メニューの［ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ］を選択し、［選択］キーを押します。

グループダイアル画面が表示されます。

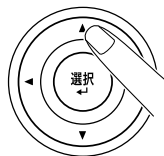
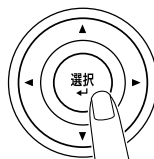
ﾀﾞｲｱﾙ登録　1/1
常用
短縮ﾀﾞｲｱﾙ
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ

4 テンキーで編集／削除したいグループダイアル番号を入力し、［選択］キーを押します。

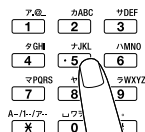
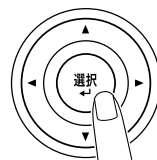
文字の入力／修正については、「入力のしかた」（p.219）をごらんください。

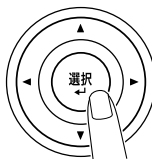
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ：_

5 ［▼／▲］キーで、［編集］または［削除］を選択し、［選択］キーを押します。

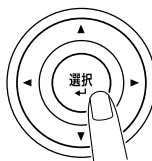
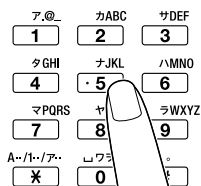
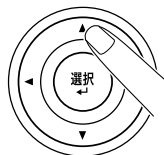
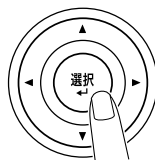
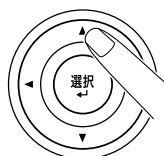
– ［編集］を選択した場合は、グループダイアルの登録名が表示されます。手順 6 へ進みます。

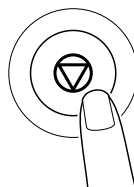
– ［削除］を選択した場合は、グループダイアルに登録された情報が削除されます。削除の場合、ここで手順は終了です。

ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ 12　1/1
編集
削除

6 登録名を変更したい場合は、新しい登録名を入力して、［選択］キーを押します。

文字の入力／修正については、「入力のしかた」（p.219）をごらんください。

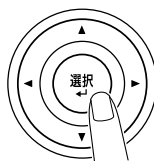
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ 12
登録名
:_01　[1…]

7 相手先を追加／削除します。

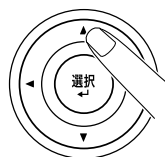
– 相手先を追加する場合は、［追加］が選択されていることを確認し、［選択］キーを押します。

短縮ダイアル番号を入力し、［選択］キーを押し、もう一度［選択］キーを押します。

ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ12 1/50
送信先
短縮ﾀﾞｲｱﾙ:_
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ=宛先

– 相手先を削除する場合は、［▼／▲］キーで、［確認/編集］を選択し、［選択］キーを押します。

［▼／▲］キーで、削除したい相手先を選択し、［ストップ/リセット］キーを押します。

ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ12 2/ 2
ABC
DEF
GHI

ストップ/リセット

［はい］が選択されていることを確認して、［選択］キーを押します。

グループダイアルに登録されている相手先が削除されます。

［戻る］キーを押します。

8 ［▼／▲］キーで、［終了］を選択し、［選択］キーを押します。

グループダイアルに登録されている情報が変更されます。

ファクスモード画面に戻るには、ファクスモード画面が表示されるまで、［戻る］キーを押すか、［ストップ / リセット］キーを押します。

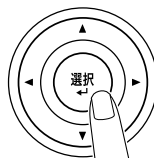
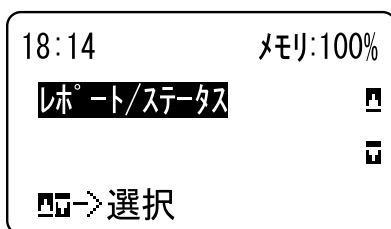
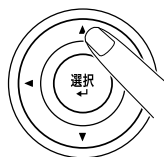
通信管理

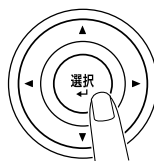
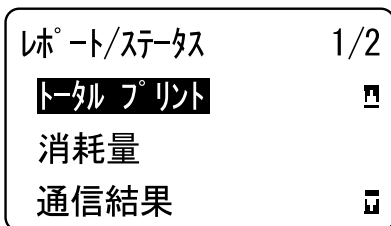
カウンターについて

本機がインストールされてから行われた操作を、メニューの［ﾚﾎﾟｰﾄ/ｽﾃｰﾀｽ］で確認できます。ファクス関連のカウンターのチェック方法は以下のとおりです。

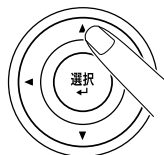
ファクスプリントのカウンターを確認する

このカウンターは、本機が設置されてからの総印刷枚数を示しています。

1 ［▼／▲］キーで、［ﾚﾎﾟｰﾄ/ｽﾃｰﾀｽ］を選択し、［選択］キーを押します。

2 ［ﾄｰﾀﾙ ﾌﾟﾘﾝﾄ］が選択されていることを確認し、［選択］キーを押します。

トータルプリント画面が表示されます。

3 ［▼／▲］キーで画面をスクロールし、［ﾌｧｸｽﾌﾟﾘﾝﾄ］を表示させます。

ファクスでの総印刷枚数を確認できます。

ファクスモード画面に戻るには、［ストップ / リセット］キーを押します。

ﾄｰﾀﾙ ﾌﾟﾘﾝﾄ 2/3
ﾓﾉｸﾛ印刷 :000009
ｶﾗｰ印刷 :000037
ﾌｧｸｽﾌﾟﾘﾝﾄ :000080

スキャン合計のカウンターを確認する

本機がインストールされてから行われたコピー以外の総スキャン回数を示しています。

1 ［▼／▲］キーで、［ﾚﾎﾟｰﾄ / ｽﾃｰﾀｽ］を選択し、［選択］キーを押します。

18:14 ﾒﾓﾘ:100%
ﾚﾎﾟｰﾄ/ｽﾃｰﾀｽ
ｰ>選択

2 ［ﾄｰﾀﾙ ﾌﾟﾘﾝﾄ］が選択されていることを確認し、［選択］キーを押します。

トータルプリント画面が表示されます。

ﾚﾎﾟｰﾄ/ｽﾃｰﾀｽ 1/2
ﾄｰﾀﾙ ﾌﾟﾘﾝﾄ
消耗量
通信結果

3 ［▼／▲］キーで画面をスクロールし、［ﾄｰﾀﾙｽｷｬﾝ］を表示させます。

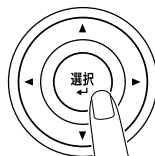
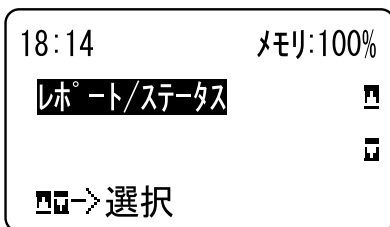
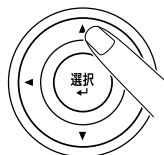
トータルスキャン値は、ファクスとスキャン送信のトータルの値です。

ファクスモード画面に戻るには、［ストップ / リセット］キーを押します。

送信／受信結果をディスプレイで確認する

最大 60 件の送受信結果をメッセージウィンドウで確認できます。

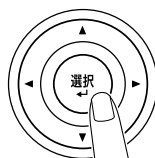
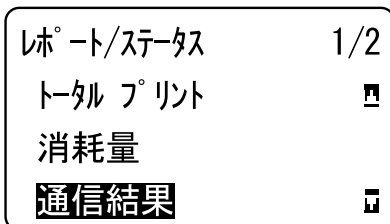
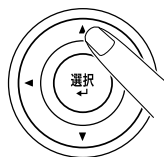
1 [▼／▲] キーで、[ﾚﾎﾟｰﾄ/ｽﾃｰﾀｽ] を選択し、[選択] キーを押します。

18:14　　ﾒﾓﾘ:100%
ﾚﾎﾟｰﾄ/ｽﾃｰﾀｽ
->選択

2 [▼／▲] キーで、[通信結果] を選択し、[選択] キーを押します。

通信結果画面が表示され、通信の履歴が表示されます。

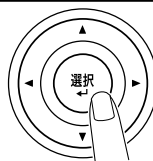
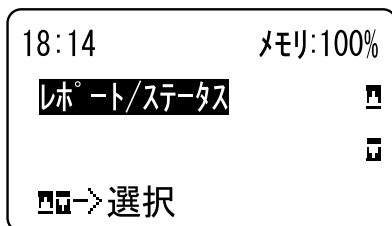
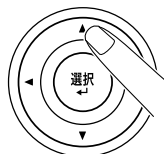
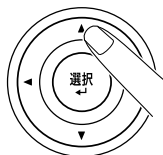
[スタート] キーを押すと、メッセージウィンドウに表示されている通信結果の詳細なレポートを出力できます。

ファクスモード画面に戻るには、[選択] キーを押します。

ﾚﾎﾟｰﾄ/ｽﾃｰﾀｽ　　1/2
ﾄｰﾀﾙ ﾌﾟﾘﾝﾄ
消耗量
通信結果

レポートとリストについて

ファクス送受信状態のレポートや短縮ダイアルの内容などを印刷できます。
以下のレポートとリストを印刷できます。

レポートとリストを印刷する

1 ［▼／▲］キーで、［ﾚﾎﾟｰﾄ/ｽﾃｰﾀｽ］を選択し、［選択］キーを押します。

2 ［▼／▲］キーで、[ﾚﾎﾟｰﾄ] を選択し、［選択］キーを押します。

ﾚﾎﾟｰﾄ/ｽﾃｰﾀｽ 2/2

ﾚﾎﾟｰﾄ

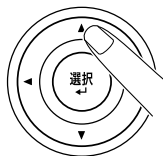
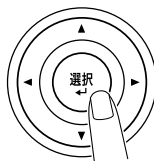
3 ［▼／▲］キーで、目的のレポートを選択し、［選択］キーを押し、［スタート］キーを押します。

レポートが印刷されます。

ﾚﾎﾟｰﾄ 1/5

送信結果ﾚﾎﾟｰﾄ

受信結果ﾚﾎﾟｰﾄ

通信管理ﾚﾎﾟｰﾄ

[送信結果ﾚﾎﾟｰﾄ]

セッション番号、受信者名、送信日、送信開始時間、送信ページ数、送信にかかった時間、モード、送信結果が印刷されます。

送信結果レポートの印刷のしかた（送信毎：[ｵﾝ]、エラー時のみ：[ｵﾝ(ｴﾗｰ)]、印刷しない：[ｵﾌ]）を設定できます。詳しくは、「レポート設定メニュー」（p.63）をごらんください。

SESSION	FUNCTION	NO.	DESTINATION STATION	DATE	TIME	PAGE	DURATION	MODE	RESULT
0001	TX	001	トウキョウ エイギョウ 012345678	APR.19	18:00	010	00h02min21s	G3	STOP
			00A0:TX CANCEL						

[受信結果ﾚﾎﾟｰﾄ]

セッション番号、受信日、受信開始時間、受信ページ数、受信にかかった時間、モード、受信結果が印刷されます。

受信結果レポートの印刷のしかた（受信毎：[ｵﾝ]、エラー時のみ：[ｵﾝ(ｴﾗｰ)]、印刷しない：[ｵﾌ]）を設定できます。詳しくは、「レポート設定メニュー」（p.63）をごらんください。

SESSION	FUNCTION	NO.	DESTINATION STATION	DATE	TIME	PAGE	DURATION	MODE	RESULT
0001	RX	001	098765432	APR.19	18:00	001	00h02min21s	ECM	NG
			0014:ERROR DURING RX						

[通信管理ﾚﾎﾟｰﾄ]

ジョブ番号、セッション番号、通信日、送受信開始時間、通信のタイプ（送信または受信）、相手先名、送受信のページ数、通信結果が印刷されます。

通信結果レポートを送受信60回ごとに自動的に印刷するようセットすることができます。詳しくは、「レポート設定メニュー」（p.63）をごらんください。

NO.	SESSION	DATE	TIME	TX/RX	DESTINATION STATION	PAGE	DURATION	MODE	RESULT
01	0001	APR.19	16:32	TX---	トウキョウ エイギョウ 012345678	006	00h01min16s	ECM	OK

02	0002	APR.19	18:00	---RX	098765432	001	00h02min21s	ECM	NG 0034
03	0003	APR.19	18:00	---RX	098765432	012	00h02min48s	ECM	OK
04	0004	APR.19	19:12	TX---	ホンシャ 024682468	001	00h00min56s	ECM	OK

[通信予約リスト]

送信待ち文書およびタイマー通信（一括送信も含む）の文書のリストです。

セッション書番号、送信タイプ、時刻、相手先名、ページ数が印刷されます。

SESSION	FUNCTION	TIME	NO.	DESTINATION STATION	PAGE
0001	TX	18:00	001	SP-001 トウキョウ　エイギョウ 012345678	012

[予約画像印刷]

メモリーに蓄積されている文書の 1 ページ目の縮小画像を印刷できます。セッション番号、送信タイプ、相手先名、日時、ページ数が併せて印刷されます。

SESSION	FUNCTION	NO.	DESTINATION STATION	DATE	TIME	PAGE
0072	TIMER TX	001	0123456789	MAR.23	20:00	001

[常用設定一覧]

常用に登録された相手先のリストが、常用の表示順に印刷されます。

FA-NO.	DESTINATION STATION	DESTINATION NUMBER	SPEED	SET DATE
FA-01	トウキョウ　エイギョウ	012345678	33.6	JAN.20.2006
FA-02	オオサカ　エイギョウ	098765432	33.6	JAN.20.2006
FA-03	ホンシャ	024682468	33.6	FEB.12.2006
FA-04	フクオカ　エイギョウ	0224466880	12.8	FEB.12.2006

[短縮ﾀﾞｲｱﾙﾘｽﾄ]

短縮ダイアルに登録された相手先のリストが、短縮ダイアル番号の順に印刷されます。一括送信設定が登録されている短縮ダイアル番号には、［DETAIL］に時刻が表示されます。

SP-NO.	DESTINATION STATION	DESTINATION NUMBER	DETAIL		SET DATE
SP-001	アムステルダム　シシャ	0P09876543	23:00	33.6	JAN.20.2006
SP-002	カンコク　シシャ	0P01357913		33.6	JAN.20.2006
SP-003	ABCDEF	024682468		33.6	FEB.12.2006
SP-004	ユウビンキョク	0224466880		14.4	FEB.12.2006

[ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ ﾘｽﾄ]

グループダイアルのリストが、グループダイアル番号の順に印刷されます。

KEY-NO.	NAME	NO.	DESTINATION STATION
GP-01	GROUP-01	01	SP-002　トウキョウ　エイギョウ 098765432
		02	SP-004　フクオカ　エイギョウ 0P02345678
		03	SP-001　アムステルダム　シシャ 0P09876543

[設定ﾒﾆｭｰﾘｽﾄ]

メニュー一覧と設定内容を印刷します。

[PS ﾒﾆｭｰ ﾏｯﾌﾟ]

プリンター情報、用紙メニュー、品質メニュー、システムメニューを印刷します。

[設定情報ﾘｽﾄ]

本機の設定情報一覧を印刷します。

[PS ﾌｫﾝﾄﾘｽﾄ]

PS フォントの一覧を印刷します。

【ディレクトリーリスト】

オプションの増設ストレージ HDD を装着している場合に、データのディレクトリー一覧を印刷します。

トラブル シューティング 9

送信時のトラブル

うまく送信できない場合は、次の表を参照して処置をしてください。処置をしても正常に送信できない場合は、販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。

エラーメッセージについては「エラーメッセージ」（p.213）をごらんください。原稿がつまった、用紙がつまった、画質が悪い、トナーがなくなったなどのトラブルについては、[プリンター／コピー／スキャナーユーザーズガイド]（ソフトウェアディスク内の PDF マニュアル）をごらんください。

トラブルの内容	原因	処置のしかた
原稿が読み込まれない。	原稿が厚すぎるか、薄すぎませんか？	原稿ガラスを使って読み込んでください。
原稿が斜めに読み込まれる	ADF のガイド板が原稿の幅に合っていますか？	ADF のガイド板を原稿の幅に合わせてください。
相手先で受信した画像が不鮮明	原稿が正しくセットされていますか？	原稿を正しくセットしてください。
	原稿ガラスが汚れていませんか？	原稿ガラスを清掃してください。
	原稿の文字が薄くないですか？	濃度を設定してください。
	電話線が正しく接続されていますか？	電話線の接続を確認し、もう一度送信しなおしてください。
	回線状態か、受信側に問題はありませんか？	本機でコピーをとって本機の問題でないことを確認し、コピーの画像が鮮明なときは、相手先のファクス機の状態を確認してください。
相手先で受信した画像が白紙になる	送る面を下にしてセットしていませんか？（ADF 使用時）	送る面を上にして原稿をセットしなおしてください。

トラブルの内容	原因	処置のしかた
送信できない	送信の手順は正しいですか？	送信手順を確認して、もう一度送信してください。
	番号が間違っていませんか？	番号を確認してください。
	常用、短縮ダイアル、グループダイアルは、正しく登録されていますか？	正しく登録されているかを確認してください。
	電話線の接続は正しいですか？	電話線の接続を確認し、外れている場合は、接続してください。
	受信側に原因がありませんか？（用紙切れや電源）	相手先に確認してください。

受信時のトラブル

うまく受信できない場合は、次の表を参照して処置をしてください。処置をしても正常に受信できない場合は、販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。

エラーメッセージについては「エラーメッセージ」（p.213）をごらんください。原稿がつまった、用紙がつまった、画質が悪い、トナーがなくなったなどのトラブルについては、[プリンター／コピー／スキャナーユーザーズガイド]（ソフトウェアディスク内の PDF マニュアル）をごらんください。

トラブルの内容	原因	処置のしかた
受信した記録紙が白紙になる	回線状態か、相手先ファクスに問題がありませんか？	本機でコピーをとって確認してください。コピーの画像が鮮明なときは、相手先にもう一度送信しなおしてもらってください。
	相手先が原稿を裏表逆にセットしていませんか？	相手先に確認してください。
自動着信されない	手動受信に設定されていませんか？	自動着信に設定してください。
	メモリーがいっぱいになっていませんか？	用紙がなくなっているときは用紙をセットして、メモリーに蓄積されている文書を印刷してください。
	電話線の接続は正しいですか？	電話線の接続を確認し、外れている場合は、接続してください。
	送信側に原因がありませんか？	本機でコピーをとって確認してください。コピーの画像が鮮明なときは、相手先にもう一度送信しなおしてもらってください。

その他のトラブル

トラブルの内容	原因	処置のしかた
一括送信の送信件数と送信結果レポートの数が一致しない。	メモリーがいっぱいになっています。	一括送信時にメモリーがいっぱいになると、送信件数と送信結果レポートの数が一致しない場合があります。

エラーメッセージ

メッセージ	原因	処置のしかた
[PC 接続中 お待ちください！]	本機が LSP (Local Setup Program) または EpsonNet Config の管理者モードで設定中です。	■ EpsonNet Config の管理者モードをログオフしてください。 ■ LSP (Local Setup Program) を終了させてください。 ■ 600 秒間、何も操作がなければ、基本画面が表示されます。
[* 受話器が外れています *]	外付け電話機の受話器が外れています。	外付け電話機の受話器を置いてください。
[ﾀﾞｲｱﾙ できません 回線を確認する]	■ 回線の種類設定または PSTN/PBX 設定が正しく設定されていません。 ■ 電話線が接続されていません。	■ 回線の種類設定または PSTN/PBX 設定を確認し、適切な設定をしてください。 ■ 電話線を正しく接続してください。
[通信ｴﾗｰ (####)]	■ 本機に何らかの問題が起きたため、通信できません。 ■ 相手先のファクス機に何らかの問題が起きたため、通信できません。	通信結果を確認してください。
[通信できませんでした]	相手先のファクス機が通信中か、応答がありません。	相手先の回線を確認し、もう一度送信しなおしてください。
[ﾌｧｲﾙ ﾌﾙ]	メモリーへの登録件数が許容件数を超えています。	[ﾒﾓﾘ受信ﾓｰﾄﾞ] が [ｵﾝ] の場合、[ﾒﾓﾘ受信ﾓｰﾄﾞ] を解除し、メモリーに蓄積している受信文書を出力してください。
[ﾌｧｸｽ ﾓｰﾄﾞ 確認]	コピーモードまたはスキャンモードで操作中にファクスエラーが起こりました。	[ファクス] キーを押して、エラーの状態を確認してください。

メッセージ	原因	処置のしかた
［ﾒﾓﾘ不足です］	■送信文書のデータサイズがメモリー容量を超えています。 ■受信文書のデータサイズがメモリー容量を超えています。	■［ﾒﾓﾘ受信ﾓｰﾄﾞ］が［ｵﾝ］の場合、［ﾒﾓﾘ受信ﾓｰﾄﾞ］を解除し、メモリーに蓄積している受信文書を出力してください。 ■手動で送信してください。
［最適用紙がありません 用紙を補給 (XXX)］	ファクス印刷可能な用紙がセットされていません。	■適切な用紙をトレイにセットし、トレイにセットした用紙サイズを操作パネルで再設定してください。 ■詳しくは、「［最適用紙がありません 用紙を補給 (XXX)］の処置のしかた」（p.215）をごらんください。

サービスメッセージ

このメッセージは、カスタマーサービスによる修復が必要な故障を示すメッセージです。このメッセージが表示された場合は、本機を再起動してください。問題が解決しない場合は、販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。

メッセージ	意味	処置のしかた
［ﾏｼﾝ ﾄﾗﾌﾞﾙ ｻｰﾋﾞｽﾏﾝ に連絡 (xxxx)］	サービスメッセージ内に表示されている［“xxxx”］のエラーが検出されました。	本機を再起動してください。多くの場合、これによりサービスメッセージが消え、本機は復旧します。 それでもメッセージが消えない場合には、エラーの情報を販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。

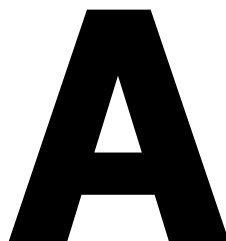
［最適用紙がありません 用紙を補給 (XXX)］の処置のしかた

トレイ 1/2 に用紙をセットする場合

1. メッセージが表示されている状態で［ファクス］キーを押します。
2. 表示されたサイズ［(XXX)］を給紙トレイにセットします。
3. ［設定ﾒﾆｭｰ］-［用紙設定］を選択し、用紙をセットしたトレイの用紙サイズを変更します。

トレイ 3 に用紙をセットする場合

1. メッセージが表示されている状態で［ファクス］キーを押します。
2. 表示されたサイズ［(XXX)］を給紙トレイにセットします。

付録
A

技術仕様

適応回線	加入電話回線（PSTN） PBX 回線
通信規格	ECM/Super G3
伝送速度	2.4 Kbps ～ 33.6 Kbps
伝送時間	約 3 秒／ページ (A4、V.34、33.6 Kbps、JBIG)
符号化方式	MH、MR、MMR、JBIG
蓄積枚数	6 MB (約 384 ページ)
送信原稿サイズ	ADF：140 mm ～ 216 mm（幅）、 148 mm ～ 500 mm（長さ） （500 mm は、ADF 使用時のファクス送信のみ） 原稿ガラス：A5、A4、HLT、LETTER
ファクス印刷サイズ	A4、LETTER(Letter)、LEGAL(Legal)
画像欠損	4.2 mm（先端、後端、奥側、手前側）

送信解像度	標準：203 × 98 dpi 精細：203 × 196 dpi 高精細：203 × 392 dpi
PC ファクス	オペレーティングシステム： Windows XP（32bit/64bit） Windows Vista（32bit/64bit) Windows 7 (32bit/64bit) Windows Server 2003（32bit/64bit） Windows Server 2008（32bit/64bit） Windows Server 2008 R2 インターフェース： Hi-Speed USB ネットワーク（TCP/IP（RAW ポート、LPR）） コンピューター： CPU：Pentium 200 MHz 以上（Pentium 4/1.6 GHz 以上推奨） RAM：128 MB 以上（256 MB 以上推奨） ドライバー言語： GDI 符号化方式： JBIG

その他の仕様については、[プリンター／コピー／スキャナー ユーザーズガイド]（ソフトウェアディスク内の PDF マニュアル）をごらんください。

入力のしかた

入力できる文字

テンキーを使って、数字、文字、シンボルを入力します。
入力可能な文字は以下のとおりです。

ファクス番号入力時

テンキー	[1]	[1] *	[A] *
1	1	1	-1
2	2	2	2
3	3	3	3
4	4	4	4
5	5	5	5
6	6	6	6
7	7	7	7
8	8	8	8
9	9	9	9
0	0	0	(space)0
＊	＊		
#	#		+

* ファクス番号入力の場合に適用されます。ファクス番号は［設定ﾒﾆｭｰ］-［管理者設定］-［ﾕｰｻﾞｰ設定］-［ﾌｧｸｽ番号］で表示されます。

アドレス入力時

テンキー	[1]	[A]
1	1	.@_-1
2	2	ABC2abc
3	3	DEF3def
4	4	GHI4ghi
5	5	JKL5jkl
6	6	MNO6mno
7	7	PQRS7pqrs
8	8	TUV8tuv
9	9	WXYZ9wxyz
0	0	(space)0
＊		
#	#	+&/*=!?()%[]^`´{}|$:

その他

テンキー	[1]	[A]	[ア]
1	1	.,'?!"1-()@/:;_	ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫ
2	2	ABC2abc	ｶｷｸｹｺ
3	3	DEF3def	ｻｼｽｾｿ
4	4	GHI4ghi	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ
5	5	JKL5jkl	ﾅﾆﾇﾈﾉ
6	6	MNO6mno	ﾊﾋﾌﾍﾎ
7	7	PQRS7pqrs	ﾏﾐﾑﾒﾓ
8	8	TUV8tuv	ﾔﾕﾖｬｭｮ
9	9	WXYZ9wxyz	ﾗﾘﾙﾚﾛ
0		（スペース）0	ﾜｦﾝ（スペース）
#	#	*+=#%&<>[]{}|^`	ﾞﾟ

入力モードを変更する

［＊］キーを押すごとに、入力モードが数字、アルファベット、カタカナに切り替わります。

[1…]：数字入力モード

[A…]：アルファベット入力モード
[ｱ…]：カタカナ入力モード

入力例

入力手順は以下のとおりです。

例：

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ 10
 登録名
 :ｴｲｷﾞｮｳ ｸﾞﾙｰﾌﾟ    [ｱ…]
```

1 [*] キーを押します。

入力モードがカタカナに切り替わります。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ 10
 登録名
 :_              [ｱ…]
```

2 [1] キーを 4 回押します。

「ｴ」が入力されます。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ 10
 登録名
 :ｴ              [ｱ…]
```

3 [▶] キーを押します。

カーソルが右へ移動します。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ 10
 登録名
 :ｴ_             [ｱ…]
```

4 [1] キーを 2 回押します。

「ｲ」が入力されます。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ 10
 登録名
 :ｴｲ             [ｱ…]
```

5 [2] キーを 2 回押します。

「ｷ」が入力されます。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ 10
 登録名
 :ｴｲｷ            [ｱ…]
```

6 [#] キーを 1 回押します。

「゛」が入力されます。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ 10
 登録名
 :ｴｲｷﾞ            [ｱ…]
```

7 [8] キーを 6 回押します。

「ｮ」が入力されます。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ 10
 登録名
 :ｴｲｷﾞｮ           [ｱ…]
```

8 [1] キーを 3 回押します。

「ｳ」が入力されます。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ 10
 登録名
 :ｴｲｷﾞｮｳ          [ｱ…]
```

9 [0] キーを 4 回押します。

スペースが入力されます。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ 10
 登録名
 :ｴｲｷﾞｮｳ_         [ｱ…]
```

10 [2] キーを 3 回押します。

「ｸ」が入力されます。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ 10
 登録名
 :ｴｲｷﾞｮｳ ｸ        [ｱ…]
```

11 [#] キーを 1 回押します。

「゛」が入力されます。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ 10
 登録名
 :ｴｲｷﾞｮｳ ｸﾞ       [ｱ…]
```

12 [9] キーを 3 回押します。

「ﾙ」が入力されます。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ 10
 登録名
 :ｴｲｷﾞｮｳ ｸﾞﾙ      [ｱ…]
```

13 [⁎] を 2 回押します。

入力モードがアルファベットに切り替わります。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ 10
 登録名
 :ｴｲｷﾞｮｳ ｸﾞﾙ_     [A…]
```

14 [1] キーを 8 回押します。

「-」が入力されます。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ 10
 登録名
 :ｴｲｷﾞｮｳ ｸﾞﾙｰ      [A…]
```

15 [⁎] キーを押します。

入力モードがカタカナに切り替わります。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ 10
 登録名
 :ｴｲｷﾞｮｳ ｸﾞﾙｰ_     [ｱ…]
```

16 [6] キーを 3 回押します。

「ﾌ」が入力されます。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ 10
 登録名
 :ｴｲｷﾞｮｳ ｸﾞﾙｰﾌ     [ｱ…]
```

17 [#] キーを 2 回押します。

「ﾟ」が入力されます。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ 10
 登録名
 :ｴｲｷﾞｮｳ ｸﾞﾙｰﾌﾟ    [ｱ…]
```

文字修正のしかたと入力時の注意

- ■ 入力した文字をすべて削除するには、[戻る] キーを長押しします。
- ■ 入力した文字の 1 部を削除するには、[◀] または [▶] キーを押して、カーソル [(_)] を削除したい文字に移動させ、[戻る] キーを押します。
- ■ 続けて同じキーを使って入力する場合は、最初の文字を入力した後、[▶] キーを押してから次の文字を入力します。(上記の入力例を参照してください。)
- ■ スペースを入力する場合は、カタカナ入力モードでは [0] キーを 4 回、アルファベット入力モードでは [0] キーを 1 回押してください。
- ■ 濁点または半濁点はカタカナ入力モードで [#] キーを押します。